Panasonic

DVDプレーヤー一体型ビデオ
取扱説明書

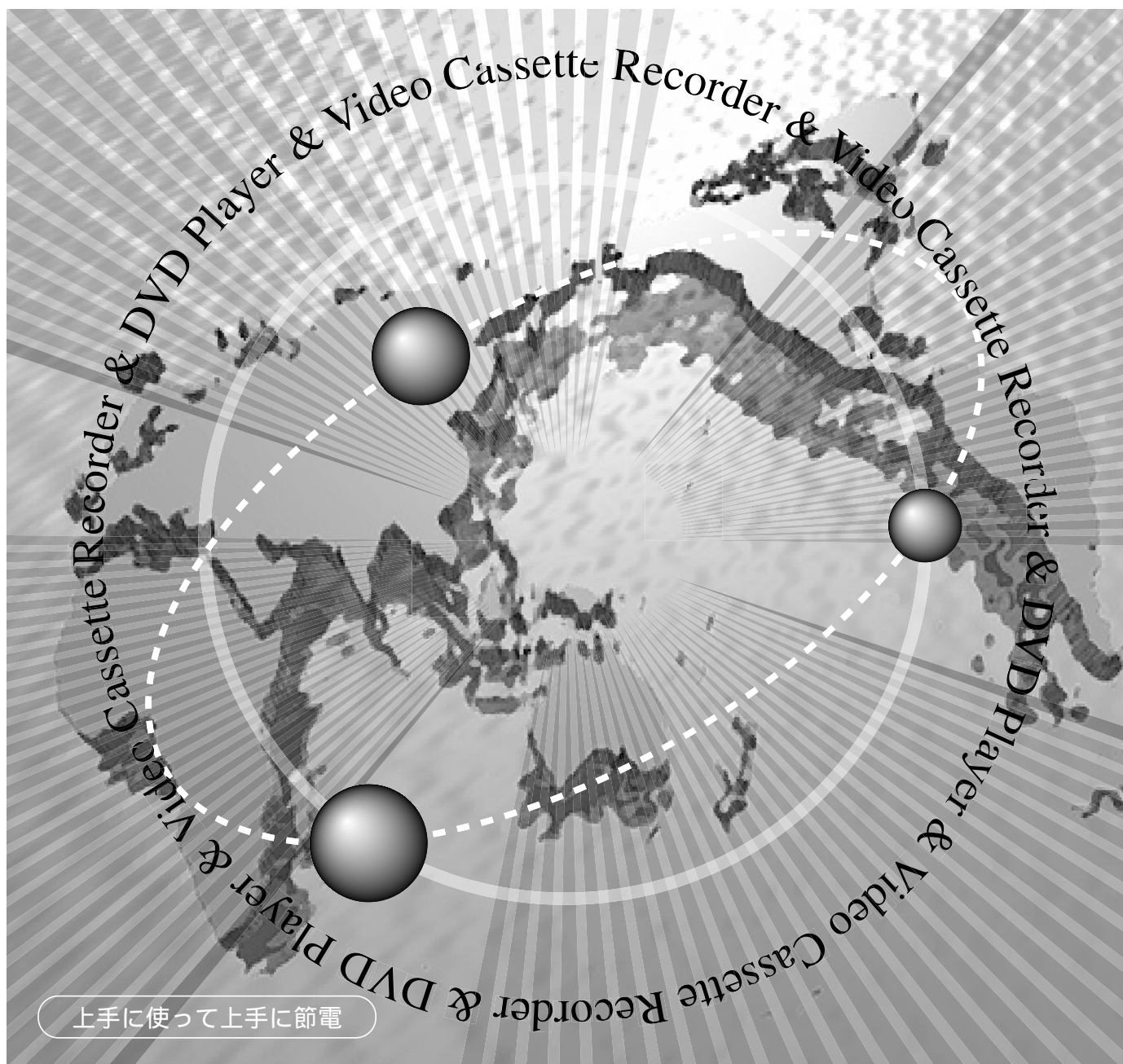
品番 NV-VP50S

DVD Player & Video Cassette Recorder & Video Cassette Recorder & DVD Player & Video Cassette Recorder & DVD Player & Video Cassette Recorder & DVD Player & Video Cassette Recorder

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックDVDプレーヤー一体型ビデオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

VQT0A26

もくじ

はじめに

使用前 →4～

ご自分で設置される方は…
お使いになる前に、以下の項目を必ず行ってください

ビデオ

再生・録画 →28～

予約録画 →38～

便利機能 →44～

ディスク

基本再生 →54～

応用再生 →62～

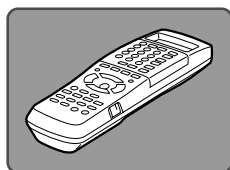
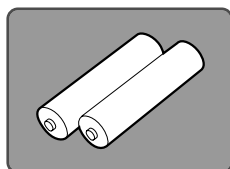
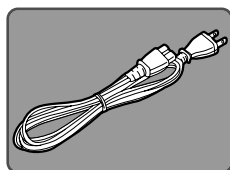
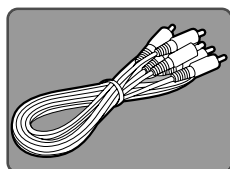
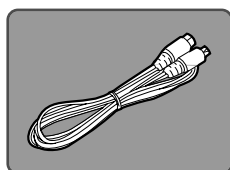
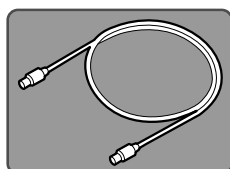
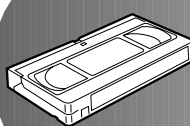
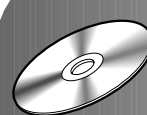
初期設定 →74～

その他

外部入力･編集 →78～

ご参考 →84～

付属品

- 下記の部品が入っているか確かめてください。
- 付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。(以下に品番を記載しているもののみ)
- この取扱説明書に記載の付属品・別売品のメーカー希望小売価格・品番は、2002年9月現在のものです。
- **メーカー希望小売価格には消費税や工事代などは含まれていません。**

リモコン
(➜14)
EUR7901LA0
メーカー希望小売価格：5,000円

リモコン用乾電池(2本)
(➜17)
単3形乾電池

電源コード
(➜18)
VJA0536T
メーカー希望小売価格：400円

映像・音声コード
(➜18)
K2KA6BA00002
メーカー希望小売価格：300円

S映像コード
(➜18)
K2KZ9AA00001
メーカー希望小売価格：300円

75Ω同軸ケーブル
(➜18)
VJA1125
メーカー希望小売価格：400円

参照ページについて

- 参照していただくページを(➜○○)で示しています。

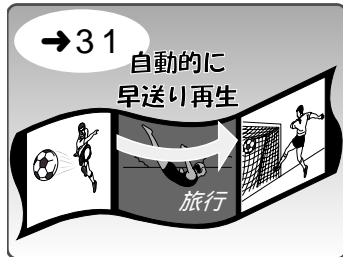
目的別ページ

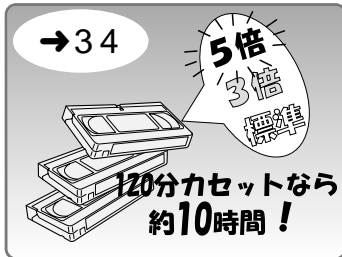
本機1台で、ビデオとディスクの

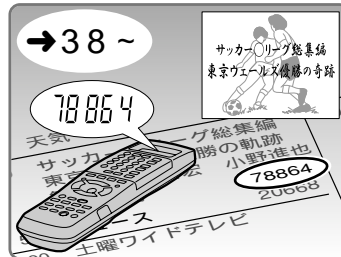
ビデオ

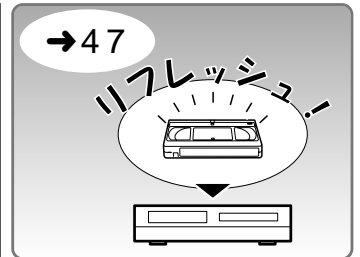
編集/他

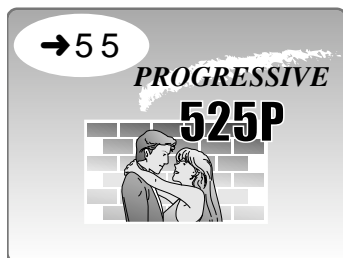
早わかり

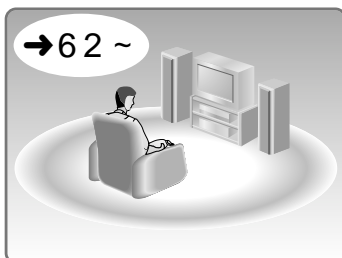
両方が楽しめます

CMをとばして見たい (自動CM早送り再生)

番組がモノラルまたは二重音声で、CMがステレオのときに働きます。

5倍モードで録りたい

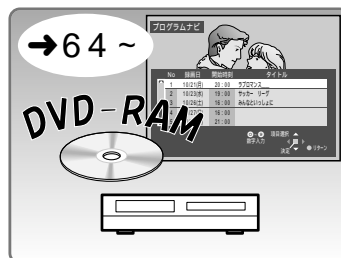
例えば、120分カセットに約10時間の録画ができます。

Gコードで予約録画したい

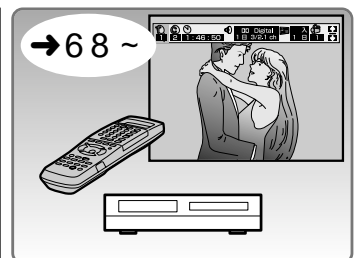
予約したい番組のGコードをリモコンに入力し、本体に転送するだけで予約できます。
(最大16番組まで)

録画内容をすべて消したい(テープリフレッシュ)

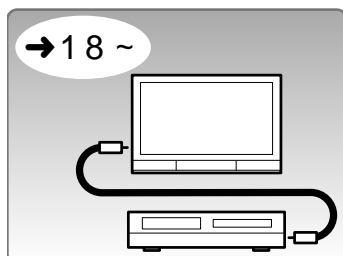
カセットに録画されている内容を一度にすべて消去することができます。

プログレッシブ出力で再生したい

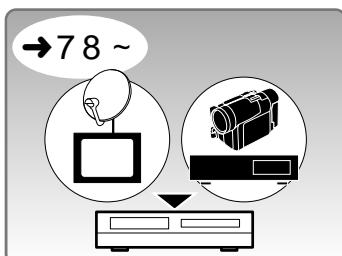
従来のテレビ・ビデオ映像のインターレース方式(525I)に比べて垂直解像度が高く、被写体が動いたときの画質劣化がない高密度でちらつきのない映像を再現します。

映画や音楽をもっと楽しみたい

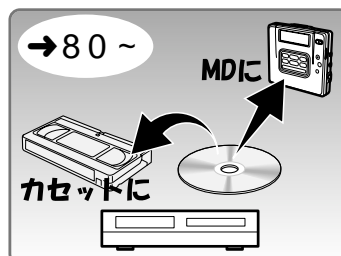
下記の設定ができます。

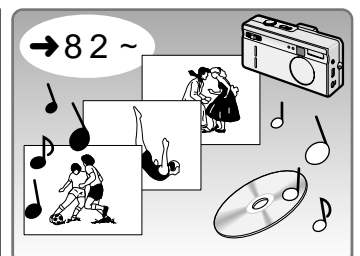
- **●アドバンスドサラウンド**
- **●シネマ**
- **●ダイアログエンハンサー**
- **●字幕・音声・アングル**

DVDレコーダーで録った番組を再生したい

(DVD-RAMディスクのみ)
当社製DVDレコーダー(別売)で録画した番組を一覧画面(プログラムナビ)から再生したり、プレイリストの再生ができます。

GUIバーで操作したい

ディスクや本機の情報などを表示させて、さまざまな操作ができます。

自分で設置したい

手順どおり正しく設置してください。

外部入力で録画したい

BSチューナー内蔵テレビを使ってBS番組を録画したり、他のビデオ、ビデオカメラからダビングすることができます。

ディスクから録画・録音したい

DVDをカセットに録画＊したり、CDをMDなどに録音＊することができます。
＊コピー禁止処理のされているディスクは録画・録音できません。

映像を見ながら音楽を聴きたい (Pin(ピーイン)ミュージック)

デジタルカメラなどで撮影した画像をスライドショーなどで再生し、ディスクから音楽をBGMのようにして再生したり、カセットに録画することができます。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コード・プラグについて

電源コードやプラグを破損させない

禁止

無理に曲げて設置したり、ステープルなどで壁などに固定すると、コードが破損し、火災・感電につながります。

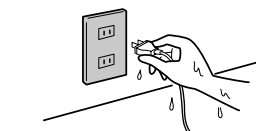
●電源コードやプラグが破損したときは、販売店にご相談ください。

交流100ボルト以外の電源電圧では使わない
配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

禁止

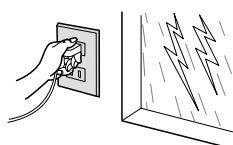
たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電につながります。

●必ず、乾いた手で抜き差ししてください。

雷が鳴り出したら、電源プラグやアンテナ線にふれない

接触禁止

落雷すると、感電につながります。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。

●いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。
●プラグは時々点検してください。

電源プラグのほこりなどは取る

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●プラグは時々点検してください。

ご使用について

内部に金属物を入れたり、水をかけたりぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電・故障につながります。

●乳幼児にご注意ください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災・感電・故障につながります。

●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

異常時について

異常が起こったら、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

・内部に金属や水、異物が入ったとき
・キャビネットが破損したとき
・煙が出る、異常に熱い、においや音などがするとき

火災・感電につながります。

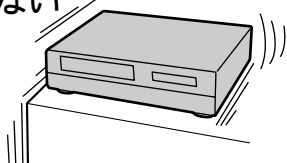
●販売店にご相談ください。

※本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますが御了承ください。

⚠ 注意

設置・接続について

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

禁止

落下すると、けがをしたり、製品の故障のおそれがあります。

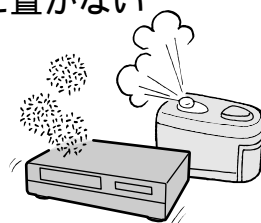
風通しの悪いところ、狭いところに置かない

禁止

高温になると発熱し、火災・感電のおそれがあります。

●押し入れ、本箱など、風通しの悪いところ、じゅうたんやふとんの上に置かないでください。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところに置かない

禁止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると、火災・感電のおそれがあります。

●1年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。
(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると効果的です)

●費用についても、そのときお確かめください。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

禁止

倒れたり落下などをして、けがをするおそれがあります。また、重量でキャビネットが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

アンテナ工事には技術と経験が必要です

アンテナが倒れると、けがや感電するおそれがあります。

●販売店にご相談ください。

ご使用について

カセット挿入口・ディスクトレイに指を挟まれないように注意する

指に注意

けがをするおそれがあります。

●乳幼児にご注意ください。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

誤って内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災のおそれがあります。(カセットやディスクも取り出しておいてください)

持ち運びについて

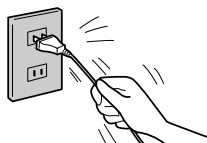
コード類を接続したまま移動させない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電・故障のおそれがあります。

●必ず、接続を外してから移動させてください。

電源コードを持って抜かない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。

●必ず、電源プラグを持ってください。

乾電池について

電池は正しく取り扱う

・⊕と⊖を確かめ、正しく入れる

・長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使い方をしない

禁止

・⊕ ⊖部に他の金属物を接触させない

・新しい電池と古い電池をまぜて使わない

・充電式電池や種類が違う電池を使わない

・分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

●万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

使用上のお願い

きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

接続・設置時

設置するとき

すべての機器の電源を切ってから接続する

水平なところで使う

- 下に雑誌などを置いて傾けて使わないでください。

「露付き」について

「露付き」とは

- 冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「露付き」といいます。
- 本機やカセットに「露付き」が起こったまま使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。
  また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。
- 「露付き」が起こりやすいとき
  - ・梅雨の時期
  - ・本機やカセットを寒いところから暖かいところへ急に移動させたとき
  - ・寒い部屋を急に暖房で暖めたとき
  - ・エアコンなどの冷風が本機やカセットに直接当たっていたとき
  - ・湯気が立ちこめるなど、部屋の湿度が高いとき
  - ・設置した直後
- 「露付き」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで(約2時間程度)、電源を入れたまま放置してください。
- ディスクに露が付いたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

お手入れ・移動時

お手入れについて

キャビネットが汚れているとき

- 電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でふいてください。

汚れがひどいとき

- 中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってから汚れをふき取ってください。
  そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。
- キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

移動・輸送するとき

落としたり、ぶつけたりしない

カセットとディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

- 引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

使用時

使用するとき

カセット挿入口にカセット以外のものを入れない

ディスクトレイにディスク以外のものを置かない

揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

- キャビネットが変形したり、塗装がはげるおそれがあります。

前面パネルについて

- 本体の前面パネルは、ハーフミラーを採用しています。
  このため、設置場所の明るさや光の反射の具合によっては本体表示窓の文字(テープカウンターなど)が見にくいことがあります。

録画・再生中

強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けない

- 映像・音声に悪影響を与えたり、録画内容が消えたりするおそれがあります。
- 特に、プラズマテレビをお使いの場合は、できるだけ本機を遠ざけてください。

大切な録画のとき

二度と録画できないような大切な録画のときは、事前に試し録画を行い、正しく録画・録音できることを確かめておく

- 本機およびカセットを使用中、万一これらの不具合により、録画・録音されなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

音量について

DVDの再生中に音量を上げたときは、別の入力への切り換え時などの音量に気を付ける

- 本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。
  DVDの再生時にテレビやアンプ側の音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。
  別の入力に切り換えたときなどに、突然大きな音が出ることがあります。

使わないとき

- 長期間(約1カ月以上)使わないときは、カセットとディスクを取り出し、電源を切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  カセットは、テープを始端まで巻き戻してから取り出してください。
- 電源コンセントに接続されていると、電源を切っても約2.2ワット(時刻表示消灯時は約1.2ワット)の電力を消費しています。
- 機能を保つため、1カ月に一度くらいは再生などをしてお使いください。

著作権について

■あなたが録画・録音されたものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
■著作物を無断で放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権により保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。
Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

この製品は、ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。
著作権1992－1997年ドルビーラボラトリーズ。
不許複製。

この製品は米国DTS社からの実施権に基づき製造されています。
合衆国特許No.5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762。
海外特許申請中。
「DTS」および「DTSデジタルサラウンド」はDTS社の登録商標です。
著作権1996年、2000年DTS社。
不許複製。

カセットについて

品質のよいカセットを使う

お使いになる前に、必ずカセット(テープ)の品質を確かめる

- 品質の悪いカセット(テープ)を使うと、きれいに録画・再生できないだけでなく、ビデオヘッドなどの精密部品を汚したり傷が付くなどして、故障の原因になります。
- 品質の悪いカセット(テープ)の例
  - ・水などの液体やほこり、カビなどが付いている
  - ・テープが波打ったりクシャクシャになっている
  - ・テープをセロハンテープでつなぐなど、加工してある
  - ・テープがたるんでいる

- このようなカセット(テープ)を使うと、ビデオヘッドが汚れ、再生したときに映像が乱れたり、テレビ画面全体が青色(ブルーバック)になったりします。
- このときは、乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)でビデオヘッドをクリーニングしてください。それでも効果がないときは、販売店にご相談ください。
  ビデオヘッドクリーナーの説明書もお読みください。
- 湿式のビデオヘッドクリーナー(市販品)は使わないでください。(故障の原因になります)

カセットの取り扱いについて

落としたり、激しい振動を与えたりしない

お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない

- このようなカセットを使うと、テープがシリンダーにからみつき、テープが切れたりカセットが取り出せなくなったりすることがあります。また、シリンダーやビデオヘッドなどにも傷が付き、故障の原因になります。

新しいカセットを使うときは、いったんテープの終端まで早送りし、巻き戻してから使う

- 新しいものはテープどうしがはり付いていることがありますので、ほぐしてからお使いになることをおすすめします。

使用後は、テープを始端まで巻き戻しておく

- このあとカセットを取り出し、ケースに入れ、立てて保管してください。

次のようなところに置いたり保管したりしない

- ・ほこりの多いところ
- ・高温になるところ(推奨温度：15 ℃～25 ℃)
- ・温度差が激しいところ
- ・湿度の高いところ(推奨湿度：40 %～60 %)
- ・湯気や油煙の出るところ
- ・冷暖房機器に近いところ
- ・自動車のダッシュボードの中

強い磁気を持ったもの(スピーカーなど)を近付けない

- 強い磁気の影響を受けると、映像や音声にノイズが入ったり、ひどいときには大切な録画内容が消えてしまったりすることがあります。

使用上のお願い(つづき)

ディスクについて

再生できるディスク

ディスクの種類によって、使える機能が異なります。本書では、ディスクによって使える機能をマークで示しています。

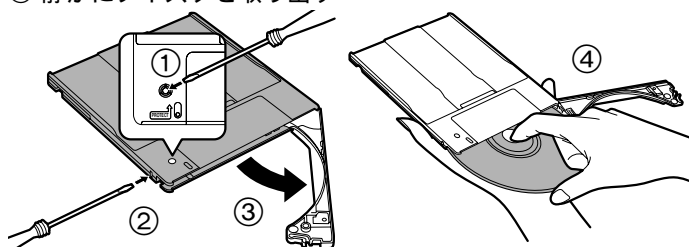
ロゴマーク	名　称	本書内マーク
	DVDビデオ リージョン番号：「2」または「ALL」 映像方式：NTSC	DVD-V
	DVD-R 映像方式：NTSC	DVD-V
	DVD-RAM 映像方式：NTSC カートリッジなしタイプ、または取り出し可能カートリッジタイプ(TYPE2、TYPE4) 容量：9.4 GB(両面12 cm) 4.7 GB(片面12 cm) 2.8 GB(両面　8 cm) 記録形式：ビデオレコーディング規格Ver. 1.1	RAM
	ビデオCD 映像方式：NTSC	VCD
	音楽CD ※CD-R/RWも含みます。	CD
	CDテキスト ※CD-R/RWも含みます。	CD
——	**MP3ディスク**	MP3

DVD-RAMディスクの取り扱いについて

本機には、当社製DVDビデオレコーダー(別売)で録画されたDVD-RAMディスク(別売品/市販品)をお使いになることをおすすめします

- DVD-RAMには、**カートリッジ付タイプ**と**カートリッジなしタイプ**があります。
  カートリッジ付タイプは、本機で再生するためにカートリッジから取り出す必要があります。

■ディスクの取り出しかた

① ロックピンをドライバーなど先の細いもので折り取る
② 先の細いものでディスク取り出し穴を押す
③ ふたを開く
④ 静かにディスクを取り出す

- 開けかたはディスクによって異なります。詳しくはディスクに付属の説明書をお読みください。

- 非常に精密な情報を記録していますので、ディスクの表面を指でさわったり、ほこりがわずかでも付くと、正常に再生できなくなることがあります。指紋やほこりを付着させないよう、十分気を付けて取り扱ってください。
- 本機での使用後は、専用のケースに入れる(またはカートリッジの中に戻しておく)ことをおすすめします。
- カートリッジ付きディスクによっては、中のディスクが取り出せないものがあります。このようなディスクは本機で再生することはできません。
- カートリッジ付きディスクによっては、カートリッジからディスクを取り出すと、再び録画機側で録画・編集できなくなるものがあります。ディスクの説明書をよくお読みください。

再生できないディスク

- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD
- PAL方式で記録されたDVD/ビデオCD
- DVD-RAM(2.6 GB、TYPE1)
- DVD-AUDIO
- DVD-ROM
- ＋RW*
- DVD-RW*
- CD-ROM
- CDV
- CD-G
- CVD
- VSD
- フォトCD
- SVCD
- SACD
- …など

＊DVDビデオフォーマットであれば再生可能です。

DVD-RAMディスクについて

- 当社製DVDビデオレコーダーで録画したものが再生できます。
  ただし、使用するディスクや記録状態により、再生できないことがあります。

DVD-Rディスクについて

- 当社製DVDビデオレコーダーで録画し、ファイナライズ*された当社製DVD-Rは“ DVDビデオ ”として再生できます。
  ただし、使用するディスクや記録状態により、再生できないことがあります。

CD-R/CD-RWディスクについて

- CD-DAフォーマットまたはビデオCDフォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ*された音楽用CD-RとCD-RWが再生できます。
  ただし、使用するディスクや記録状態により、再生できないことがあります。

＊ファイナライズ：再生対応機器で再生できるように処理することをいいます。

MP3ディスクについて

- 基本的な操作はCDと同じです。
- 静止画データの入ったMP3ディスクを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まっても、正確に時間が表示されないことがあります。
- 本機はID3タグ(➜91)には対応しておりません。

- DVD、ビデオCDのなかには、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないことがあります。
  ディスクのジャケットなどもご参照ください。
- なお、本体表示窓に再生経過時間が表示されないディスクや、プレイバックコントロール付きビデオCDの場合は、機能が働かない場合があります。

リージョン番号について

リージョン番号とは、発売地域ごとにDVDビデオソフトと機器に割り当てられた番号です。
本機のリージョン番号は「2」です。
本機は「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」のいずれかが表示されたもののみ再生できます。
例)

…など

ジャケットの各マークについて

- **音声数**
- **字幕数**
- **アングル数**
(数字は記録されている数を示します)

- **画面サイズ(横：縦)**

4:3 ：標準
横：縦が4：3のサイズ

LB ：レターボックス
横：縦が4：3で上下に黒帯が入っている画面

16:9 LB ：ワイドサイズ
横：縦が16：9で記録されており、標準サイズ(4：3)のテレビではレターボックスで再生

16:9 PS ：ワイドサイズ
横：縦が16：9で記録されており、標準サイズ(4：3)のテレビではパン＆スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生

- **記録されている音声の種類**

DOLBY DIGITAL ：ドルビーデジタル
本機では、このディスクを2チャンネルの音声でお楽しみいただけます。

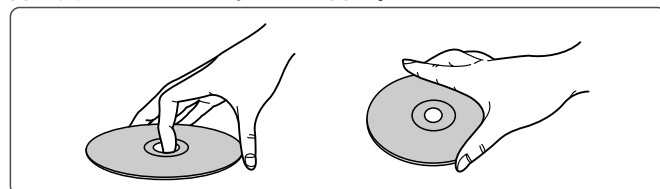
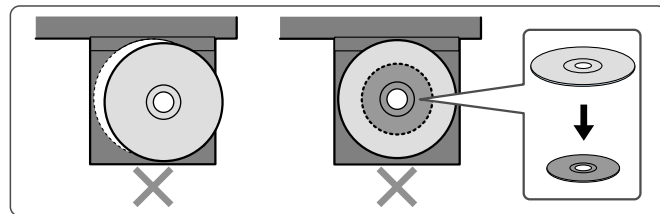
DIGITAL dts SURROUND ：DTSデジタルサラウンド
本機では、このディスクを2チャンネルの音声でお楽しみいただけます。
DTSデコーダーを内蔵する機器(別売)と接続すると、DTSの音声をお楽しみいただけます。

再生時の制約について

DVD、ビデオCDの中には、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないことがあります。ディスクに付属の説明書も合わせてご覧ください。
また、プレイバックコントロール付ビデオCDでは働かない機能があります。
例：
- 頭出しのために**スキップ[I◀◀][▶▶I]**を押しても、"⃠"(禁止)マークが表示される。
- インタラクティブなDVD(**➜90**)やプレイバックコントロール付きビデオCDのメニュー再生中は、続き再生メモリー機能やリピート再生、マーカー等の機能が働かない。…など

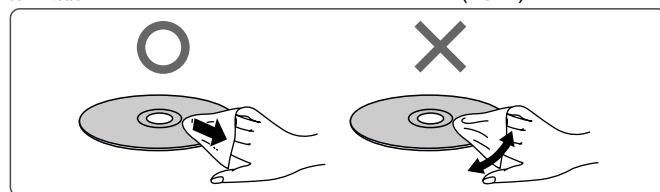
ディスクの取り扱いについて

ディスクの破損や故障の原因になりますので、次のことをお守りください。

- 汚したり、傷付けたりしない。
- 落としたり、曲げたりしない。
- 再生面にふれないようにして持つ。

- 再生したい側のラベルを上にして、ディスクトレイに置く。
- ガイドからずれたまま、ディスクトレイを閉めない。
- ディスクトレイに2枚以上のせない。

- サインペンやボールペンなどで文字を書かない。
- 紙やシールをはらない。
- 次のようなディスクは使わない。(故障の原因になります)
  - ・ハート型や八角形など、特殊形状をしている
  - ・そりがある
  - ・割れたりひびが入っている
  - ・市販のプリンターで表面に印刷してある
    ※ラベル面を市販のプリンターで印刷できるディスクを使う場合は、当社製のディスクをお使いください。
    (当社製以外のディスクを使うと、機器の故障の原因になることがあります)
- シングルディスク(8 cmディスク)アダプター、CD用スタビライザー、傷付き防止用プロテクターなどは使わない。

お手入れ・保管するとき

指紋やほこりが付いたとき

- 水を含ませたやわらかい布で図の方向にふいてください。
推奨品：クリーニングクロスVUA7091(別売)

- レコードクリーナー、シンナー、ベンジン、アルコールでふかない。

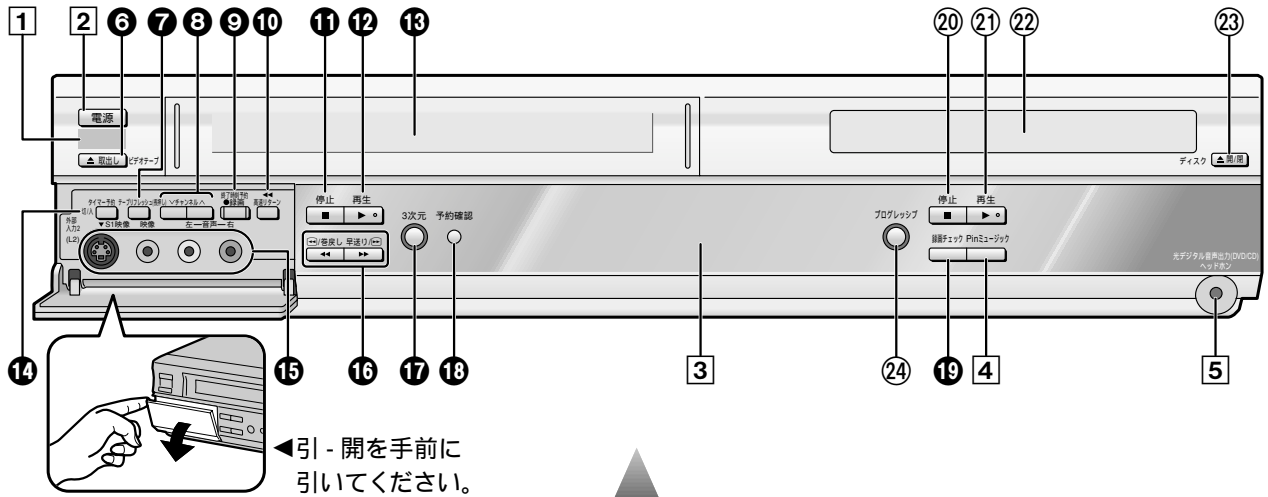
保管するとき

- 専用のケースに入れる。
- 次のようなところに置いたり保管したりしない。
  - ・直射日光の当たるところ
  - ・湿気やほこりの多いところ
  - ・暖房機器の熱が直接当たるところ

各部の名前

本体 (本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

前面

◀**引ー開**を手前に引いてください。

□ビデオ/ディスク共通部

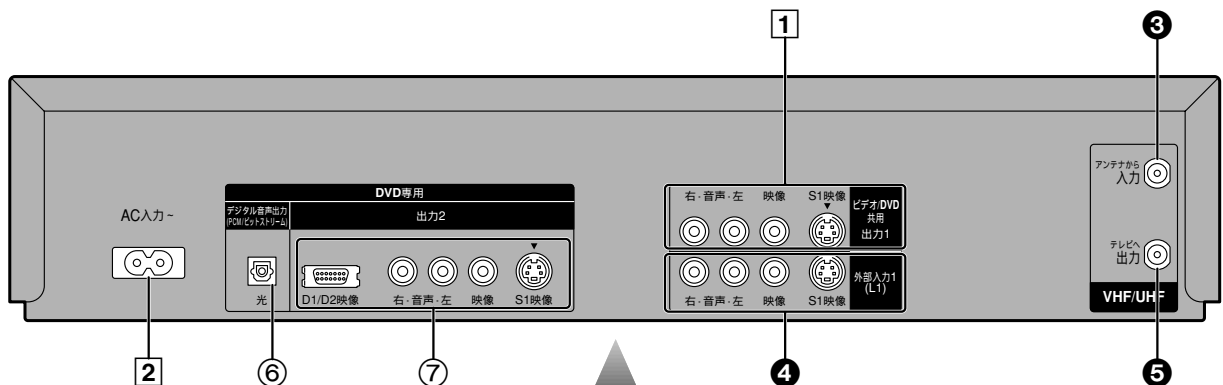
1 リモコン受信部..(➜17)
2 [電源]ボタン ....(➜23,24)
3 本体表示窓..(➜右ページ)
4 [Pinミュージック]ボタン ....(➜82)
5 光デジタル音声出力(DVD/CD)/ヘッドホン端子 ....(➜19,29,55,81)

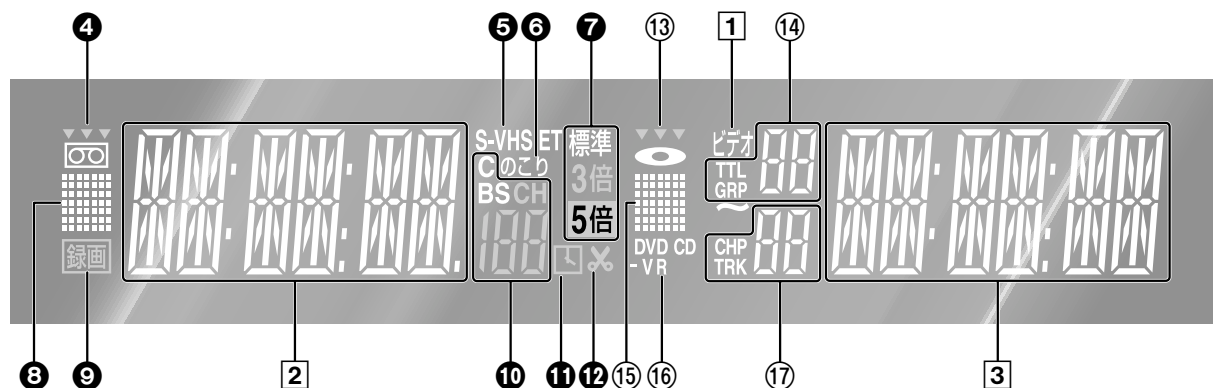
●ビデオ操作部

❻ [⏏取出し(ビデオテープ)]ボタン..................(➜28)
❼ [テープリフレッシュ(長押し)]ボタン ....(➜47)
❽ チャンネル[∨][∧]ボタン ....(➜23,24,33)
❾ [●録画/終了時刻予約]ボタン ....(➜34,37)
❿ [◀◀高速リターン]ボタン.............................(➜29)
⓫ [停止■]ボタン ....(➜29)
⓬ [再生▶]ボタン ....(➜29)
⓭ カセット挿入口..(➜28)
⓮ [タイマー予約 切/入]ボタン...........................(➜43)
⓯ 外部入力2(L2)端子 ....(➜79,82)
⓰ [巻戻し◀◀][早送り▶▶]ボタン ....(➜29)
⓱ [3次元]ボタン ....(➜32)
⓲ [予約確認]ボタン ....(➜42)
⓳ [録画チェック]ボタン...................................(➜35)

○ディスク操作部

⑳ [停止■]ボタン ....(➜56)
㉑ [再生▶]ボタン ....(➜54)
㉒ ディスクトレイ ....(➜54)
㉓ [⏏開/閉(ディスク)]ボタン...........................(➜54)
㉔ [プログレッシブ]ボタン ....(➜55)

後面

1 ビデオ/DVD共用・出力1端子 ....(➜18)
2 AC入力ソケット ....(➜18)
❸ VHF/UHF・アンテナから入力端子 ....(➜18)
❹ 外部入力1(L1)端子 ....(➜21,78)
❺ VHF/UHF・テレビへ出力端子.....................(➜18)
⑥ DVD専用・デジタル音声出力(光)端子..(➜19,73)
(PCM/ビットストリーム)(ふた付き)
⑦ DVD専用・出力2端子 ....(➜20)

本体表示窓

□ビデオ/ディスク共通

1 **ビデオ** ……(➜**24**)
- 本機の映像を見ているとき。
 (映像・音声コードで接続していないときのみ)

2 **メイン表示部**(水色)
- 時刻表示
- ビデオ再生・録画経過時間
- 予約録画開始時間
- 各種メッセージ…など。

3 **メイン表示部**(橙色)
- ディスク再生経過時間
- 予約録画終了時間
- 各種メッセージ…など。

●ビデオ操作時

❹ (カセット) ……(➜**28**)
- カセットが入っているとき。
- カセットが入っていないときに、録画・予約録画などの操作をすると点滅。
- “ ▼▼▼ ”は出力選択が「ビデオ側」になっていることを示します。選んだ直後は約5秒間点滅します。

❺ **S-VHS** ……(➜**51**)
- メニュー「VTRモード設定」→「S-VHS録画」が「入」になっているとき。
- S-VHSで録画中、S-VHSで録画された番組を再生中。

S-VHS ET ……(➜**36,51**)
- メニュー「VTRモード設定」→「S-VHS ET録画」が「入」になっているとき。
- S-VHS ETで録画中、S-VHS ETで録画された番組を再生中。

❻ **のこり** ……(➜**48**)
- テープ残量表示中。

❼ **録画モード** ……(➜**34**)

標準：標準モードで録画・再生中。
3倍(赤色)：3倍モードで録画・再生中。
標準 3倍：ぴったり録画(➜**39**)で予約した番組の予約録画確認中。
5倍(赤色)：5倍モードで録画・再生中。

❽ **動作状態** ……(➜**29,34**)
- 再生、早送り(巻き戻し)など、本機の動作状態。

❾ **録画**(赤色) ……(➜**34**)
- 録画中、予約録画中。

❿ **チャンネル番号**(赤色) ……(➜**34**)
- テレビ放送受信中、予約録画操作時の予約チャンネルを表示。

⓫ (時計)(赤色) ……(➜**43**)
- 予約録画の待機中、実行中。

⓬ (はさみ)(赤色) ……(➜**34**)
- CMカット録画時。

○ディスク操作時

⑬ (ディスク) ……(➜**28**)
- ディスクが入っているとき。
- “ ▼▼▼ ”は出力選択が「ディスク側」になっていることを示します。選んだ直後は約5秒間点滅します。

⑭ **TTL(タイトル番号・DVD)**
GRP(グループ番号・MP3)

⑮ **動作状態** ……(➜**54**)
- 再生、一時停止など、本機の動作状態。

⑯ **ディスクの種類**

表示	ディスク	表示	ディスク
DVD -VR	DVD-RAM	V CD	ビデオCD
DVD -V	DVDビデオ DVD-R	CD	音楽CD CDテキスト

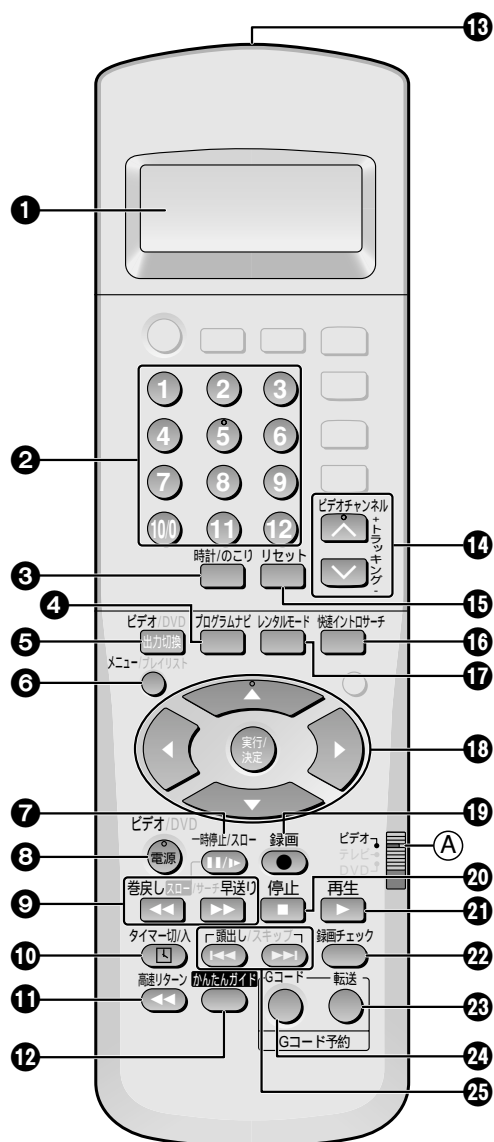
- MP3ディスクのときは、3メイン表示部に“ MP3 ”と表示されます。

⑰ **CHP(チャプター番号・DVD)**
TRK(トラック番号・ビデオCD、音楽CD、MP3)

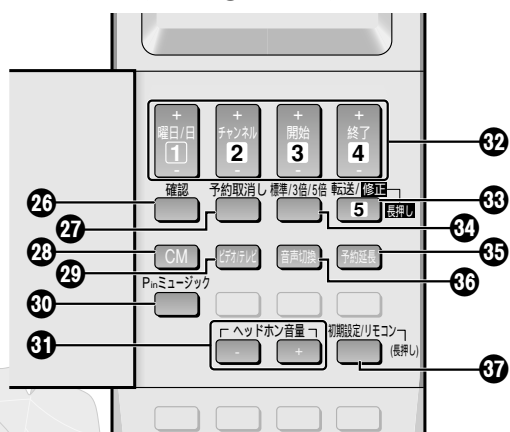
⑭+⑰ **PG(プログラム番号・DVD-RAM)**
PL(プレイリスト番号・DVD-RAM)

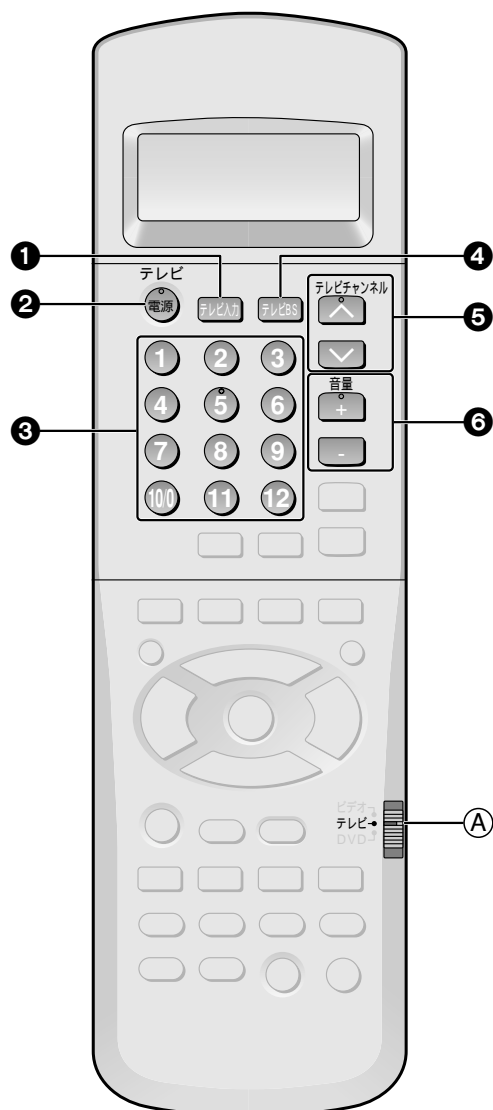
各部の名前(つづき)

リモコン

ビデオ操作時

Ⓐ **[ビデオ/テレビ/DVD]スイッチ**
ビデオの操作をするときは、必ず[ビデオ]を選んでください。
[ビデオ]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ **リモコン表示部**
❷ **[1]～[12]ボタン** ....(➜25,34,38)
❸ **[時計/のこり]ボタン** ....(➜48)
❹ **[プログラムナビ]ボタン** ....(➜44)
❺ **[ビデオ/DVD出力切換]ボタン** ....(➜28)
❻ **[メニュー]ボタン** ....(➜24,26,28,50)
❼ **[一時停止/スロー ❚❚/❙▶]ボタン** ....(➜30,34)
❽ **[ビデオ/DVD電源]ボタン** ....(➜23,24)
❾ **[巻戻し◀◀][早送り▶▶]ボタン** ....(➜29)
❿ **[タイマー 切/入]ボタン** ....(➜43)
⓫ **[高速リターン◀◀]ボタン** ....(➜29)
⓬ **[かんたんガイド]ボタン** ....(➜39,41)
⓭ **リモコン送信部** ....(➜17)
⓮ **ビデオチャンネル[∧][∨]**
(トラッキング[＋][－])ボタン ....(➜23,24,33,34)
⓯ **[リセット]ボタン** ....(➜48)
⓰ **[快速イントロサーチ]ボタン** ....(➜46)
⓱ **[レンタルモード]ボタン** ....(➜31)
⓲ **[◀][▲][▼][▶][実行/決定]ボタン** ....(➜26,28,50)
⓳ **[録画●]ボタン** ....(➜34)
⓴ **[停止■]ボタン** ....(➜29,34)
㉑ **[再生▶]ボタン** ....(➜29)
㉒ **[録画チェック]ボタン** ....(➜35)
㉓ **[転送]ボタン** ....(➜25,38)
㉔ **[Gコード]ボタン** ....(➜38)
㉕ **頭出し[❙◀◀][▶▶❙]ボタン** ....(➜46)

■ふたをひらいたところ

㉖ **[確認]ボタン** ....(➜42)
㉗ **[予約取消し]ボタン** ....(➜27,42)
㉘ **[CM]ボタン** ....(➜31,34,38,40)
㉙ **[ビデオ/テレビ]ボタン** ....(➜24,35)
㉚ **[Pinミュージック]ボタン** ....(➜82)
㉛ **ヘッドホン音量[－][＋]ボタン** ....(➜29)
㉜ **[曜日/日][チャンネル][開始][終了]ボタン** ....(➜22,38,40)
㉝ **[転送/修正(長押し)]ボタン** ....(➜40,42)
㉞ **[標準/3倍/5倍]ボタン** ....(➜34,38,40)
㉟ **[予約延長]ボタン** ....(➜38,43)
㊱ **[音声切換]ボタン** ....(➜49)
㊲ **[初期設定/リモコン(長押し)]ボタン** ....(➜22,25,41,50)

テレビ操作時 ※実際の操作内容についてはテレビの説明書をお読みください。

Ⓐ **[ビデオ/テレビ/DVD]スイッチ**
テレビの操作をするときは、必ず**[テレビ]**を選んでください。
[テレビ]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ **[テレビ入力]ボタン ....(➔23,35)**
入力(「テレビ」、「ビデオ1」など)を切り換えるとき。

❷ **[テレビ電源]ボタン ....(➔22)**

❸ **[1]〜[12]ボタン..(➔24,35,78)**
チャンネルを直接選ぶとき。

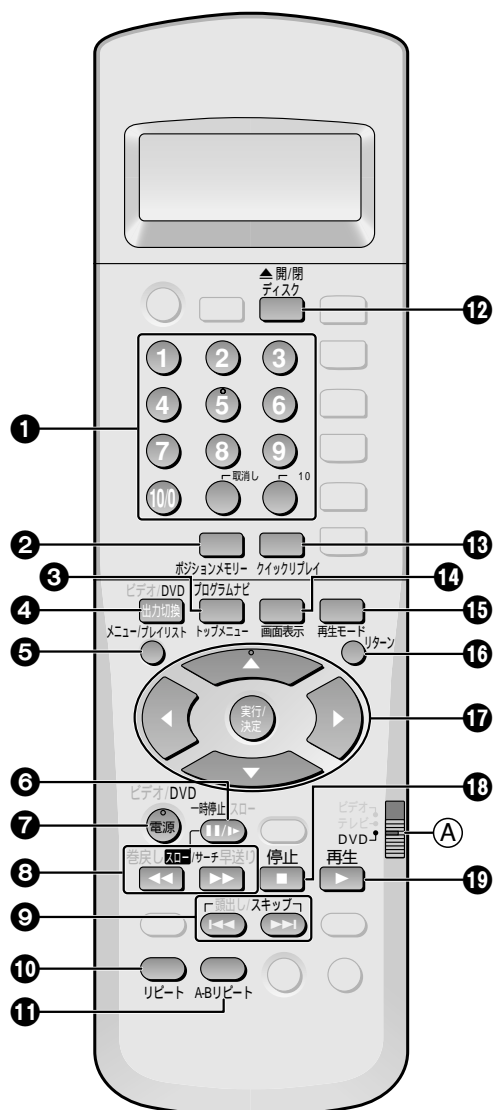
❹ **[テレビBS]ボタン ....(➔78)**
BSチャンネルを選ぶとき。
このボタンを押したあと、約10秒以内に**[5]**、**[7]**、**[9]**、**[11]**を押してください。(例：BS 7chの場合、**[テレビBS]**→**[7]**)

❺ **テレビチャンネル[へ][∨]ボタン ....(➔22,35)**
チャンネルを選ぶとき。

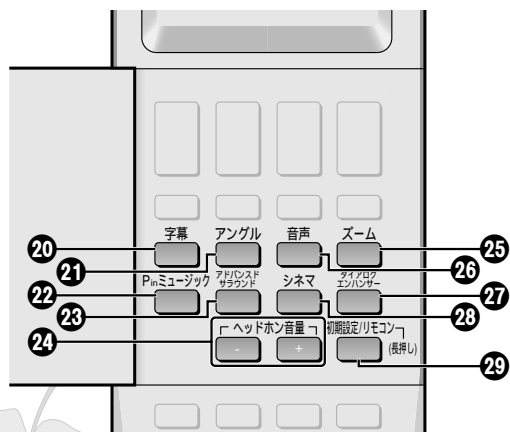
❻ **音量[＋][－]ボタン..(➔22)**
音量を調節するとき。

各部の名前(つづき)

リモコン (つづき)

ディスク操作時

Ⓐ **[ビデオ/テレビ/DVD]スイッチ**
ディスクの操作をするときは、必ず[DVD]を選んでください。
[DVD]を選んでいないと正しく操作できません。

❶ **[1]〜[10/0][取消し][≧10]ボタン**..........(➔54,57)
❷ **[ポジションメモリー]ボタン**..........(➔56)
❸ **[プログラムナビ/トップメニュー]ボタン**..........(➔54,64,66)
❹ **[ビデオ/DVD出力切換]ボタン**..........(➔54)
❺ **[メニュー/プレイリスト]ボタン**..........(➔54,65)
❻ **[一時停止❚❚]ボタン**..........(➔58)
❼ **[ビデオ/DVD電源]ボタン**..........(➔23,24)
❽ **スロー/サーチ[◀◀][▶▶]ボタン**..........(➔58)
❾ **スキップ[|◀◀][▶▶|]ボタン**..........(➔57)
❿ **[リピート]ボタン**..........(➔59)
⓫ **[A-Bリピート]ボタン**..........(➔59)
⓬ **[▲開/閉ディスク]ボタン**..........(➔54)
⓭ **[クイックリプレイ]ボタン**..........(➔58)
⓮ **[画面表示]ボタン**..........(➔68)
⓯ **[再生モード]ボタン**..........(➔60)
⓰ **[リターン]ボタン**..........(➔63,64,65,66,68)
⓱ **[◀][▲][▼][▶][実行/決定]ボタン**..........(➔54,58,68,74)
⓲ **[停止■]ボタン**..........(➔56)
⓳ **[再生▶]ボタン**..........(➔54)

■ふたをひらいたところ

⓴ **[字幕]ボタン**..........(➔63)
㉑ **[アングル]ボタン**..........(➔63)
㉒ **[Pinミュージック]ボタン**..........(➔82)
㉓ **[アドバンスドサラウンド]ボタン**..........(➔62)
㉔ **ヘッドホン音量[−][+]ボタン**..........(➔55)
㉕ **[ズーム]ボタン**..........(➔62)
㉖ **[音声]ボタン**..........(➔63)
㉗ **[ダイアログエンハンサー]ボタン**..........(➔62)
㉘ **[シネマ]ボタン**..........(➔62)
㉙ **[初期設定/リモコン(長押し)]ボタン**..........(➔74)

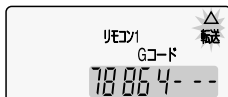
本書では、ボタン名を**[再生▶]**などで示し、「各部の名前」以外のページでは“ ボタン ”を省略しています。

本書の読みかた/リモコンの準備

本書の読みかた

表示イラストについて

本書では、各操作手順に記載している表示イラストをマーク で示しています。

本体表示窓

リモコン表示部

テレビ画面

ディスクのアイコンについて

本書では、ディスクによって使える機能をマークで示しています。

DVDビデオ……………… DVD-V
- DVD-Rも含みます。

DVD-RAM ……………… RAM

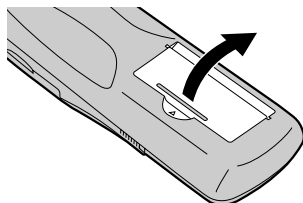
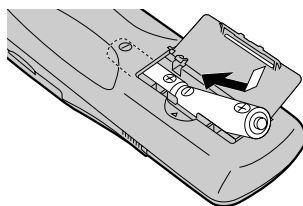
ビデオCD ……………… VCD

音楽CD ………………… CD
- CDテキストのみの操作は CDテキスト

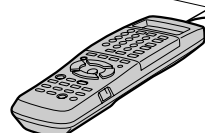
MP3ディスク ………… MP3

リモコンの準備

電池を入れる

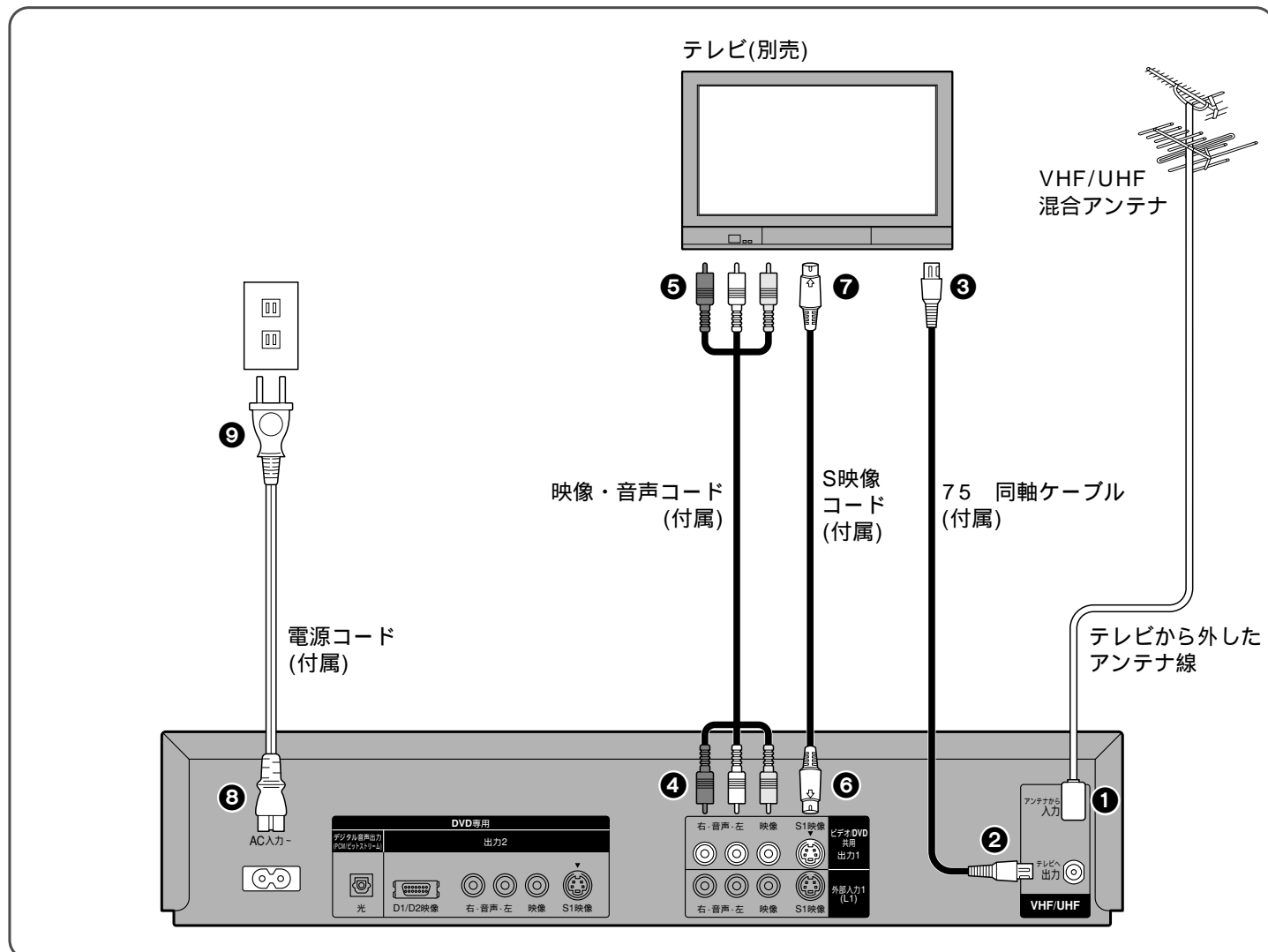
- リモコン表示部が薄暗くなってきたら、電池を交換してください。(使用環境、使用回数などにもよりますが、電池の寿命は約1年です)
- 電池交換後、本機やテレビが操作できなくなっているときは、テレビメーカー番号(**➜22**)、リモコンモード(**➜50**)を合わせ直してください。
- 充電式電池(Ni-Cd(ニッケルカドミウム)など)は使わないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
- 1カ月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

1 ふたを **開ける**

2 単3形乾電池(付属)を **入れる**
- ⊕⊖を確認してください。

3 ふたを元どおり **閉じる**

操作のしかた

- 操作できる範囲は正面で約7m以内、角度は左右に約60度、上下に約40度以内です。(ただし、周囲の明るさで変わります)
- 本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が短くなることがあります。
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

1 リモコン受信部に向け、確実にボタンを **押す**

接続する

VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する

準備 ● 各機器の電源を切っておく。(接続は乾いた手で行ってください)

1 テレビから外した
アンテナ線を接続する
(VHF/UHF・アンテナから入力端子❶)

2 75Ω同軸ケーブル(付属)を
接続する
(VHF/UHF・テレビへ出力端子❷～VHF/UHFアンテナ入力端子❸)

3 映像・音声コード(付属)を
接続する
(ビデオ/DVD共用・出力1端子❹～ビデオ入力端子❺)

4 S映像コード(付属)を
接続する
(ビデオ/DVD共用・出力1端子❻～ビデオ入力端子❼)

5 電源コード(付属)を
接続する
(AC入力ソケット❽～ご家庭の電源コンセント❾)

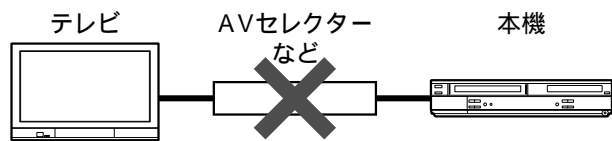
テレビから外したアンテナ線がプラグ付き同軸ケーブルでないとき
- 別売の部品や加工が必要です。
  詳しくは、販売店にご相談ください。

- テレビにビデオ入力(映像・音声)端子があるときは、必ずこの接続をしてください。接続しないと、ステレオ音声(ハイファイ音声)は楽しむことができません。
- ここでは、テレビのスピーカーを使って音声を聞く場合を説明しています。
- 音声端子が1つしかない(モノラル)テレビをお使いのときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

- テレビにS映像入力端子があるときは、この接続をするとより高画質でお楽しみいただけます。
- S映像入力端子が複数あるテレビ(S1やS1/S2など)に接続したときは、メニュー「VTRモード設定」→「ワイドモード」をテレビに合わせて変更してください。(➜50)
  (テレビ側で切り換えが必要な場合もあります)

テレビにビデオ入力(映像・音声)端子がないとき
- 左ページ手順3、4の接続は不要です。
ビデオ専用チャンネル“CH 1”または“CH 2”を設定してください。テレビで1(または2)チャンネルを選べば、本機の映像が映ります。ただし、音声はモノラルになります。
(映像・音声コードで接続していないとき➜24)

- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
AVセレクターなどを経由させて接続すると、著作権保護の影響により、DVD再生時に映像が乱れることがあります。

テレビ　AVセレクターなど　本機

DVDの映像をより高画質で楽しむ

- テレビにコンポーネントビデオ入力端子、D映像入力端子があるときは、DVDの映像をより高画質でお楽しみいただけます。(プログレッシブ出力)**(➜55)**

より迫力ある音声で楽しむ

ドルビーデジタルやDTSデコーダーを搭載したアンプなどに接続すると、迫力あるサラウンド音声を楽しむことができます。**(➜73)**

時刻表示を確かめる

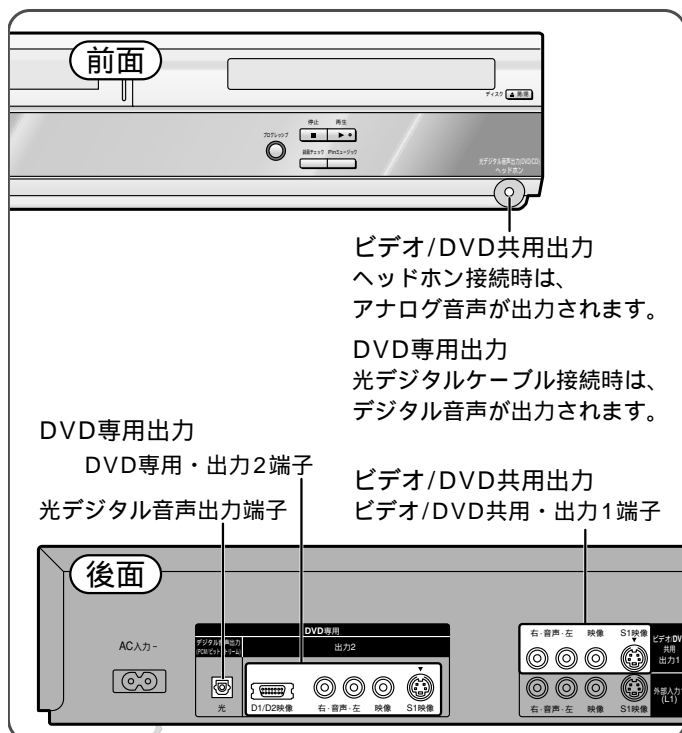
1 電源コンセントに接続したあと、本体表示窓の現在時刻が合っているか、**確かめる**

2 間違っていたら、**合わせ直す(➜52)**

- 本機は時刻を合わせて工場出荷されています。
自動バックアップ機能**(➜下記)**で時刻を記憶していますので、通常は時刻合わせする必要はありません。
- ただし、以下のときは時刻を合わせ直してください。**(➜52)**
  - ・誤差が2分以上あるとき
  - ・時刻表示が“0：00”で点滅しているとき

自動バックアップ機能について
- 工場出荷時より約5年間は時刻を記憶しています。
- 設定した受信チャンネルや、予約内容も記憶しています。
- 停電に対応しています。
- 2分以内の誤差を自動修正する自動時刻合わせ機能を働かせると、より正確な時刻になります。**(➜52)**

ビデオ/DVD共用出力端子とDVD専用出力端子について

ビデオとディスクの両方を出力する共用出力端子と、ディスクのみを出力する専用出力端子があります。

- ビデオ/DVD共用・出力1端子は、ビデオとディスクの出力を切り換えたり、ビデオの出力だけにすることができます。
(メニュー「VTRモード設定」→「共用出力選択」)(➜50)
- DVD専用・出力2端子は、ディスクのみ出力できます。

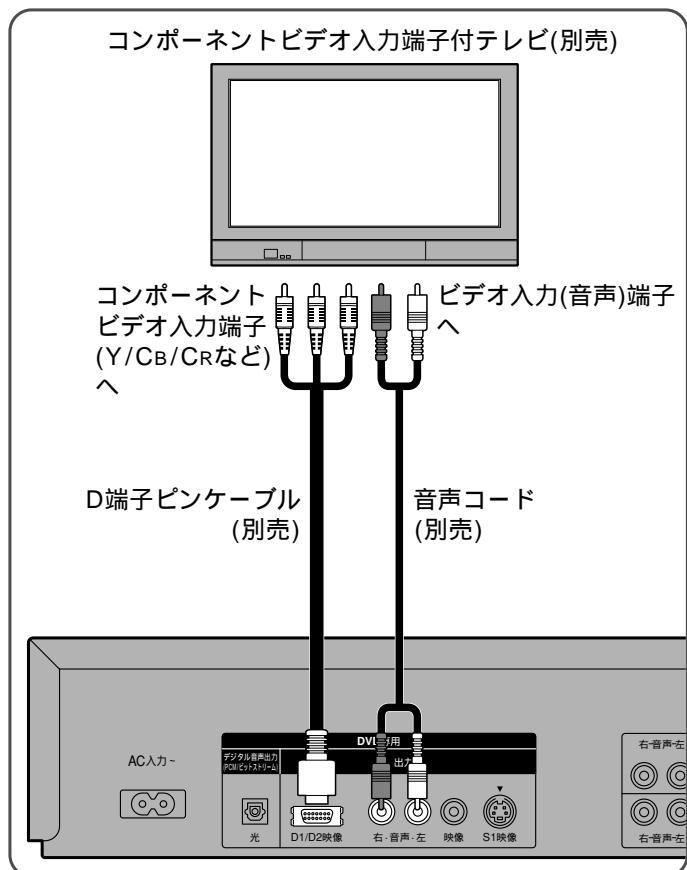
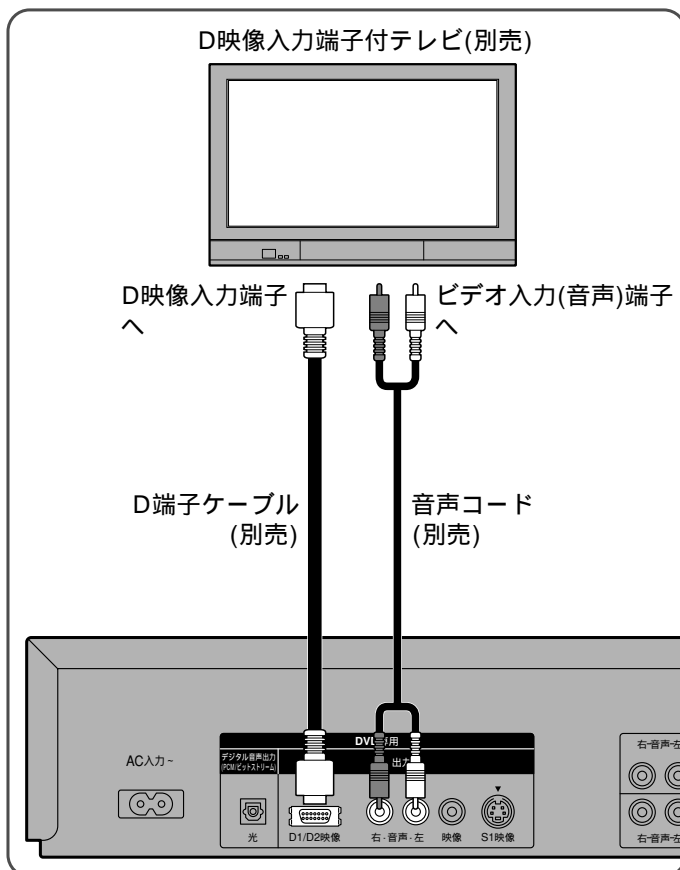
- メニュー「VTRモード設定」→「共用出力選択」で「自動」(工場出荷時)を選んでいても、操作によっては見たい側の出力にならないことがあります。
このときは、リモコンの**[ビデオ/DVD出力切換]**を押して、手動で切り換えてください。
- ビデオ、DVDそれぞれに入力が切り換わったときなどに、突然音が大きくなったり小さくなったりすることがあります。
本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられるためです。
DVDの再生時にテレビやアンプの音量を上げたときは、再生が終わったあと必ず下げておいてください。

接続する(つづき)

DVDの映像をより高画質で楽しむ (プログレッシブ出力)

テレビにコンポーネントビデオ入力端子またはD映像入力端子があるときは、①または②の接続をすると、DVDの映像をプログレッシブ出力することができます。

- プログレッシブ出力のしかた(➜55)
- コピー禁止処理システム対応テレビ一覧(➜76)

①コンポーネントビデオ入力端子と接続する

②D映像入力端子と接続する

■テレビにコンポーネントビデオ入力端子があるとき(DVD専用出力)

① D端子ピンケーブル(別売)と音声コード(別売)を接続する

- D端子ピンケーブルだけでは音声は出ません。必ず音声コードも接続してください。

- コンポーネントビデオ入力端子の表示が上図と異なるとき(Y/CB/CRや、Y/B-Y/R-Yなど)は、同じ色の端子どうしを接続してください。
- 映像が乱れたり、映らないことがありますので、テレビが以下のような端子のときは接続しないでください。
  - ・DVDに対応していないハイビジョン方式専用の端子
  - ・DVDのマクロビジョン社のコピーガードシステムに対応していない525P端子
  - ・ビデオカセットレコーダーのビデオ入力端子

■テレビにD映像入力端子があるとき(DVD専用出力)

② D端子ケーブル(別売)と音声コード(別売)を接続する

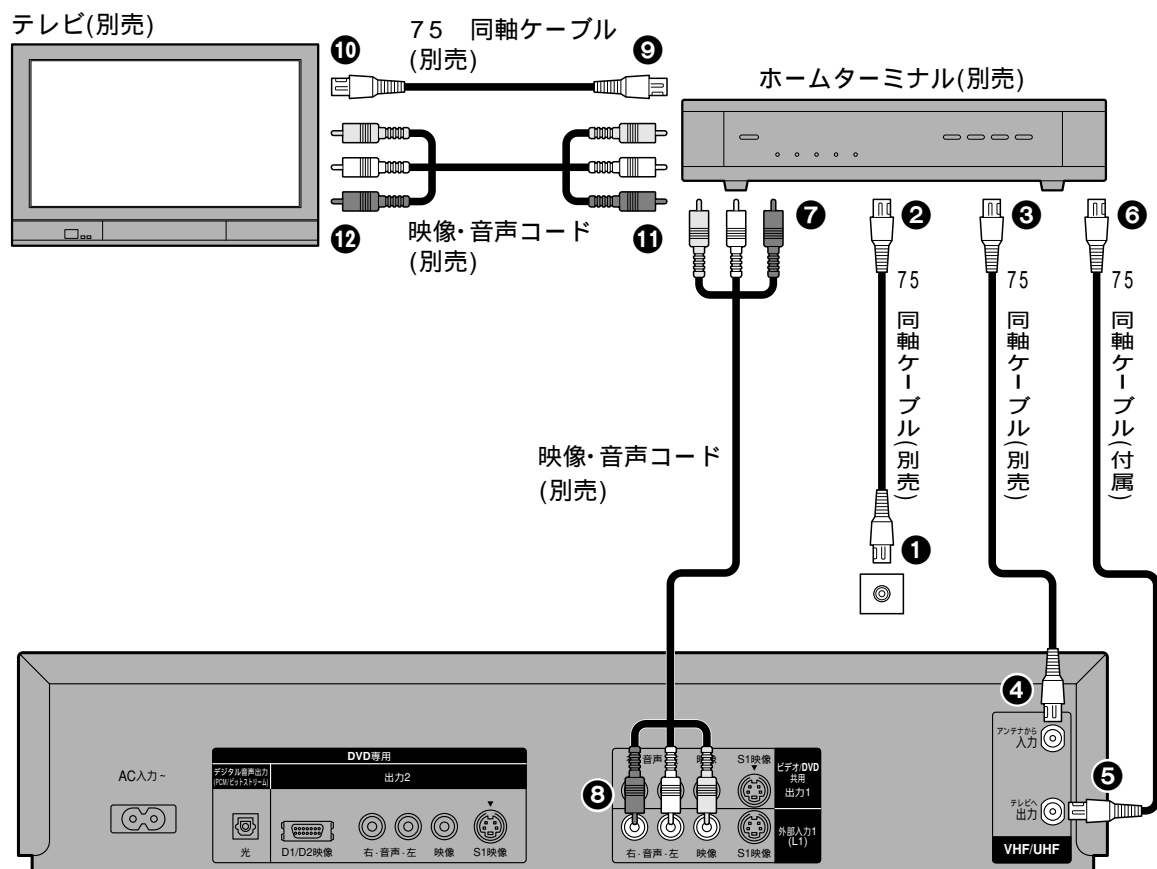
- D端子ケーブルだけでは音声は出ません。必ず音声コードも接続してください。

- テレビがD1映像入力のみ対応している端子のときは、プログレッシブ出力で映像を楽しむことはできません。(インターレース映像のみの出力となります)

①または②の接続はディスク再生専用です。

これだけではビデオの映像は映りません。
必ず18ページの接続も行ってください。

- また、この接続をした場合、ビデオとディスクそれぞれの映像をご覧いただくには、テレビ側で接続した入力に切り換えてください。

CATVホームターミナル、テレビと接続する

準備 ● 各機器の電源を切っておく。(接続は乾いた手で行ってください)

1 75Ω同軸ケーブル(別売)を接続する
(ご家庭のケーブルテレビ端子❶～ケーブル入力端子❷)

2 75Ω同軸ケーブル(別売)を接続する
(ケーブル出力[VTRへ]端子❸～VHF/UHF･アンテナから入力端子❹)

3 75Ω同軸ケーブル(付属)を接続する
(VHF/UHF・テレビへ出力端子❺～ビデオRF入力[VTR出力から]端子❻)

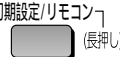
4 映像・音声コード(別売)を接続する
(映像・音声出力[VTR]端子❼～外部入力1(L1)端子❽)

5 75Ω同軸ケーブル(別売)を接続する
(RF出力[TV入力へ]端子❾～VHF/UHFアンテナ入力端子❿)

6 映像・音声コード(別売)を接続する
(映像・音声出力[TV]端子⓫～ビデオ入力端子⓬)

● VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する(➜18)の手順3～5も必要です。

● CATV放送をご覧になるには、CATV会社との受信契約が必要です。
● CATV会社と新たに受信契約をされたときは、CATV会社が接続してくれます。
● コピーガードやスクランブルのかかった有料番組を見たり録画したりするには、専用のホームターミナル(アダプター)(別売)が必要です。
● CATV放送の受信は、サービスエリア内のみ可能です。
詳しくは、CATV会社にご相談ください。
● マニュアルチャンネル設定を正しく行ってください。(➜26)
特に、各チャンネルのガイドチャンネルを設定しておかないと、Gコード予約ができません。
● リモコンの予約チャンネル表示設定を行ってください。(➜41)
工場出荷時には、CATVチャンネルの予約チャンネル表示はすべてとばされています。
このままでは、フリーセット予約ができません。
必要なチャンネルを表示させてください。
● 有料番組を本機で受信してもコピーガードやスクランブルの影響できれいに映りません。
有料番組を見たり録画したりするには、本機の入力をホームターミナルを接続した外部入力チャンネル(上図接続例の場合："L1")に切り換えてください。
● ホームターミナルやCATV専用のチューナーなどを本機のリモコンで操作することはできません。

設定する

テレビを操作できるようにする (テレビメーカー設定/今すぐ再生)

本機のリモコンでテレビの操作ができるようにします。

- また、リモコンの[再生▶]または[プログラムナビ]を押すと、テレビの入力が自動的に「ビデオ1」になる**「今すぐ再生」機能**を働かせることができます。

準備 ● テレビの電源を入れる。

1

[テレビ]にする

2

押し続けて
☎マークを出し、
さらに
2回押す

3

メーカー番号を合わせる
数回押す

メーカー名	番号	メーカー名	番号
松下	❶ ❿ ㉒ ㉓	パイオニア	⓭
アイワ	⑱	ビクター	⓮
NEC	❻ ⓯	日立	❺ ⓴
三洋	⑦ ⑯	富士通ゼネラル	⑨
シャープ	② ⑪ ㉑	フナイ	⑲
ソニー	❸ ⓱	三菱	⑧ ⓬
東芝	❹		

- テレビに向けて操作します。
- メーカー番号が合うと、テレビの電源が切れます。
- 複数の番号を持つメーカーは、音量調節などが正しく操作できる方の番号に合わせてください。
- 設定後、一覧表にあるメーカーの機種でも正しく操作できないときは、テレビに付属のリモコンで操作してください。

さらにお好みで…

■「今すぐ再生」機能(→右記)を働かせたい

“ On 1 ”または“ On 2 ”
表示を出す
数回押す

On 1：ビデオ側・ディスク側の両方とも、リモコンの[**再生▶**]または[**プログラムナビ**]を押したときにテレビの入力を自動的に「ビデオ1」にしたいとき。

On 2：ビデオ側のみ、リモコンの[**再生▶**]または[**プログラムナビ**]を押したときにテレビの入力を自動的に「ビデオ1」にしたいとき。

OFF：「今すぐ再生」機能を働かせないとき。

- 番号を ②⑦⑧⑨⑪⑯⑱⑲㉑ に設定した方は働きません。

「今すぐ再生」機能について

- テレビ側の入力を手動で「ビデオ1」に切り換えなくても、自動的に「ビデオ1」にする機能です。(テレビの入力を「ビデオ1」にする信号も同時に出すようになります)
  このため、本機後面のビデオ/DVD共用・出力1端子に接続した映像・音声コードは、必ずテレビの「ビデオ1」端子に接続してください。
- すでにテレビの「ビデオ1」端子を他の接続でお使いのときは、「今すぐ再生」機能を働かせないでください。(“ OFF ”を表示させる)
- 本機とテレビのリモコン受信部に同時に送信しますので、本機とテレビが離れて設置されていると、正常に働かないことがあります。
- **[再生▶]**や**[プログラムナビ]**を押すごとに、“ ビデオ1 ”などの表示が出たり、画面が一瞬黒くなったりすることがあります。
  「今すぐ再生」機能を働かせていると、**[再生▶]**や**[プログラムナビ]**を押したときにも、テレビの入力を「ビデオ1」にする信号を出すためです。
  この現象が気になるときは、「今すぐ再生」機能を解除してください。

4

リモコンのふたを
閉じる

5

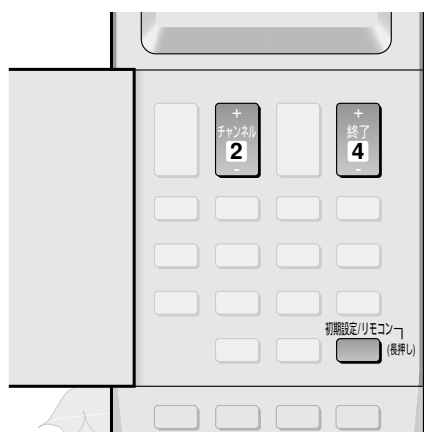
正しく操作できるか
確かめる

- テレビの電源を入れ、チャンネルを切り換えたり音量を調節してみてください。

- リモコンの電池が完全に消耗し、長期間放置したままになっていると、設定はすべて消えます。

テレビに本機の画面を出す

**テレビに本機の画面が映るか確かめてください。
ビデオやディスクの映像を見るときも、下記の操作を行ってください。**

映像・音声コードで接続したとき

1

[テレビ]にする

2

テレビの入力を
ビデオ入力にする
数回押す

ビデオ1

● 例えば、テレビのビデオ1端子に接続しているときは、**「ビデオ1」**にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。

3

[ビデオ]にする

● ディスクの映像を見るときは、**[DVD]**にします。

4

電源を入れる
押す

5

本機の画面が映っているか
確かめる
数回押す

● または録画済みのカセットを再生してみてください。

■ふたをひらいたところ

設定する(つづき)

テレビに本機の画面を出す(つづき)

映像・音声コードで接続していないとき

映像・音声コードで接続していない方は、テレビの1または2チャンネルのどちらかあいている方を使って本機の画面を映します。
(ビデオ専用チャンネル)

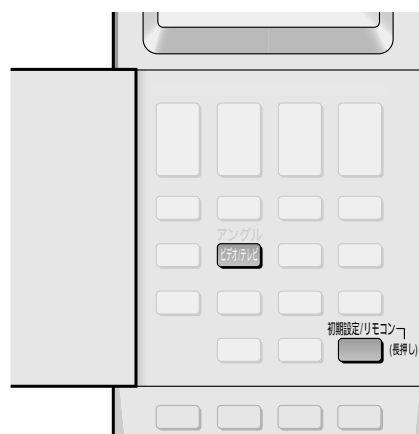
まず、ビデオ専用チャンネルを決める

1 ビデオ/テレビ/DVD **[ビデオ]にする**

2 ビデオ/DVD 電源
電源を入れる
押す

3 メニュー/プレイリスト
5秒以上押し続ける
本体表示窓 -- -- -- --
● “ -- -- ”が表示されます。

4 ビデオチャンネル +トラッキング−
“ CH 1 ”または“ CH 2 ”を選ぶ
数回押す
CH 2
● 放送がない方(テレビで本機の画面を見る方)のチャンネルを選んでください。
● 押すごとに、“ CH 1 ”⟷“ CH 2 ”⟷“ -- -- ”(切)と変わります。(工場出荷時は“ -- -- ”)

5 メニュー/プレイリスト
押す

1 ビデオ/テレビ/DVD **[テレビ]にする**

2 ①または②
本機の画面を見るためのチャンネルを選ぶ
押す
●「まず、ビデオ専用チャンネルを決める」(**➜上記**)で“ CH 1 ”を選んだときは**[1]**、“ CH 2 ”を選んだときは**[2]**を押してください。

3 ビデオ/テレビ/DVD
[ビデオ]にする
● ディスクの映像を見るときは、**[DVD]**にします。

4 ビデオ/DVD 電源
電源を入れる
押す

5 アングル ビデオ/テレビ
“ ビデオ ”を表示させる
押す
本体表示窓 ビデオ

6
ビデオチャンネル +トラッキング−
本機の画面が映っているか確かめる
テレビ画面
数回押す
● または録画済みのカセットを再生してみてください。

■ふたをひらいたところ

市外局番でチャンネルを合わせる (市外局番入力チャンネル設定)

お使いになる地域の市外局番を使って、受信チャンネルを設定します。

ビデオ テレビ DVD

- アンテナが正しく接続されているか確かめる。
- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- ビデオ/テレビ/DVDスイッチを[ビデオ]にする。

1 初期設定/リモコン (長押し)

☎マークが出るまで
押し続ける

リモコン表示部: リモコン1 ☎ - - - - - -

2 下記の表で、お住まいの都市またはその都市に近い
市外局番を確かめる

- 市外局番に変更があったときでも、下記一覧表の番号を入力してください。
- 間違えたときは、最初からやり直してください。

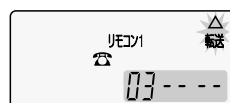
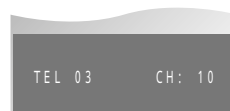
3 1 ～ 10/0

リモコンのふたを閉じ、
市外局番を入力する
押す

リモコン1 ☎ 転送 03 - - - -

4 転送

押す

TEL 03 CH: 10

- オートサーチが始まります。(約1分間)

5 オートサーチが終わったら、
リモコンの
ふたをひらき、すぐ閉じる

6 ビデオチャンネル

または

すべてきれいに受信できているか、
チャンネルを切り換えて確かめる
数回押す

- [1]～[12]は、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜92)にあるチャンネルポジション1～12の放送局を直接選ぶことができます。

- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルは、チャンネルポジション13～20(愛媛県は14～20)に追加登録されます。
- 設定される各放送局の受信・表示・ガイドチャンネル一覧については、市外局番入力チャンネル設定一覧表(➜92)をご覧ください。

同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されているとき
- 必ず映りの悪い方のチャンネルを削除してください。(➜27)

受信できるチャンネルがとばされていたり、映りの悪いチャンネルがあるとき
- マニュアルチャンネル設定(➜26～27)で、必要な設定を行ってください。

最初から設定し直したいとき
- 右記手順3で、[10/0]を6回押し、「000000」と入力して転送すると、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。

リモコン1 ☎ 転送 000000

VHF/UHFチャンネル
VHFの1～12チャンネルが受信できる状態
CATVチャンネル
すべてのチャンネルがとばされた状態
外部入力チャンネル
すべてのチャンネルが使える状態
- ガイドチャンネルはすべてのチャンネルで設定されていませんので、このままではGコード予約はできません。

市外局番一覧表 (設定される放送局名など、詳しい内容については92ページをご覧ください)

都市名	市外局番	都市名	市外局番	都市名	市外局番	都市名	市外局番	都市名	市外局番
札幌	011	鶴岡	0235	長野	026	神戸	078	新居浜	0897
旭川	0166	福島	024	飯田	0265	奈良	0742	高知	0888
北見	0157	会津若松	0242	富山	0764	和歌山	073	福岡	092
帯広	0155	いわき	0246	金沢	076	鳥取	0857	北九州	093
釧路/室蘭	0154/0143	水戸	029	福井	0776	松江	0852	佐賀	0952
函館	0138	宇都宮	028	静岡	054	浜田	0855	長崎	095
青森	017	前橋	027	浜松	053	岡山	086	熊本	096
八戸	0178	さいたま	048	岐阜	058	広島	082	大分	097
秋田	018	千葉	043	名古屋	052	福山	0849	宮崎	0985
大館	0186	東京	03	津	059	山口	083	延岡	0982
盛岡	019	横浜	045	大津	077	高松	087	鹿児島	099
仙台	022	甲府	055	京都	075	徳島	088	阿久根	0996
山形	023	新潟	025	大阪	06	松山	089	那覇	098

設定する(つづき)

自分でチャンネルを合わせる (マニュアルチャンネル設定)

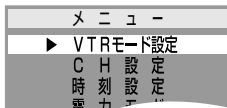
市外局番入力チャンネル設定で正しく設定されなかったときや、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、ガイドチャンネルが設定されていないときなどに操作します。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチを[ビデオ]にする。**

VHF/UHF、CATVチャンネルの設定

1

押す

2

[▼]で「CH設定」を選び、
[実行/決定]を押す

3

[◀]で「PO」を選び、
放送局を登録させたい位置(チャンネルポジション)を選ぶ
[▲][▼]を数回押す

PO CH 表示 ガイドCH
3 3 3 --
選択:◀▶ 設定:▲▼ 終了[メニュー]

PO:チャンネルポジション

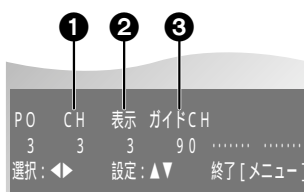
- [▲]を押すごとに、下記のように変わります。([▼]を押すと逆方向)
  - **VHF/UHFチャンネル**(1 → 2 …→ 20)
  ↓
  - **CATVチャンネル**(C13 → C14 …→ C63)
  ↓
  - **外部入力チャンネル**(L1→ L2)
  ↓
  - **拡張チャンネル**(01 → 02 …→ 07)
- VHF/UHFチャンネルを設定するときは、“ 1 ”〜“ 20 ”から選んでください。
- チャンネルポジション表示の変わりかた
  - ・VHF/UHFチャンネル設定時………PO
  - ・CATVチャンネル設定時………CH
  - ・外部入力チャンネル(L1〜L2)設定時……入力
  - ・拡張チャンネル設定時………PO

  ※POは“ Position(ポジション) ”の略です。
- 拡張チャンネルは、将来のシステムに対応するもので、現在は使えません。
  市外局番入力チャンネル設定を行うと、自動的に設定されますが、実際の操作には関係ありません。

4

[▶]で各項目を選び、設定する
[▲][▼]を押す
- 押し続けると10ずつ変わります。

❶ ❷ ❸
PO CH 表示 ガイドCH
3 3 3 90
選択:◀▶ 設定:▲▼ 終了[メニュー]

例)東京でチャンネルポジション「3」にNHK教育テレビを登録する

❶「CH」…希望の放送局が映るようにする
【例では「3」に合わせる】
放送局から実際の電波を受信します。
新聞・雑誌などに載っているチャンネルとは違う数字になる地域もあります。

❷「表示」…受信した放送局の表示を決める(チャンネル番号)
【例では「3」に合わせる】
決めた数字は、本体表示窓やテレビ画面に表示され、フリーセット予約を行うときもこの数字でチャンネルを合わせます。
新聞・雑誌などに載っているチャンネル数字にしておくと選びやすくなります。実際の受信チャンネルとは違う数字になる地域もあります。

CATVのときは
[▲][▼]のどちらかを押して表示を出す
例) “ C−− ”→“ C13 ”
- “ C−− ”になっていると受信できません。

❸「ガイドCH」…Gコード予約ができるようにする
【例では「90」に合わせる】
ガイドチャンネルは各放送局ごとに決まっています。市外局番入力チャンネル設定一覧表(**➜92**)の「ガイドCH」の項目にある数字に合わせてください。合わせていないとGコード予約できません。

- CATVによっては、BS放送をVHF/UHFチャンネルに置き換えて放送しているところがあります。このときは、Gコード予約するためのガイドチャンネルを以下の表のとおり合わせてください。

放送局名	受信チャンネル	ガイドチャンネル
	BS 1	71
	BS 3	72
WOWOW	BS 5	73
NHK衛星第1	BS 7	74
ハイビジョン放送	BS 9	75
NHK衛星第2	BS11	76
	BS13	77
	BS15	78

実行/決定

このあと、**[実行/決定]**を押すと、次のチャンネルポジションに進み、次の放送局の登録ができます。

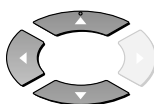
5

押す

不要なチャンネルの削除

ノイズ画面のチャンネルが設定されているときや、選局の順番を入れ替えたいときなどに操作します。

左ページ手順2のあと、

3

[◀]で「PO」を選び、削除したい放送局が入っているチャンネルポジションを選ぶ

[▲][▼]を押す

4

押す

例)チャンネルポジション「7」の放送局を削除

5

押す

映りの悪いチャンネルの微調整

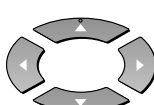
ノイズがあるときや、色が付いていないときなどに操作します。

左ページ手順2のあと、

3

[◀]で「PO」を選び、微調整したい放送局が入っているチャンネルポジションを選ぶ

[▲][▼]を押す

4

[◀][▶]で「微調整バー」を点滅させ、

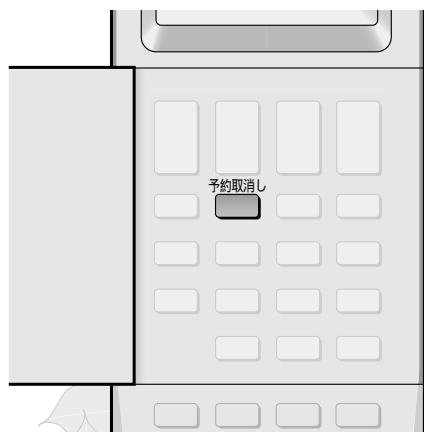
[▲][▼]のどちらかを数回押す

微調整バー

- 色が付いていないとき…[▲]
- しま模様が出るとき……[▼]
  (“ ▮▮ ”にすると、元の状態に戻ります)
- 受信状態によっては、調整しきれないことがあります。

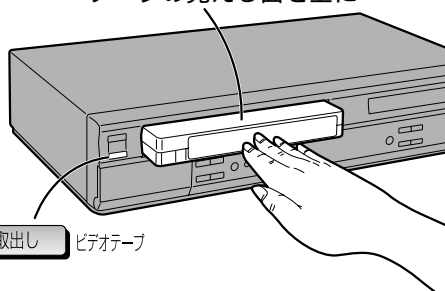
5

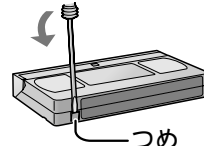
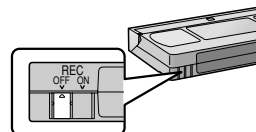
押す

■ふたをひらいたところ

ビデオの再生

カセットを入れる

テープが見える面を上にして、
ゆっくり入れる
- 自動的に電源が入ります。

■取り出す
【本体】[⏏取出し(ビデオテープ)]
を押す。
■リモコンで取り出す
[停止■]を約3秒以上押す。

- VHS、S-VHS、D-VHSマークの付いたカセットが使えます。
- メニュー「プログラムナビ設定」→「プログラムナビ」を「入」にしているときは、カセットを入れるとテレビ画面に“ プログラムナビデーター確認中 ”と表示されます。**(➜44)**
- カセットは、電源が切れていても取り出せます。
- 次のときは、カセットは取り出せません。
  ・録画中(リモコンで取り出そうとすると、録画が停止します)
  ・予約録画中、または予約録画の待機中

録画済みの番組を誤って消さないために
- 誤消去防止用の「つめ」を折ってください。

- 再び録画できるようにするには、折ったところにセロハンテープを二重にはってください。(「つめ」の代わりになります)
- 誤消去防止つまみタイプのカセットは、つまみをスライドさせて“ OFF ”にしてください。

“ ON ”に戻すと、再び録画できます。
カセットの説明書もよくお読みください。

再生する前に

ビデオ、ディスクの映像を見たい側に切り換える

本機は、ビデオとディスクの両方を再生できます。
再生を始めた側の出力に自動的に切り換わるようにすることができます。

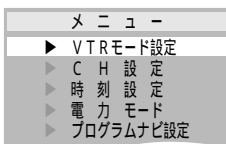
準備

- テレビに本機の画面を出す。**(➜23,24)**
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1

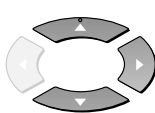
押す

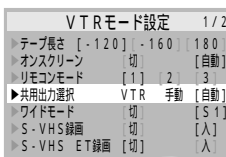
メ ニ ュ ー
▶ VTRモード設定
▶ C H 設 定
▶ 時 刻 設 定
▶ 電 力 モード
▶ プログラムナビ設定

2

「VTRモード設定」が選ばれている状態で、
押す

3

「共用出力選択」を選ぶ
[▲][▼]を押す
「自動」を選ぶ
[▶]を押す

VTRモード設定				1/2
▶テープ長さ	[−120]	[−160]		[180]
▶オンスクリーン	[切]			[自動]
▶リモコンモード	[1]	[2]		[3]
▶共用出力選択	VTR	手動		[自動]
▶ワイドモード	[切]			[S 1]
▶S-VHS録画	切			[入]
▶S-VHS ET録画	[切]			入

- 工場出荷時は、「自動」にしていますので、通常はこのままお使いください。

4

押す

- 「自動」を選んでいても、操作によっては見たい側の出力にならないことがあります。このときは、リモコンの**[ビデオ/DVD出力切換]**を押して、手動で切り換えてください。

ビデオ/DVD共用・出力1端子(本機後面)とテレビを接続したとき

■「自動」(工場出荷時)にしておくと
- 操作や本機の動作に応じて自動的にビデオとディスクの映像が切り換わります。
- **[ビデオ/DVD出力切換]**を押して切り換えることもできます。

ビデオ側が選ばれているとき

ディスク側が選ばれているとき

■「手動」にしたとき

見たい側の映像でないときは
押す

- 押すごとに映像がビデオ側⟷ディスク側に切り換わります。
  自動では切り換わりませんので、押して見たい側の映像に切り換えてください。

■「VTR」にしたとき
- ビデオのみの出力になります。
- **[ビデオ/DVD出力切換]**を押しても、ディスクの映像を見ることはできません。

再生する

準備

- 録画済みのカセットを入れる。**(➜左ページ)**
- テレビに本機の画面を出す。**(➜23,24)**
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1

押す

本体表示窓

2 ■**停止する**

押す

3 ■**早送り(巻き戻し)する**

巻戻し スロー/サーチ 早送り

停止中に、押す

■**高速で巻き戻しする(高速リターン)**

押す

- テープカウンター表示は出ません。

- 誤消去防止用の「つめ」の折れた、または誤消去防止つまみが“ OFF ”になっているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。
- カセットが入っているときは、電源が切れていても、**[再生▶]**を押すだけで再生を始めます。
- テープの終わりまで早送りすると、自動的に停止します。
- 5倍モードで録画されたカセットの再生時は、トラッキングが自動調整されるまでに多少時間がかかることがあります。
  また、カセットによっては自動調整できないこともあります。
  このときは、手動でトラッキングを調整してください。**(➜33)**
- 早送り(巻き戻し)は高速で行うため、動作音が大きくなります。
  また、**[停止■]**を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
- デジタル(D-VHS)方式で録画されたD VHSカセットは再生できません。

高速リターンについて

- 高速で巻き戻すため、動作音が大きくなります。
  また、**[停止■]**を押しても、テープ保護のため止まるまで時間がかかります。
- カセットや使用環境によっては速度が多少変わります。
- 始端まで巻き戻すと、テープカウンターは“ 0：00．00 ”になります。
- 途中で停止しても、テープカウンターの値は正しく表示されません。

■ふたをひらいたところ

ヘッドホンで聞く

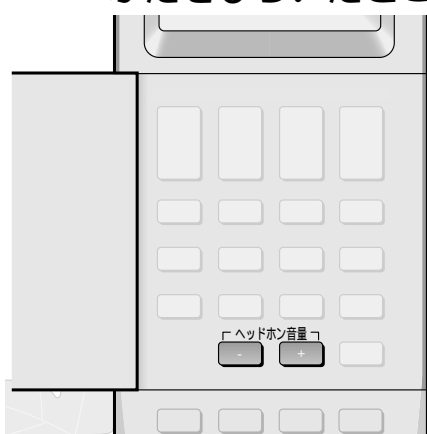
1

ヘッドホン(別売)を接続し、音量を調節する

数回押す

- 工場出荷時の音量は“ 0 ”になっています。

本体表示窓

- 使用前にあらかじめ音量を下げておいてから、そのあと調節してください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
  聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ヘッドホンを接続したときは、ビデオ、ディスクともアナログ音声が出力され、光デジタルケーブル(別売)を接続したときは、ディスクのみデジタル音声が出力されます。
- ビデオ/DVD出力切換がビデオ側になっているときはビデオの音声が、DVD側になっているときは、ディスクの音声が聞こえます。

ビデオの再生(つづき)

いろいろな再生

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を[**ビデオ**]にする。

早送り(巻き戻し)しながら見る

1

再生中に、
押し続ける

- 指を離すと通常再生に戻ります。

- 音声は出ません。
- テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
- お使いになるテレビによっては、映像が乱れることがあります。

または

再生中に、
短く押す

さらに、速度を切り換えたいときは
同じ方向のボタンをもう一度
短く押す

- 押すごとに、
  標準のとき：　約　9倍速←→約13倍速
  3倍・5倍のとき：約27倍速←→約43倍速
  と変わります。

- 音声は出ません。
- 13倍速(43倍速)にすると映像が乱れることがあります。
- 5倍モードで録画された部分は、43倍速にするとブルーバック画面になり、映像を見ることはできません。
- テープ位置によっては、速度が多少変わることがあります。
- お使いになるテレビによっては、映像が乱れることがあります。
- 約10分以上続けたときは、テープとヘッド保護のため、通常再生に戻ります。

■通常再生に戻す
[**再生▶**]を押す。

静止画・スローで見る

1

■静止画再生

再生中に、
短く押す

■スロー再生

再生中に、
約2秒以上押し続ける

- 音声は出ません。
- 5倍モードで録画された部分では画面が乱れます。
- 静止画再生を約5分以上、スロー再生を約10分以上続けたときは、テープとヘッドの保護のため停止します。

■通常再生に戻す
[**再生▶**]を押す。
- 静止画再生のときは、もう一度[**一時停止/スロー❚❚/❙▶**]を押しても、通常再生に戻ります。

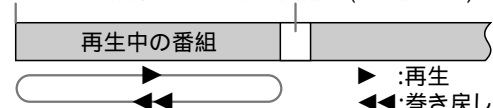
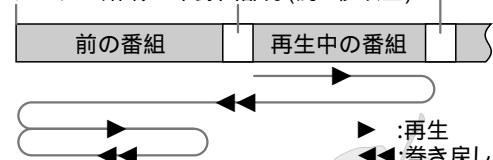
番組を繰り返し見る(自動巻戻し再生)

同じ番組を繰り返して見ることができます。

1

再生中に、
5秒以上押す

- この機能は解除するまで働き続けます。

- 番組の終わりに未録画部分が約5秒以上あるときに、正しく働きます。(未録画部分がない、または短かすぎると、次の番組まで再生されてしまいます)

- 再生中の番組よりも前の部分に、約5秒以上の未録画部分があるときは、テープの始端からその部分までを繰り返して再生します。

- テープの始端に未録画部分が約5秒以上あるときは、録画部分まで早送り再生し、そのあと再生します。

■解除する
もう一度、[**再生▶**]を押す。
- 停止、早送り、巻き戻し、一時停止などの操作をしても解除されます。

CMを早送りして見る(自動CM早送り再生)

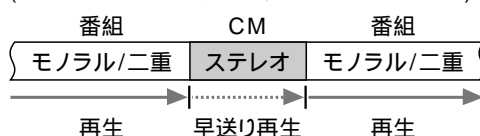
CMを自動的に早送りして再生できます。

1

再生前または再生中に、
押す

- " 自動CM早送り 入 "を表示させます。
- CM中に押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

■**解除する**
[CM]を押し、" 自動CM早送り 切 "を表示させる。
- 電源を切っても解除されます。

- 番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
(CMの前後が少し切れた状態で再生されます)

- 次のようなときは正しく働きません。
・番組がステレオ放送のとき
(CMも通常どおり再生されます)
・CMがモノラル放送または二重放送のとき

・CM以外でも、音声がモノラルや二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
・本機、または当社の同機能付きビデオで録画していないカセットを再生するとき
・外部入力録画したカセットを再生するとき

画質を変えて見る

通常の再生画質以外に、2種類の画質に切り換えることができます。
レンタルソフトなどを見るときに、用途に合わせて切り換えてください。

1

再生中に、
数回押す

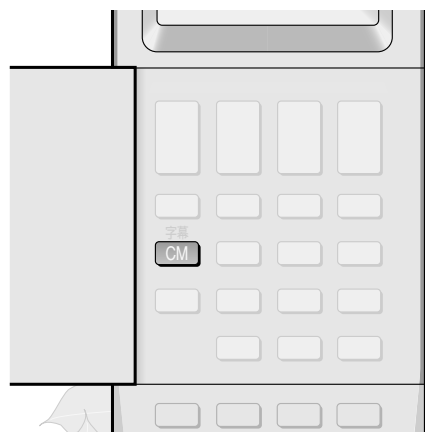
- 以下から、好みの画質を選んでください。

■**スタンダード(工場出荷時)**
通常の画質です。

■**ダイナミック**
輪郭をすっきりさせ、メリハリのある映像が楽しめます。

■**ソフト**
通常の画質よりもソフトな映像にします。

- 再生中の画質を変えるための機能ですので、それ以外では働きません。

■ふたをひらいたところ

ビデオの再生(つづき)

ノイズをおさえて見る

デジタル3次元NRを働かせる

ワイドテレビや大画面テレビで見るときに、より高画質で映像をお楽しみいただけます。

1

【本体】

押す

- 押すごとに、“ 3次元DNR 入 ”⟷“ 3次元DNR 切 ”と変わります。
- 工場出荷時は、“ 3次元DNR 入 ”にしていますので、通常はこのままお使いください。

デジタル3次元NR(ノイズ・リダクション)について

- テープの映像信号に混入している輝度ノイズ(ちらつき・ざらつき)や色ノイズ(色にじみ・ざわつき)を取り除き、よりくっきりとしたきれいな映像で再生することができます。
- 外部入力録画(➜**79**)などで本機を再生機として使うときは、かえって画質が劣化することがありますので、**[3次元]**を押し、“ 3次元DNR 切 ”にしてください。

デジタルTBCを働かせる

繰り返し録画したカセットや、ビデオカメラで撮影したカセットの細かいゆれやゆがみをおさえてくれます。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜**23,24**)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1

押す

メニュー
▶ VTRモード設定
▶ CH 設定
▶ 時刻 設定
▶ 電力 モード
▶ プログラムナビ設定

2

「VTRモード設定」が選ばれている状態で、
押す

3

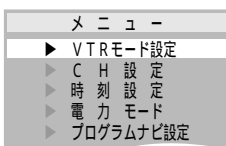
「TBC」(2/2面)を選ぶ
[▲][▼]を押す

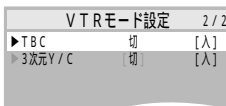
VTRモード設定		2/2
▶TBC	切	[入]
▶3次元Y/C	[切]	[入]

「入」を選ぶ
[▶]を押す

- 工場出荷時は、「入」にしていますので、通常はこのままお使いください。

4

押す

デジタルTBC(タイム・ベース・コレクター)について

- テープが変形(伸びているなど)しているカセットの再生時や、録画・再生時にテープの走行が不安定になったときなどは、「入」にしておくとゆれやゆがみの少ない安定した映像で再生することができます。
- お使いになるカセットによっては、「入」にして再生すると、映像が乱れることがあります。このときは「切」にしてください。

きれいに再生できないとき

再生画面にノイズが出るときは、次の3つの要素が考えられます。

①トラッキングがずれている
(白い帯状のノイズが出るときなど)
トラッキングを調整してください。

②ビデオヘッドが汚れている
(画面全体にノイズが出るときなど)
ビデオヘッドクリーナー(別売)で、ビデオヘッドをクリーニングしてください。

③テープがいたんでいる
ビデオヘッドが汚れるだけでなく、故障の原因となるおそれがあります。テープがいたんでいるカセットは使わないでください。

①トラッキングを調整する

通常は自動調整されていますので、操作の必要はありませんが、別のビデオで録画されたカセットを再生するとずれやすくなります。

1

再生中に、
どちらかを押し続ける

- ノイズが消えるまで押し続けてください。
- 2つ同時に押すと、自動調整に戻ります。

- 調整しすぎると、ハイファイ音声がノーマル音声に変わることがあります。
- テープによっては、調整しきれないことがあります。
- 静止画、スロー再生中のノイズを消したいときは、一度スロー再生にして、その状態でトラッキング調整を行ってください。
- 本体の**チャンネル**[∨][∧]でも調整できます。

②ビデオヘッドをクリーニングする

再生中、本体表示窓に“ U11 ”が表示されたときは、ビデオヘッドの汚れが考えられます。

1

乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)を入れ、
約10秒間録画する

- 約10秒後に**[停止■]**を押してください。
- このあと、録画済みのカセットを入れて再生してみてください。

- まだノイズが出るときは、もう一度行ってみてください。
- 3回繰り返し行っても効果がないときは、販売店にご相談ください。

静止画面が上下にゆれるとき

静止画面の上下のゆれは、垂直同期を調整すると止まることがあります。

1

静止画再生中に、
どちらかを押し続ける

- ゆれが止まるまで押し続けてください。
- 2つ同時に押すと、元の状態に戻ります。

- お使いになるテレビによっては、調整しきれないことがあります。
- 本体の**チャンネル**[∨][∧]でも調整できます。
- テレビの垂直同期も調整してみてください。
(テレビの説明書をご覧になるか、お買い上げの販売店にご相談ください)

録画する

テレビ番組を録画する

準備

- テレビに本機の画面を出す。**(➜23,24)**
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[ビデオ]**にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜28)**

1

チャンネルを選ぶ
押す

CH 4

- **[1]**～**[12]**は、市外局番入力チャンネル設定一覧表**(➜92)**に記載されているチャンネルポジション1～12の放送局を選ぶことができます。(市外局番入力チャンネル設定だけで受信チャンネルを設定した方のみ)

2

録画モードを選ぶ
数回押す

3倍

標準 ：カセットに表示されている時間の録画ができます。
3倍 ：標準に対して3倍の録画ができます。
5倍 ：標準に対して5倍の録画ができます。

5倍モードについて

- 録画を始めたあとの約8秒間、本体表示窓の" **5倍** "が点滅します。
- 本機で5倍モードで録画したカセットは、他のビデオでは再生できません。
  カセットのラベルに「5倍」と記入するなどして、区別されることをおすすめします。
- より高画質で録画・再生するときは、S-VHSカセットを使ってS-VHS方式で録画してください。
- S-VHS ETで録画することはできません。
  メニュー「VTRモード設定」→「S-VHS ET録画」を「入」にしても働きません。**(➜50)**
- 他のビデオで再生したり保存を目的とするときは、標準モードで録画することをおすすめします。

3

押す

さらに録画中に…

■一時停止したい

押す

- 再開したいときは、もう一度押します。
  [録画●]を押しても再開できます。

録画

■CMをとばして録画したい(CMカット録画)

" ✂ "を表示させる

押す

- CM中に押したときは、そのCMの間はとばすことができません。

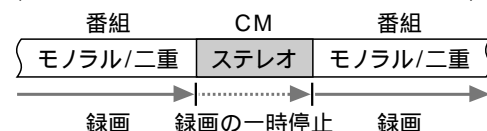
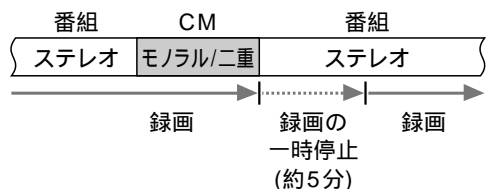
- 番組がモノラル放送または二重放送(2カ国語放送など)で、CMがステレオ放送のときに正しく働きます。
  (CMの前後が少し切れた状態で録画されます)

番組	CM	番組
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
録画	録画の一時停止	録画

- 次のようなときは、正しく働きません。
- ・番組がステレオ放送のとき

番組	CM	番組
ステレオ	ステレオ	ステレオ
	録画	

- ・CMがモノラル放送または二重放送のとき

番組	CM	番組
ステレオ	モノラル/二重	ステレオ
録画	録画の一時停止(約5分)	録画

(このようなときは、次のCMからはCMカットは働きません)

- ・CM以外でも、音声がモノラル放送や二重放送からステレオ放送に切り換わったとき
- ・外部入力チャンネルを録画するとき

CMカットを解除する

もう一度、**[CM]**を押す。

- " ✂ "が消えます。電源を切ったとき、録画の一時停止にしたときも解除されます。

■録画をやめる

[停止■]を押す。

- 録画中にチャンネルを変えることはできません。
  (録画の一時停止中は変えることができます)
- 録画の一時停止を5分以上続けると、テープとヘッド保護のため停止します。
- D-VHSカセットを使っても、デジタル(D-VHS)方式では録画できません。
  (S-VHS方式で録画されます)

録画中にテレビで別番組を見る

● 予約録画中もこの手順でテレビ番組を見ることができます。

録画中に、テレビで別のチャンネルの番組を見ることができます。
● 録画に影響はありません。

映像・音声コードで接続したとき

1 録画中に、
[テレビ]にする

2
テレビが受信しているチャンネルに切り換える
数回押す

3
見たいチャンネルを選ぶ
押す

映像・音声コードで接続していないとき

1
録画中に、
“ビデオ”表示を消す
押す

2 **[テレビ]にする**

3
見たいチャンネルを選ぶ
押す

■ふたをひらいたところ

録画中にディスクを再生する

録画中に、ディスクの再生を楽しむことができます。
● 録画に影響はありません。

1 録画中に、
[DVD]にする

2
「共用出力選択」を手動にしているときは、DVD側の映像にする
押す

3
ディスクを入れて
再生を始める(→54)

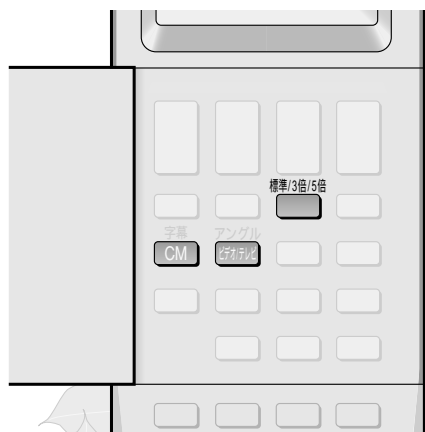
■正しく録画できているか確かめる(録画チェック)

ディスク再生中に、
押す

● 約5秒間、現在録画されている番組が映ります。
● 録画中以外のときに押すと、予約一覧画面になります。

通常の録画中

予約録画中

● 録画チェックは、ビデオ/DVD共用・出力1端子からディスクの映像を見ているときのみ働きます。

録画する(つづき)

より高画質で録画する

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチを[ビデオ]にする。**

VHSカセットにS-VHSの画質で録画する

VHSカセットにS-VHSの画質で録画できます。

- 下記の操作をしてVHSカセットを入れると、本体表示窓に" S-VHS ET "が点灯し、S-VHS ET録画できるようになります。
  また、S-VHS ET録画された番組の再生中にも点灯します。

1

押す

メニュー
▶ VTRモード設定
▶ C H 設 定
▶ 時 刻 設 定
▶ 電 力 モード
▶ プログラムナビ設定

2

「VTRモード設定」が選ばれている状態で、

押す

3

「S-VHS ET録画」を選ぶ

[▲][▼]を押す

「入」を選ぶ

[▶]を押す

VTRモード設定 1/2
▶テープ長さ [-120] [-160] [180]
▶オンスクリーン [切] [自動]
▶リモコンモード [1] [2] [3]
▶共用出力選択 [VTR] [手動] [自動]
▶ワイドモード [切] [S 1]
▶S-VHS録画 [切] [入]
▶S-VHS ET録画 切 [入]

4

押す

デジタル3次元Y/C分離を働かせる

録画時に働かせておくと、再生時にワイドテレビや大画面テレビで見るときは、より高画質の映像をお楽しみいただけます。

1

押す

メニュー
▶ VTRモード設定
▶ C H 設 定
▶ 時 刻 設 定
▶ 電 力 モード
▶ プログラムナビ設定

2

「VTRモード設定」が選ばれている状態で、

押す

3

「3次元Y/C」(2/2面)を選ぶ

[▲][▼]を押す

「入」を選ぶ

[▶]を押す

- 工場出荷時は、「入」にしていますので、通常はこのままお使いください。

VTRモード設定 2/2
▶TBC 切 [入]
▶3次元Y/C 切 [入]

4

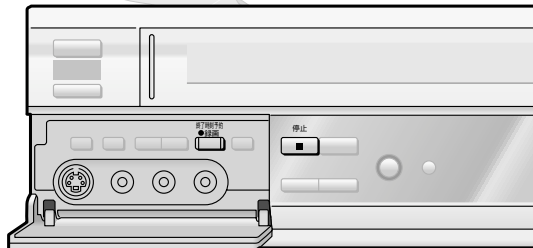
押す

S-VHS ETとは

- Super VHS Expansion Technology(スーパーブイエッチエスエクスパンションテクノロジー)の略です。
- S-VHS ET録画したカセットは、ラベルに「S-VHS ET」と記入するなどして区別されることをおすすめします。
- S-VHS ET録画したVHSカセットは下記のビデオでも再生できます。
  - ・S-VHSビデオ
  - ・SQPB(S-VHS簡易再生)機能付きVHSビデオ(機種によっては再生できないものがあります)

- 5倍モードでは録画できません。(「入」にしても働きません)
- カセットの種類によっては、十分な画質が得られないことがあります。
  あらかじめ試し録画をして、画質を確認されることをおすすめします。
  高画質で録画できるカセットの目安として、当社製のHG(ハイグレード) VHSカセットをおすすめします。
- 次のようなときは、画面が一瞬乱れることがあります。
  - ・「入」の状態で、ふつうのVHS録画した番組を再生したとき
  - ・「切」の状態で、S-VHS ET録画した番組を再生したとき
- より高画質で録画、再生、長期保存をするときは、S-VHSカセットを使ってS-VHS方式で録画してください。

デジタル3次元Y/C分離について

- 「入」にしておくと、放送局から送られてくる映像信号のY信号(輝度信号)とC信号(色信号)を正確に分離し、ノイズをおさえてすっきりきれいに録画することができます。
- 動きの速い映像の録画時は、残像現象が起こることがあります。
  このときは、「切」にしてください。

終了時刻だけを予約して録画する
(終了時刻予約録画)

指定した時刻になると、自動的に録画をやめ電源を切ります。

- 急なお出かけの際や、おやすみになる前などに、簡単な予約録画としてお使いください。

1 終了時刻予約 ●録画 【本体】

録画中に、

押す

- 本体表示窓に現在時刻と録画終了時刻“ ーー：ーー ”が表示されます。

2 終了時刻予約 ●録画

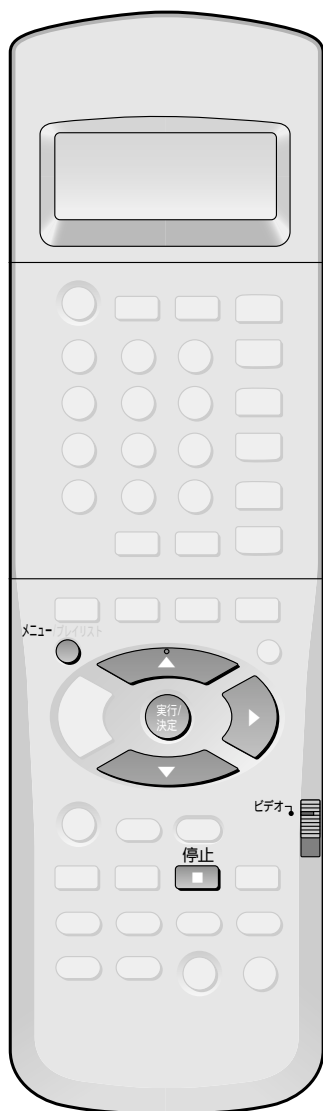
続けて数回押す

- 30分単位で録画終了時刻が変わります。
- 最大2時間先まで予約できます。
- 本体表示窓は以下のように変わります。

■解除する

本体の[**●録画/終了時刻予約**]を数回押し、録画終了時刻を“ ーー：ーー ”にする。

- 終了時刻予約録画は解除されますが、録画は続けられます。
- 録画もやめるには、[**停止■**]を押します。

- リモコンの[**録画●**]では働きません。
- 予約録画(Gコード予約やフリーセット予約)中は働きません。

予約録画する

Gコードで予約する

予約したい番組のGコードをリモコンに入力し、本機に転送するだけで予約できます。
最大16番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

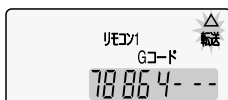
準備

- テレビに本機の画面を出す。**(➜23,24)**
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[ビデオ]**にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜28)**

1

リモコンのふたを閉めて、
押す

2

1 ～ 10/0 **Gコードを入れる**

- 間違えて押したときは、**[Gコード]**を2回押し、入れ直してください。

さらにお好みで…

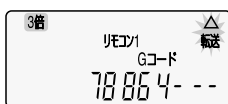
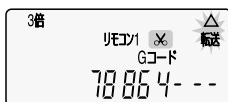
■録画モードを選びたい

標準/3倍/5倍

数回押す

- " 標準 "、" 3倍 "、" 5倍 "、" 標準3倍 "から選びます。
- " 標準3倍 "について、詳しくは**(➜右ページ)**

■CMをとばして録画したい(CMカット予約)

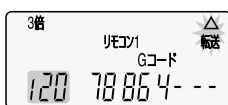
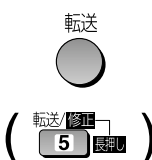
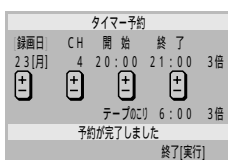
押す

- " ✂ "を表示させます。
- 詳しくは**(➜34,右ページ)**

■野球放送などの延長に備えて、録画終了時刻を延長しておきたい(予約延長)

数回押す

- 15分～120分まで延長できます。
- 詳しくは**(➜右ページ)**

3倍 リモコン1 Gコード 転送 120 78864---

3

(転送/修正 5 長押し)

手順2でリモコンのふたを開けたときは、そのままで
押す

予約録画の待機状態になりますが、自動的に電源は切れません

- 予約録画待機中でも、ディスクの再生をお楽しみいただけるようになっています。

4

ディスクの再生をしないときは、電源を切る
押す

■続けて予約を追加する
手順1～3を繰り返す。(予約待機状態でも予約できます)

■予約録画の待機状態になったあとに予約内容を修正したいとき
予約内容を修正する**(➜42)**

Gコードとは

新聞などのテレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。(最大8けた)

00 夜のワイドショー ▽私の結婚観 田村純子 ▽あの有名選手に迫る 市原幸子 松公子 78864
55 N天 20668

- Gコード予約した番組は、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- Gコードシステムとは、ジェムスター社が開発した簡単予約録画システムです。

予約を正しく行うために

- ガイドチャンネルを正しく設定してください。複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されていると、正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。

- 選ばなくても予約できます。
  ただし、本体の現在の録画モードによって、以下のように自動的に設定されます。
  ・本体が「標準」のとき→**" 標準3倍 "**
  ・本体が「3倍」のとき→**" 3倍 "**
  ・本体が「5倍」のとき→**" 5倍 "**

- 転送後は、テレビ画面に" Gコード "→" 予約内容 "の順に表示されます。
  " 予約内容 "画面は、テープ残量も表示されます。転送時の本体の録画モード(標準、3倍または5倍)で計算されます。
  ただし、カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- さらにその約14秒後に予約録画の待機状態になります。(本体表示窓に" ⏲ "が表示されます)

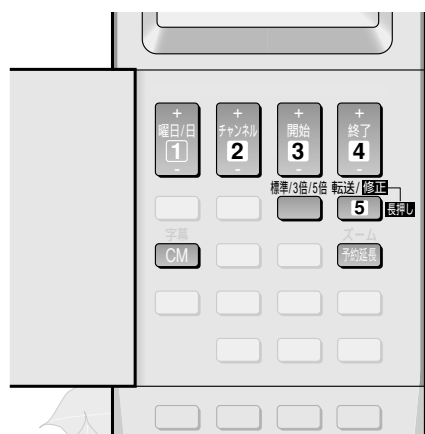
転送直後に予約内容を修正する

- テレビ画面に予約内容が出ている間(約14秒間)は、以下のボタンで修正できます。

[1曜日/日]	：毎日・毎週予約など**(➜40)**
[2チャンネル]	：予約チャンネル
[3開始]	：開始時刻
[4終了]	：終了時刻
[CM]	：CMカットする・しない
[標準/3倍/5倍]	：録画モードの変更
[予約延長]	：終了時刻の延長**(➜右ページ)**

- 「CH」の項目が" Gーー "(点滅)になっているときは、予約したチャンネルのガイドチャンネルが正しくありません。
  このときは、
  [＋チャンネル－]で、予約したいチャンネルに合わせ、**[実行/決定]**を押す。
  予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。

- 電源を入れたまま予約録画が始まると、終了後も電源が入ったままになります。
  自動的に電源は切れません。

■ふたをひらいたところ

- テレビ画面に" 予約ミス "と表示されたときは、設定が間違っています。もう一度最初から予約し直してください。
- 本体表示窓に" FULL "と表示されたときは、すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。

予約した番組が野球中継延長などで遅れたり、予定より延長されたとき
- Gコード予約は、番組開始・終了の予定時刻で予約するため、このようなときは番組の最初から最後までを録画することはできません。ただし、前もって終了時刻を延長しておくことはできます。(➜下記)

BS放送の番組を予約するとき
- BSチューナー内蔵テレビが必要です。(➜78)

標準3倍(ぴったり録画)について

[標準/3倍/5倍]で" 標準3倍 "を選ぶと、標準モードで予約録画を始め、途中でテープ残量が足りなくなってくると、自動的に3倍モードに切り換えて番組の最後まで録画します。
- テープ残量よりも長い番組の予約録画中に、1番組ごとに働きます。
例)2番目の番組の途中から3倍モードで録画

予約内容

1番目(30分)	2番目(60分)	

実際の録画状態

" 標準 "で 30分録画	" 標準 "で 15分録画	" 3倍 "で 45分録画

(60分カセットを使ったとき)

- 番組の最初から3倍モードで録画してもテープが足りないときは、番組の最後まで録画できません。
- CMカットも働かせたときは、CMをとばした分だけ録画時間が短くなるため、テープが余ることがあります。
- ぴったり録画中に予約延長も働かせたときは、その時点で番組の残り時間とテープ残量を計算し直します。(ただし、一度予約延長を行って3倍モードに切り換わる番組は、後から延長時間を短くしても標準モードには戻りません)
- 5倍モードでは働きません。
- 以下のときは正しく働かないことがあります。
  - ・メニュー「VTRモード設定」の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - ・品質の悪いカセットを使ったとき

CMを自動的にとばして予約録画したいとき(CMカット予約)
- 予約録画される番組によっては、正しく働かないことがあります。(➜34)
- 予約録画開始直後がCM中のときは、そのCMの間は働きません。ただしCM中でもモノラル音声のCMからステレオ音声のCMに換わったときは働きます。

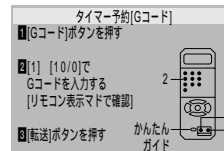
予約録画の終了時刻を延長する(予約延長)
- 予約した番組の終了時刻を最大2時間先まで延長できます。
- **[予約延長]**を押すごとに延長される時間が変わります。
15分→30分→45分→60分→90分→120分→延長しない

Gコード予約のしかたがわからないとき

テレビ画面の指示に従って予約の操作ができます。

1

押す

- 表示を消すには、2回押しします。

予約録画する(つづき)

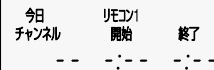
Gコードなしで予約する (フリーセット予約)

予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。
最大16番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

準備

- テレビに本機の画面を出す。**(➜23,24)**
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[ビデオ]**にする。
- 本機の時刻が正しいことを確かめる。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜28)**

- 予約の際に各ボタンを押しても、リモコン表示窓が右図のまま動かないときは、**[確認]**を押すと元に戻ります。

1

予約する

リモコン表示部

1予約日
2予約チャンネル
3開始時刻
4終了時刻

さらにお好みで…

■録画モードを選びたい

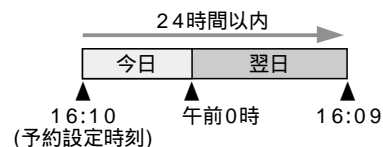
数回押す

- “標準”“3倍”“5倍”“標準3倍”から選びます。
- “標準3倍”について、詳しくは**(➜39)**

■CMをとばして録画したい(CMカット予約)

押す

- “✂”を表示させます。
- 詳しくは**(➜34)**

1予約日(曜日/日)の変わりかた
[＋]側を押すごとに、
→**今日の予約**
(今の時刻から、24時間以内に始まる番組を予約)
現在時刻が16時10分ならば、翌日の16時09分までが“今日”になります。

→**1週間以内**(日→月→火→水→木→金→土)
→**1カ月以内**(1→2→3→…→29→30→31)
→**毎日**(毎週日〜土→毎週月〜土→毎週月〜金)
→**毎週**(毎週日→毎週月→毎週火→…→毎週土)
と変わります。([−]側を押すと逆方向)

- 毎日・毎週予約をしたときは、予約録画終了後も予約内容は消去されません。

2予約チャンネルの変わりかた
[＋]側を押すごとに、
→**VHF/UHF**(1→2→3→…→62)
→**BS**(BS1→BS3→…→BS15)
→**CATV**(C13→C14→…→C63)
(工場出荷時はとばされています)
→**外部入力**(L1→L2)
と変わります。([−]側を押すと逆方向)

- 押し続けると、10ずつ変わります。
- 必ず本体表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネルで合わせてください。
それ以外のチャンネルは予約できません。

3開始時刻・4終了時刻の変わりかた

- 押し続けると、30分単位で変わります。
- 時刻は24時間表示です。

2

押す

タイマー予約

録画日	CH	開始	終了	
23[月]	4	20:00	21:00	3倍

テープのこり 6:00 3倍
予約が完了しました

予約録画の待機状態になりますが、自動的に電源は切れません

- 予約録画待機中でも、ディスクの再生をお楽しみいただけるようになっています。

すぐに予約録画を始めたいとき
2**予約チャンネル**と4**終了時刻**だけ合わせて**[転送/修正(長押し)]**を押すと、終了時刻までの予約録画を始めます。

- 転送後、テレビ画面に“予約内容”が表示され、テープ残量も表示されます。転送時の本体の録画モード(標準、3倍または5倍)で計算されます。ただし、カセットを入れた直後など、残量計算されていないときは表示されません。
- さらにその約14秒後に予約録画の待機状態になります。(本体表示窓に“⏲”が表示されます)

3

ディスクの再生をしないときは、電源を切る
押す

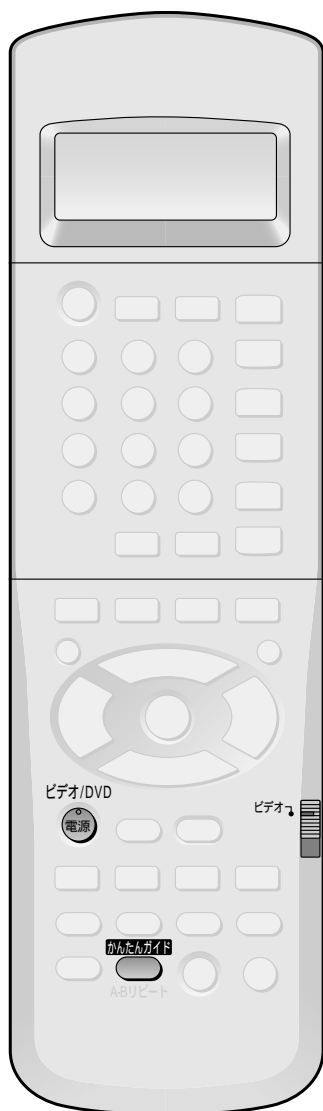
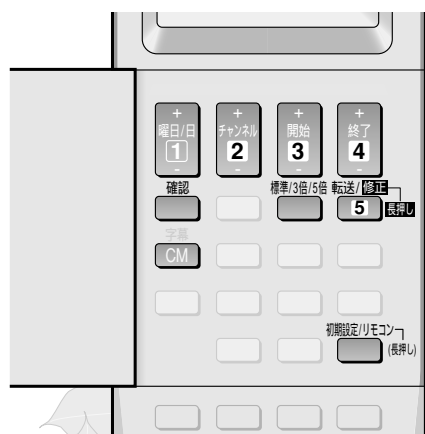
- 電源を入れたまま予約録画が実行されると、終了後も電源が入ったままになります。
自動的に電源は切れません。

■続けて予約を追加する
手順1〜2を繰り返す。(予約待機状態でも予約できます)

■予約録画の待機状態になったあとに予約内容を修正したいとき
予約内容を修正する**(➜42)**

● 本体表示窓に“ FULL ”と表示されたときは、すでに16番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。

BS放送の番組を予約するとき

● BSチューナー内蔵テレビが必要です。(➜78)

■ふたをひらいたところ

リモコンの予約チャンネル表示を設定する

本体の表示チャンネルに合わせて、使わない予約チャンネルはとばしておくと、素早く合わせることができます。

● CATVを受信される方は、必ず下記の操作を行って必要な予約チャンネルを表示させてください。
(工場出荷時は、CATVチャンネルはすべてとばされています)

1

☎マークが出るまで押し、
さらに1回押す

2

とばしたい(表示させたい)予約チャンネルを選ぶ
数回押す

● 押し続けると、10ずつ変わります。

3

“ OFF ”か“ On ”を選ぶ
押す

OFF：とばす
On　：表示させる

4

リモコンのふたを
閉じる

● 必ず表示チャンネル(本体で表示させているチャンネル)で設定してください。
● 2つ以上のチャンネルをとばしたい(表示させたい)ときは、手順2〜3を繰り返してください。
● とばされたチャンネルは、フリーセット予約できません。

フリーセット予約のしかたがわからないとき

テレビ画面の指示に従って予約の操作ができます。

1

2回押す

● 表示を消すには、もう1回押します。

予約録画する(つづき)

予約内容を確認する・取り消す・修正する

予約済みの内容をテレビ画面で確認・取り消し・修正することができます。

● 電源が入っているとき、または予約録画の待機状態で操作してください。

準備

● テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
● **ビデオ/テレビ/DVDスイッチを[ビデオ]にする。**

確認する・取り消す

1

テレビ画面に予約一覧画面を出す
押す

テレビ画面

さらに、取り消したいときは…

確認

取り消したい予約内容を選ぶ
数回押す

● 押すごとに、1つ下の予約内容が選ばれます。

● 確認のみのときは、このあと[**メニュー**]を押すと、表示が消えます。
約1分そのままにしたときは、[**メニュー**]を押さなくても消えます。

本体のボタンで確認する

予約確認

押す

● 約1分そのままにしておくと消えます。
(予約した数だけ数回押しても消えます)

【本体】

2 **■取り消すときは、**

予約取消し

押す

● 予約が取り消されます。

● このあと[**メニュー**]を押すと、表示が消えます。
約1分そのままにしたときは、[**メニュー**]を押さなくても消えます。

修正する

1

修正したい予約内容を選ぶ
数回押す

録画日 CH 開始 終了
26[金] 8 16:00 17:00 標準
25[木] 6 19:00 20:00 3倍
23[火] 4 20:00 21:00 3倍
--[-] -- --:-- --:-- 標3

2

転送/修正 5 長押し

2秒以上押す

3

修正する

[①**曜日/日**] ：毎日・毎週予約など(➜40)
[②**チャンネル**] ：予約チャンネル(➜40)
[③**開始**] ：開始時刻(➜40)
[④**終了**] ：終了時刻(➜40)
[**CM**] ：CMカット予約する・しない(➜38,40)
[**標準/3倍/5倍**] ：録画モードを変更

タイマー予約
録画日 CH 開始 終了
25[水] 6 19:00 20:54 3倍

4

押す

5

リモコンのふたを
閉じる

■ふたをひらいたところ

予約録画中の番組の終了時刻を延長する

準備

● **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を[**ビデオ**]にする。

1 ズーム 予約延長

予約録画中に、
数回押す

本体表示窓

● 押すごとに延長される時間が変わります。
延長される時間の変わりかた
例：終了時刻を21時00分で予約したが、
ここから延長したい場合

21:15 (+15分) → 21:30 (+30分) → 21:45 (+45分) → 22:00 (+1時間) → 22:30 (+1時間30分) → 23:00 (+2時間) → 延長しない → 21:15

● 終了時刻を延長したために、別の番組予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
● 予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。

予約録画を解除する

予約録画の待機中に、カセットの入れ替えや再生などをしたいときは、予約録画を解除する必要があります。
また、始まった予約録画を途中でやめることができます。

準備

● **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を[**ビデオ**]にする。

予約録画の待機を一時解除する

1 タイマー切/入

押す

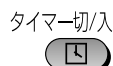
本体表示窓

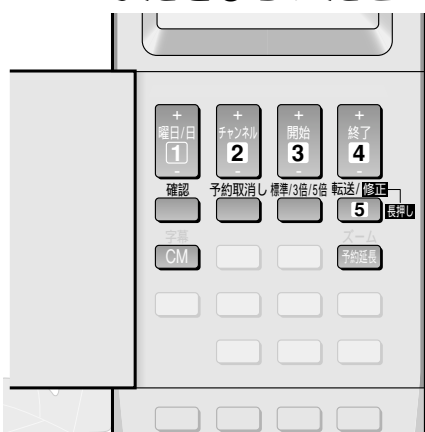
● 本体表示窓の" ⏲ "が消え、電源が入ったときの状態になります。
● もう一度押すと元の状態に戻ります。

予約録画を途中でやめる

1 タイマー切/入

予約録画中に、
押す

本体表示窓

● 録画をやめ、電源が入ったときの状態になります。

● 予約録画の待機状態にしておかないと、予約録画は実行されません。
● 予約録画を途中でやめても、予約時間内であれば、もう一度[**タイマー 切/入** ⏲]を押すと予約録画が再開されます。
● 本体の[**タイマー予約 切/入**]でも、同じ操作ができます。

番組を探す

ナビデータを使って予約録画した番組を探す (プログラムナビ)

ナビデータ(予約録画情報)を使って予約録画した番組を簡単に探すことができます。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチを[ビデオ]**にする。

ナビデータについて

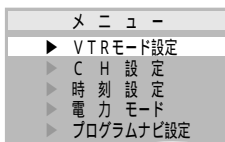
- プログラムナビを「入」にして予約録画すると、予約録画情報が自動的に登録されます。
- 登録できる数
  - ・カセットで20本分
  - ・全体の番組数で50番組
    (1本のカセットにつき最大14番組)
- 1本のカセットに15番組以上予約録画したときは、古い番組から削除されていきます。
- 予約操作の完了後に、登録可能な残りプログラム数が表示されます。

プログラムナビを「入」にして予約録画する

1

押す

メニュー
▶ VTRモード設定
▶ CH設定
▶ 時刻設定
▶ 電力モード
▶ プログラムナビ設定

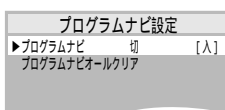
2

[▲][▼]で「プログラムナビ設定」を選び、

[実行/決定]を押す

3

「プログラムナビ」が選ばれた状態で、「入」を選ぶ

押す

プログラムナビ設定
▶プログラムナビ　切　[入]
プログラムナビオールクリア

- 「切」にしていると、予約録画してもナビデータが登録されません。

4

押す

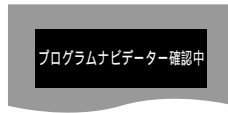
5

予約録画する(➜38～41)

- 自動的にナビデータが登録されます。

- カセットを入れると、自動的にナビデータを確認します。

プログラムナビデーター確認中

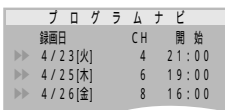
- カセットを入れてもナビデータが確認できなかったときは、**[プログラムナビ]**を押すと、もう一度確認します。
- 未録画部分で**[プログラムナビ]**を押しても、ナビデータを確認できません。
  必ず本機で予約録画した番組の部分で、**[プログラムナビ]**を押してください。それでも確認できなかったときは、テレビ画面に“プログラムナビデーターが確認されません”と表示されます。このときは頭出しできません。

見たい番組を頭出しする

準備
- プログラムナビを「入」にする。(➜上記)
- プログラムナビ「入」で予約録画したカセットを入れる。

1

押す

プログラムナビ

	録画日	CH	開始
▶▶	4/23[火]	4	21:00
▶▶	4/25[木]	6	19:00
▶▶	4/26[金]	8	16:00

- 予約録画した番組の一覧「録画日・CH(チャンネル)・録画開始時間」が表示されます。

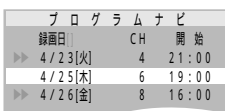
2

頭出ししたい番組を選ぶ

数回押す

- 押すごとに、1つ上の番組が選ばれます。

プログラムナビ

	録画日	CH	開始
▶▶	4/23[火]	4	21:00
	4/25[木]	6	19:00
▶▶	4/26[金]	8	16:00

選んだあと、3秒以上たつと頭出し開始

番組が見つかると、自動的に再生

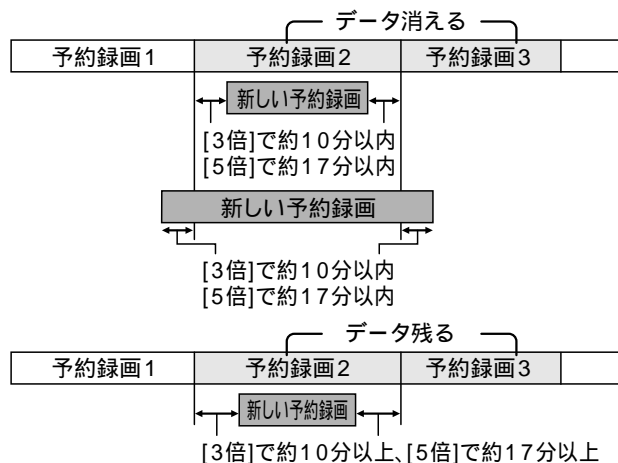
- 再生中に押したときは、再生をやめ、プログラムナビ画面を表示します。
- **[プログラムナビ]**を押すごとに、“ビデオ1”などの表示が出たり、画面が一瞬黒くなったりすることがあります。
  「今すぐ再生」機能(➜22)を働かせているときは、**[プログラムナビ]**を押したときにも、テレビの入力を「ビデオ1」にする信号を出しているためです。
  この現象が気になるときは、「今すぐ再生」機能を解除してください。

- 頭出しが始まったあとや、自動的に再生が始まったあとでも、**[プログラムナビ]**を押して別の番組を選ぶことができます。

■頭出しを途中でやめる

[メニュー]を押す。
- プログラムナビ画面が消え、停止します。

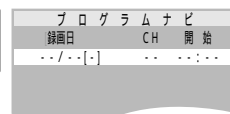
正しくナビデータを登録するために
- テープの始端から、番組と番組の間をあけないよう予約録画してください。
- 以下のときはナビデータは登録されません。
  - ・通常の録画
  - ・終了時刻予約録画
  - ・映像のない(音声のみの)予約録画
  - ・短い時間の予約録画
    約15分(5倍モード時は約25分)以上必要です。
  - ・すでにカセット20本分、または50番組を登録しているとき
    新しい予約をすると、予約操作の完了後に、“プログラムナビ、残り0カセット、データーを消してください”または“プログラムナビ、残り0プログラム、データーを消してください”と表示されます。
- 以下の場合は正しく働かないことがあります。
  - ・メニュー「VTRモード設定」(➜**50**)の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - ・本機以外のビデオで予約録画したカセットを使ったとき(当社製の同機能付きビデオも含む)

・ナビデータのある予約録画番組のところに新しく予約録画したとき
録画した時間によっては、以前のナビデータが削除されます。(下図)

便利機能

カセット単位でナビデータを消去する

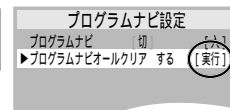
消去したナビデータは、元に戻すことができません。
消去してよいかよく確かめてから行ってください。

1

プログラムナビ画面の表示中に、
約5秒以上押す

- ナビデータを1番組ずつ消去することはできません。

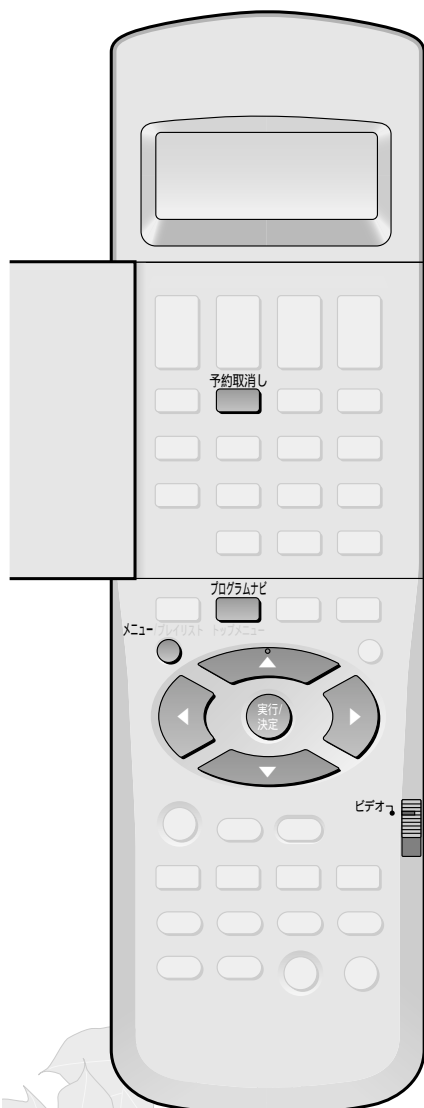
すべてのカセットのナビデータを消去する

左ページ“プログラムナビを「入」にして予約録画する”手順2のあと、

1 **[▼]で「プログラムナビオールクリア」を選び、「実行」を表示させる**
[◀]または[▶]を押す

2

押す
- すべてのカセットのナビデータが消去されます。

■メニュー画面を消す
[メニュー]を押す。

- この操作を行っても本体内部のナビデータが消えるだけで、カセットにはナビデータが残ったままになります。
  このため、本体内部のナビデータを消去したカセットを入れて**[プログラムナビ]**を押しても、正しく表示されません。
- カセットに記録されているナビデータも消去したいときは、テープリフレッシュされることをおすすめします。(➜**47**)
  ただし、テープリフレッシュを行うと、録画した番組などもすべて消去されます。

番組を探す(つづき)

頭出しで番組を探す

本機で録画すると、録画の開始点で自動的に頭出し信号が記録されます。これを使って録画を始めたところを頭出しすることができます。

- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を[**ビデオ**]にする。

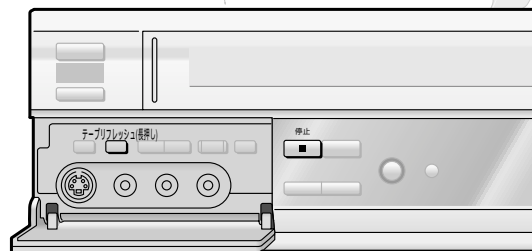
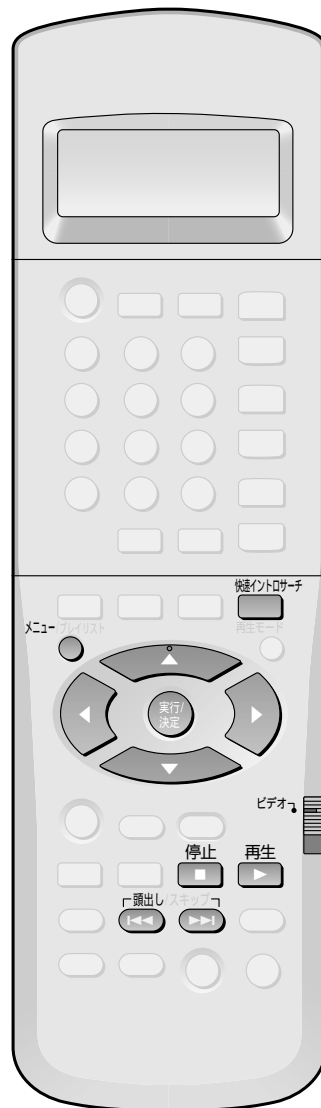
1番組単位で頭出しする

数回押す

早送り方向…[▶▶I]
巻戻し方向…[I◀◀]

- 早送り(巻き戻し)を始め、番組を探します。
- 番組を見つけると、自動的に再生を始めます。

頭出しする番組の指定のしかた

- 最大20番組先(前)までの番組が指定できます。
- ボタンを押しすぎたときは、反対方向のボタンを押してください。
- 以下のときに、頭出し信号が記録されます。
  - ・[**録画●**]、[**●録画/終了時刻予約**]を押して録画を始めたとき。
    (録画の一時停止を解除して録画を再開したときは記録されません)
  - ・予約録画が始まったとき。
  - ・録画中に、リモコンの[**録画●**]を押したとき。
- 次のときは、正しく探せないことがあります。
  - ・頭出し信号どうしの間隔が短いとき
    録画は約15分(5倍モード時は約25分)以上行ってください。

次々に頭出しして番組を探す(快速イントロサーチ)

1

押す

テレビ画面
再生▶▶

2

見たい番組が見つかったら、押す

テープ頭出し ▶▶▶▶

快速イントロサーチの動作

1. テープを始端まで巻き戻す。
2. 始端から約10秒間、早送り再生する。
3. 通常の早送りをしながら次の頭出し信号を探す。
4. 頭出し信号を見つけると、そこから約10秒間早送り再生する。

テープの始端　頭出し信号
番組1　番組2　番組3
巻き戻し
早送り再生(約10秒間)　早送り　早送り再生(約10秒間)　早送り　早送り再生(約10秒間)

- テープの終端まで、3〜4を繰り返し、終端まで来ると始端まで巻き戻します。

■頭出し、快速イントロサーチを途中でやめる

[**停止■**]を押す。

テープリフレッシュする ビデオ

カセットの録画内容をすべて消す (テープリフレッシュ)

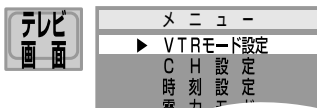
この操作をすると映像、音声、ナビデータはすべて消え、元に戻すことができません。
消してよいかよく確かめてから行ってください。
※テープが新しくなるわけではありません。

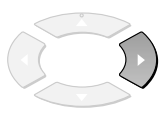
準備

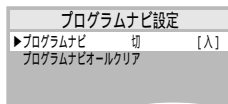
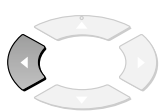
- テレビに本機の画面を出す。(➔23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を[**ビデオ**]にする。
- テープリフレッシュしたいカセットを入れる。

1

押す

2

[▲][▼]で「プログラムナビ設定」を選び、
[実行/決定]を押す

3

■本機でプログラムナビ「入」で予約録画したカセットのとき

「プログラムナビ」を「入」にする
押す

■本機以外で予約録画したカセットのとき
(当社製プログラムナビ機能付ビデオも含む)

「プログラムナビ」を「切」にする
押す

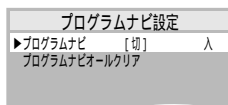
4

押す

5

【本体】

5秒以上押す

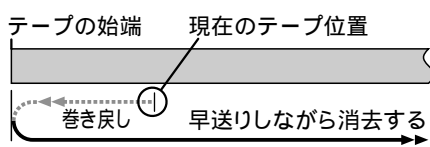
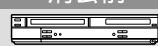
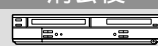
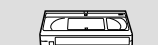
6

もう一度、
2秒以上押す

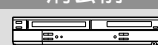
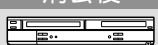
- テープリフレッシュが始まります。**(➔下記)**
- “TAPE REF”とテープ残り時間が交互に表示されます。

■途中でやめる
[停止■]を押す。
- 止めたところまでは消去されています。

テープリフレッシュの動作

1. テープを始端まで巻き戻す。
2. 早送りしながら、録画された内容を消去していく。
3. 終端まで消去すると、始端まで巻き戻して停止する。

- 120分カセットで約17分かかります。(目安です)
- 誤消去防止用の「つめ」を折り取っているカセット、または誤消去防止つまみが「OFF」になっているカセットはテープリフレッシュできません。

本機でプログラムナビ「入」で予約録画したカセットのとき
- 必ず手順3で「プログラムナビ」を「入」にしてください。

消去前		消去後
本体内部 カセット1の予約録画情報あり	➔	カセット1の情報 **➔消える**
本機で予約録画したカセット1 予約録画情報あり		**カセット1の情報 ➔消える**

- 「切」にして消去すると、本体内部は消去したカセットの情報が残ったままになってしまいます。

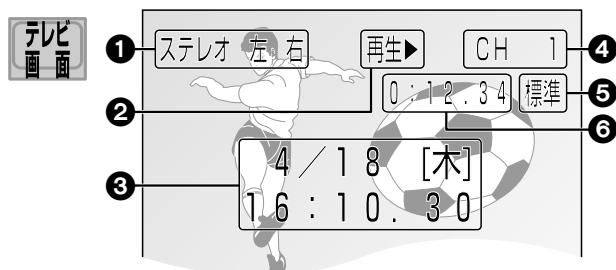
本機以外で予約録画したカセットのとき
(当社製プログラムナビ機能付ビデオも含む)
- 必ず手順3で「プログラムナビ」を「切」にしてください。

消去前		消去後
本体内部 カセット1の予約録画情報あり	➔	カセット1の情報 **➔そのまま残る**
他機で予約録画したカセット1 予約録画情報あり		**カセット1の情報 ➔消える**

本機で予約録画したカセット1の情報 ➔そのまま残る

- 「入」にして消去すると、本体内部は、本機で録画したカセット番号(例では1)の情報も消えてしまいます。
- メニュー「VTRモード設定」**(➔50)**の「テープ長さ」を正しく合わせておかないと、テープの残り時間が正しく表示されません。
- テープリフレッシュしたあとに再生動作をしたとき、テープカウンターの数字が動くことがありますが、そのまま新しく番組などを録画しても影響ありません。

画面表示・音声切換

画面表示について (オンスクリーン)

画面表示の一例

操作したときに、テレビ画面に操作内容や本機の動作状態などを約5秒間表示します。

- 次のようなときは、オンスクリーン表示は出ません。
  - ・静止画、スロー再生中
  - ・メニュー「VTRモード設定」(➜**50**)の「オンスクリーン」を「切」にしているとき
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりすることがあります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れることがあります。

❶ **音声/自動CM早送り/レンタルモード**
- ステレオ(二重)放送受信時、“ステレオ(二重)”。**(➜右ページ)**
- **[音声切換]**で音声選択時、“左 右”、“左”、“右”。**(➜右ページ)**
- **[CM]**を押すごとに、“自動CM早送り 入(または切)”。**(➜31)**
- **[レンタルモード]**を押すごとに、“スタンダード”、“ダイナミック”、“ソフト”。**(➜31)**
- **[3次元]**を押すごとに、“3次元DNR 入(または切)”。**(➜32)**

❷ **動作表示**
- 再生、早送りなど、本機の動作状態。

❸ **日付/現在時刻表示(➜下記)**

❹ **チャンネル表示**
- チャンネル切換時、録画開始時。

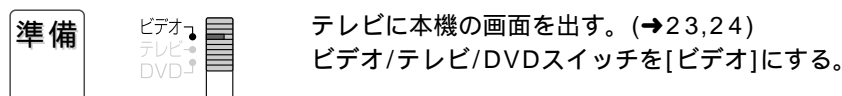
❺ **録画モード表示**
- 録画開始時、テープ残り時間表示時などに、“標準”、“3倍”、“5倍”。

❻ **テープカウンター/テープ残り時間表示(➜下記)**

時刻、テープカウンター、テープ残り時間を確かめる

合わせて本体表示窓の表示も変わります。

準備

- テレビに本機の画面を出す。**(➜23,24)**
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1 時計/のこり ポジションメモリー

数回押す
- 5秒以内に押すごとに、

- ボタンを押して5秒以上たつと自動的に消えます。

- 自動時刻合わせ機能(➜**52**)が働いているときは、秒まで表示されます。
- テープカウンター表示になっているときに**[リセット]**を押すと、値が“0：00．00”になります。
- メニュー「VTRモード設定」→「オンスクリーン」を「切」にしているときは、テレビ画面には表示されません。**(➜50)**

テープ残り時間表示について
- 表示は目安です。
- 残り時間の計算がされていないとき(カセットを入れた直後など)は表示されません。テープ残り時間表示にすると、すぐに計算を始めますが表示されるまでに多少時間がかかることがあります。
- 次のときは、正しい表示になりません。
  - ・メニュー「VTRモード設定」(➜**50**)の「テープ長さ」を正しく合わせていないとき
  - ・品質の悪いカセットを使ったとき

ステレオ音声、主音声・副音声を切り換える

テレビ番組の受信、または再生中の音声を切り換えることができます。

- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1

聞きたい音声を選ぶ

数回押す

- 押すごとに、下表のように変わります。

■テレビ放送受信中

	テレビ画面表示	選ばれた音声
ステレオ放送	ステレオ　左　右	ステレオ音声
	ステレオ　左	左音声
	ステレオ　　　右	右音声
二重放送 (2カ国語放送など)	二　重　左　右	主音声＋副音声
	二　重　左	主音声
	二　重　　　右	副音声
モノラル放送 (外部入力チャンネルも含む)	音　声　左　右	左音声＋右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　　　右	右音声

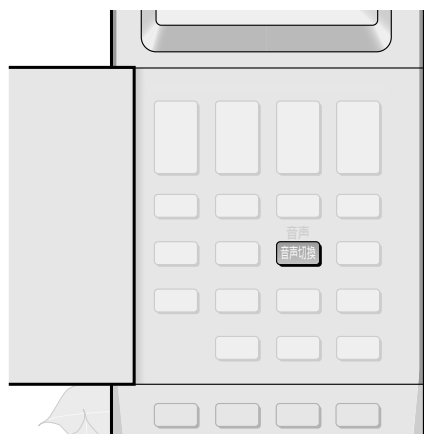
■録画したテレビ番組の再生中

	テレビ画面表示	選ばれた音声
ステレオの番組	音　声　左　右	ステレオ音声
	音　声　左	左音声
	音　声　　　右	右音声
	音　声	ノーマル音声(左＋右)
二重音声の番組 (2カ国語など)	音　声　左　右	主音声＋副音声
	音　声　左	主音声
	音　声　　　右	副音声
	音　声	ノーマル音声(主音声)
モノラルの番組	音　声　左　右	左音声＋右音声
	音　声　左	左音声
	音　声　　　右	右音声
	音　声	ノーマル音声(モノラル)

■ふたをひらいたところ

- 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。
- 　　　の欄が2カ国語オート再生機能(➜**下記**)で自動的に選ばれる音声です。
- 選んだ音声だけを録音することはできません。
- 録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。
- テレビと映像・音声コードで接続していないときは、聞こえる音声は常にモノラルになります。
- 次のときは音声を選ぶことができません。
  - ・ノーマル音声しか記録されていないカセットの再生中
  - ・“ dc ”チャンネル(➜**80**)を選んでいるとき
  - ・Pinミュージック中(➜**82**)

■2カ国語オート再生機能について

- ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。
- 次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
  - ・本機または当社の同機能付きビデオで録画していない番組を再生中
  - ・外部入力録画または“ dc ”チャンネル(➜**80**)で録画したカセットを再生中
  - ・**[音声切換]**を押して、音声を選んだあと(選んだ音声を本機が記憶しているためです。一度電源を切ると、この機能は働くようになります)
  - ・番組の途中から再生を始めたとき
    この機能が、記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。このときは**[音声切換]**で音声を選んでください。
  - ・ディスク再生中

便利機能

設定を変える

いろいろな項目の設定を変える (VTRモード設定)

使う条件に合わせて、いろいろな項目を変えることができます。

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- ビデオ/テレビ/DVDスイッチを[ビデオ]にする。

1

メニュー/プレイリスト

押す

メニュー
▶ VTRモード設定
▶ C H 設 定
▶ 時 刻 設 定
▶ 電 力 モード
▶ プログラムナビ設定

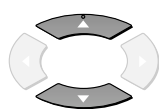
2

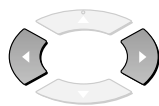
「VTRモード設定」が選ばれている状態で、

押す

3

設定したい項目を選ぶ

[▲][▼]を押す

設定を変える

[◀][▶]を押す

VTRモード設定			1/2
テープ長さ	[−120]	[−160]	[180]
オンスクリーン	切		[自動]
▶リモコンモード	1	[2]	3
共用出力選択	[VTR]	手動	[自動]
ワイドモード	切		[S 1]
S−VHS録画	切		[入]
S−VHS ET録画	[切]		入

1/2面

VTRモード設定		2/2
▶TBC	切	[入]
3次元Y/C	[切]	[入]

2/2面

4

押す

複数の当社製ビデオを使うとき(リモコンモード)

複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いの方は、機種別にリモコンモードを変えておくと別々に操作できます。

■本体のモードを変える

1 上記手順で、リモコンモード

「1」、「2」、「3」のいずれかを選ぶ

■リモコンのモードを変える

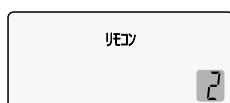
2

☎マークが出るまで押し続け、

さらに3回押す

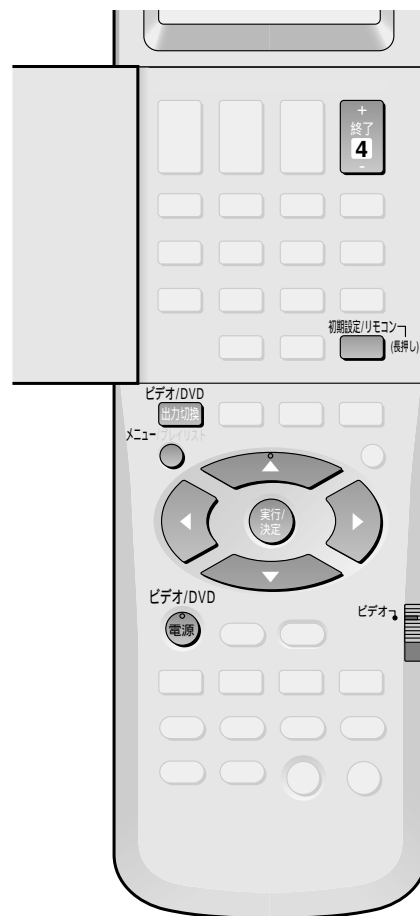
3

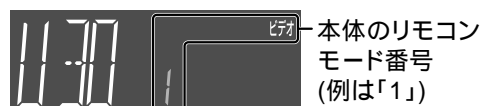
リモコンモードを選ぶ

数回押す

- 押すごとに、「1」⟷「2」⟷「3」と変わります。
- 本体のモードに合わせてください。

4

リモコンの

ふたを閉じる

- 当社製ビデオのほとんどが共通したリモコン方式のため、再生などの操作をすると、本機以外の別のビデオにも影響してしまいます。
  このときは、リモコンモードを変えてください。
- 通常は工場出荷時のまま「リモコンモード1」でお使いください。
  (当社製ビデオが本機しかないときなど)
- この設定は当社製ビデオが複数台あるときのみ働きます。当社製DVDプレーヤーやテレビに対しては働きません。
  当社製DVDレコーダーをお持ちの方で、同じ場所で本機をお使いの場合は、DVDレコーダー側のリモコンモードを変えてください。

操作できずに、本体表示窓に下図のような表示が出るとき

本体のリモコンモード番号
(例は「1」)

- 本体とリモコンのリモコンモードが合っていないので、操作できません。リモコン側のモードを本体に合わせてください。
- 複数の当社製ビデオを同じ場所でお使いのとき、本機を操作すると別のビデオに上図のような表示が出ることがあります。このとき別のビデオが録画中や予約録画の待機状態などになっていても影響はありません。この表示は約3秒間表示され、そのあと元の状態に戻ります。

各項目について

■1/2面

テープ長さ

▶－120(工場出荷時)
T120(120分)、TC20(VHS C・20分)カセットや、それより短いものを使うとき。

▶－160
T140(140分)、T160(160分)、TC30(VHS C・30分)カセットを使うとき。

▶180
T180(180分)カセットや、それより長いものを使うとき。

※ D VHSカセットのときは、どの位置に設定してもテープ残り時間が正しく表示されません。

オンスクリーン

▶切
テレビ画面に表示を出さないようにするとき。

▶自動(工場出荷時)
操作をしたときなどに、約5秒間だけテレビ画面に表示を出すとき。

リモコンモード(詳しくは→左ページ)

▶1(工場出荷時)
通常はこの位置。

▶2
複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。

▶3
複数の当社製ビデオを同じ場所で使うとき。

共用出力選択

▶VTR
ビデオ出力のみで使うとき。

▶手動
ビデオとDVDの出力を手動で切り換えるとき。
- **[ビデオ/DVD出力切換]**を押すごとに切り換わります。

▶自動(工場出荷時)
操作や本機の動作に応じて、自動的に出力を切り換えるとき。
- **[ビデオ/DVD出力切換]**を押しても切り換えできます。

ワイドモード

▶切
テレビのS映像入力端子に接続したとき。

▶S1(工場出荷時)
テレビのS1映像端子入力端子に接続したとき。
ワイドモードの映像をテレビに送ると、テレビの画面が自動的にフルモードに切り換えられます。
- 予約録画中のテレビ番組を見るときに、本体表示窓のディスク操作部が消えていると、正しく画面サイズが切り換わらないことがあります。(予約録画には影響ありません)
  このときは、**[ビデオ/DVD電源]**を押して、ディスク側の電源を「入」にしてください。

S-VHS録画

▶切
S-VHSカセットにVHS方式で録画するとき。

▶入(工場出荷時)
S-VHSカセットにS-VHS方式で録画するとき。
(通常はこの位置)

S-VHS ET録画

▶切(工場出荷時)
VHSカセットにS-VHSの画質で録画しないとき。

▶入
VHSカセットにS-VHSの画質で録画するとき。

■2/2面

TBC

▶切
繰り返し録画したカセットや、ビデオカメラで撮影したカセットの再生時に、「入」にしていると映像が乱れるとき。

▶入(工場出荷時)
繰り返し録画したカセットや、ビデオカメラで撮影したカセットの再生時に、細かいゆれやゆがみをおさえるとき。

3次元Y/C

▶切
動きの速い映像のときに起きやすい残像現象を軽減して録画するとき。

▶入(工場出荷時)
放送局から送られてくる映像信号の「Y信号(輝度信号)」と「C信号(色信号)」とを正確に分離し、ノイズをおさえて録画するとき。

設定を変える(つづき)

時刻を合わせ直す (時刻設定)

時刻が合っていないときは、合わせ直してください。

準備

ビデオ テレビ DVD

- テレビに本機の画面を出す。(➔23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を[**ビデオ**]にする。

1

メニュー/プレイリスト

押す

2

[▲][▼]で
「時刻設定」を選び、

[実行/決定]を押す

テレビ画面

時 刻 設 定
2000. 1. 1 [土] 0:00
サマータイム 切
自動時刻CH 自動

3

設定したい項目を選ぶ
[◀][▶]を押す

[▶]を押すごとに、
→時刻
→サマータイム
→自動時刻CH
→年
→月
→日…と変わります。

時 刻 設 定
2002.10. 1 [火] 16:10
サマータイム 切
自動時刻CH 3

合っていないところで、修正する
[▲][▼]を押す

「時刻」について
- 24時間表示です。
- 押し続けると30分単位で変わります。

「サマータイム」について
- 「入」にすると時刻を1時間すすめます。
  「切」にすると元に戻ります。
  将来、サマータイムが実施されたときにお使いいただけます。現在は「切」にしておいてください。(2002年9月現在)

「自動時刻CH」について
- NHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします。
  表示チャンネルで合わせてください。

「年」について
- 西暦1988〜2087年までです。

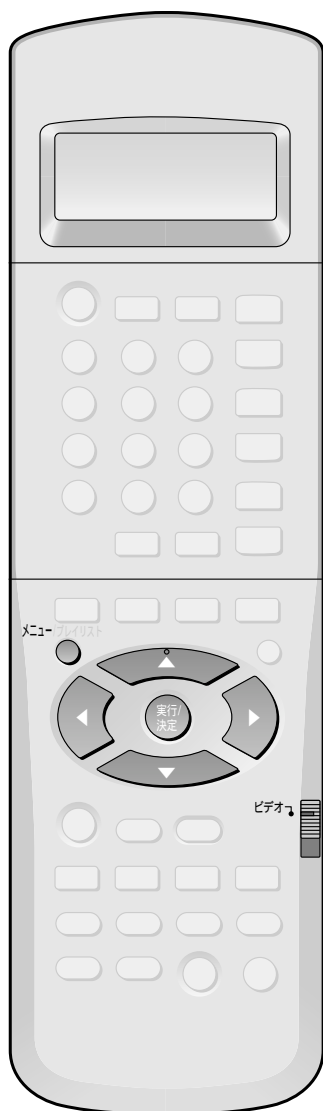
■時刻設定画面を消す
[**メニュー**]を押す。

自動時刻合わせ機能について
- 「自動時刻CH」をNHK教育テレビに合わせておくと、本機が毎日7、12、19時に時報が放送されるかどうかを確認します。
  そのときに時報が放送されると、それに合わせて誤差を自動修正します。
  (2分以内の誤差が修正されます)
- 「自動時刻CH」を「自動」にすると、本機が自動的にNHK教育テレビを探し出します。
  地域により、探し出すまでに数週間かかることもありますので、あらかじめご自分でNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします。
- 自動時刻合わせ機能は、NHK教育テレビの時報を利用しています。正規の時報以外に番組の中で時報が放送されると、“ 時報 ”と誤って検出し、正しい時刻に設定されません。時刻表示の誤差が2分以上あるときは、時刻設定で正しい時刻に合わせ直してください。
- 次のようなときは働きません。
  ・「自動時刻CH」を「ーー」にしているとき。
  (自動時刻合わせ機能が働いていない状態)
  ・時報が放送される時刻に電源が入っているとき。
  ・予約録画の待機中のとき。
  ・時報のバックに音楽が流れているとき。
  ・「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
- 電源コードを抜いたあとや停電したあとなどは、自動時刻合わせ機能が働いていない状態になります。

不要な電力消費をおさえる (電力モード設定)

不要な電力の消費をおさえることができます。

準備

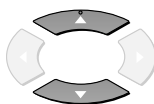
● テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
● **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1

押す

2

[▲][▼]で
「電力モード」を選び、 テレビ 画面

[実行/決定]を押す

3

設定したい項目を選ぶ
[▲][▼]を押す

設定を変える
[◀][▶]を押す

■電力モード画面を消す
[メニュー]を押す。

各項目について

時刻表示

▶切
電源「切」時に本体表示窓の表示をすべて消すとき。
● 電源「切」時の消費電力を約1.2ワットにすることができます。
● 何も表示されていないときでも、**[時計/のこり]**で時刻表示を確かめたり、予約録画の待機中は**[確認]**で予約内容を確かめたりすることはできます。

▶入1(工場出荷時)
電源「切」時に、本体表示窓に現在時刻を暗く表示するとき。

▶入2
電源「切」時に、本体表示窓に現在時刻を明るく表示するとき。

自動電源　切

▶切
「自動電源 切」機能を働かせないとき。

▶2H
約2時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。

▶6H(工場出荷時)
約6時間以上何も操作をしなかったときに、自動的に電源を切るとき。
● 続き再生メモリー機能(➜56)動作中は働きません。

ディスクの再生

再生する

準備

- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- メニュー「VTRモード設定」の「共用出力選択」を「手動」にしているときは、**[ビデオ/DVD出力切換]**を押し、ディスクの映像にする。(➜28)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[DVD]**にする。

DVD-V RAM VCD CD MP3

1 ▲開/閉 ディスク

ディスクトレイを開ける
押す

ディスクを取り出すとき
[▲開/閉(ディスク)]を押す。
- ディスクトレイが出てきます。
- 電源が切れていても取り出せます。

2

ディスクを
置く

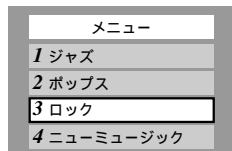
再生したい側のラベル面を上に

3

押す

- ディスクによっては、メニュー画面や映像・音声が出るまで時間がかかることがあります。
- プレイバックコントロール付きビデオCDの多くは、再生するとテレビ画面にメニューが表示されます。本体表示窓に“ PBC ”と表示されます。

このあと、テレビ画面にメニューが表示されたときは…

項目を選ぶ
押す

- “ *3* ”を選んだ例。
  例) 3の場合…**[3]**
  10の場合…**[≧10]→[1]→[10/0]**
  25の場合…**[≧10]→[2]→[5]**
- 選んだ項目の再生が始まります。

- 番号を押し間違えたときは、**[取消し]**を押すと1つ前に戻ります。
- DVDは、**[◀][▲][▼][▶]**で項目を選び、**[実行/決定]**を押しても選ぶことができます。
- **[|◀◀][▶▶|]**などで選べるディスクもあります。操作のしかたはディスクによって異なります。ディスクの説明書をお読みください。
- メニュー画面表示中は、ディスクが回り続けています。本体のモーター保護と、テレビ画面の焼き付き等を防止するため、再生しないときは、**[停止■]**を押し、停止させてください。

■メニュー画面に戻す

[メニュー]を押す。
- 複数のメニューを持つDVDの場合、**[トップメニュー]**を押すとディスク全体のメニューが表示されることがあります。

- 本体にディスクが入っているときに電源を入れると、ディスクによっては自動的に再生を始めることがあります。
- ボタン操作中、テレビ画面に“ ⃠ ”(禁止)マークが表示されたときは、その操作がディスクまたは本機で禁止されているためできません。
  このときは、次のようなマークが表示されます。

ディスク側で禁止されている操作

本機側で禁止されている操作

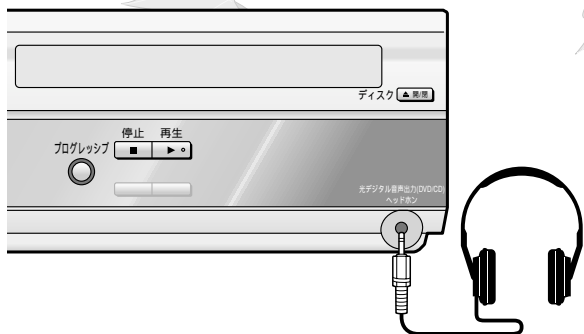
MP3ディスクについて MP3
- 本機に認識させるため、再生が始まるまで少し時間がかかることがあります。
- 再生が始まると、テレビ画面に文字情報が表示されます。

グループ：ロックコンサート2002
トラック：HEY！SAY！

- 100トラック以上あるMP3ディスクの100トラック以上を再生しているときは、本体表示窓には右図のように表示されます。

トラック103を再生中

- 通常の再生以外に、メニューを使って操作することができます。(➜66)
- 本機で再生できるのは、ISO9660 level1またはlevel2で記録されたものに限ります。(拡張フォーマットを除く)

再生する (つづき)

本体表示窓に“ U11 ”が表示され、再生できないときは、ディスクの信号面に指紋やほこりなどの汚れが付いていることが考えられます。

- ディスクを水を含ませたやわらかい布でふいてください。(➜11)
- ディスクが汚れていないのに“ U11 ”が表示されるときは、光ピックレンズ※の汚れが考えられます。このときは、販売店にご相談ください。
  ※ ディスクの信号を読みとるための本機に内蔵されているレンズ。

プログレッシブ出力で見る DVD-V

「プログレッシブ」とは

- 従来の映像信号(NTSC)は525I(I：インターレース＝飛び越し走査)といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P(P：プログレッシブ＝順次走査)といいます。
- 本機後面のD1/D2映像出力端子とテレビを接続(➜20)し、下記の手順を行うと、プログレッシブ映像が出力できます。
  従来の映像出力端子、S映像出力端子よりも高画質な映像が楽しめます。

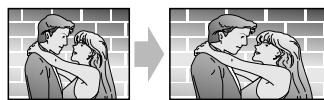
1 プログレッシブ

【本体】

再生前または再生中に、押す

- ビデオの映像をプログレッシブ出力することはできません。
- テレビ画面に“ プログレッシブ出力が不可になっています ”と表示されたときは、プログレッシブ出力できません。初期設定「映像」→「プログレッシブ出力」が「不可」になっています。「可能」に設定してください。(➜76)

プログレッシブ出力中の画面サイズの調節について

4：3(標準)サイズのソフトを16：9(ワイド)テレビで見ると、画面サイズが合っていないため、映像が左右に引き伸ばされるように映ることがあります。

また、テレビ画面には“ 4：3ソフト ”と数秒間表示されます。
このような場合は、

- **テレビ側でプログレッシブ映像の画面サイズを調節できる場合：**
  テレビ側の機能で調節してください。(テレビの説明書をお読みください)
- **テレビ側でプログレッシブ映像の画面サイズを調節できない場合：**
  [プログレッシブ]を押して、プログレッシブ出力を解除してください。
  (本体表示窓に“ PR OFF ”を表示させる)

ヘッドホンで聞く

1 ヘッドホン音量 − ＋

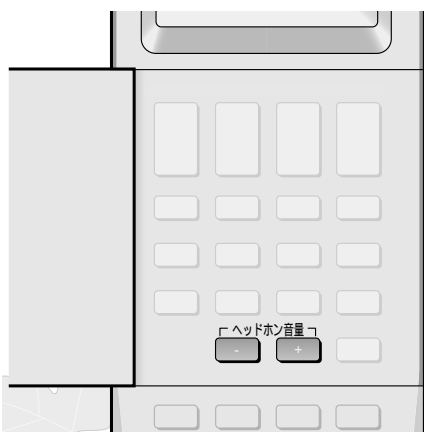
ヘッドホン(別売)を接続し、音量を調節する
数回押す

本体表示窓

- 工場出荷時の音量は“ 0 ”になっています。

- 使用前にあらかじめ音量を下げておいてから、そのあと調節してください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。
  聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ヘッドホンを接続したときは、ビデオ、ディスクともアナログ音声が出力され、光デジタルケーブル(別売)を接続したときは、ディスクのみデジタル音声が出力されます。
- ビデオ/DVD出力切換がビデオ側になっているときはビデオの音声が、DVD側になっているときは、ディスクの音声が聞こえます。

■ふたをひらいたところ

基本再生

ディスクの再生(つづき)

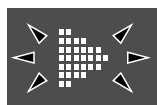
再生する (つづき)

準備

- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチを[DVD]にする。**

止めた位置から再び再生する

1

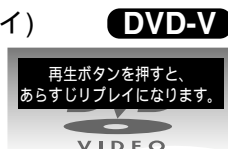
再生中、途中で停止する
押す

- 本体表示窓の“ ▶ ”が点滅しているときは、「続き再生メモリー機能」が働いています。
- ディスクの最後まで再生が終わると、自動的に停止し、ディスクによってはメニュー画面表示になります。

2

■止めた位置から再生する(続き再生メモリー機能)

停止中に、
押す

- 再生中、本体表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

■今までのあらすじを大まかに見たあと、止めた位置から再生する(あらすじリプレイ) DVD-V

停止中に、
2回押す

- 止めた位置までの各チャプターの頭を約5秒ずつ再生したあと、止めた位置から再生が始まります。
- 同一タイトル内でのみ働きます。
- DVD-RAMでは働きません。

■止めた位置を解除する

停止中に、
押す

- 続き再生メモリー機能は解除されます。

- ディスクトレイを開けたり、電源を切っても解除されます。

位置を記憶させたまま、電源を切ったりディスクを入れ換える(ポジションメモリー)

1

再生中、位置を記憶させたいところで
押す

- “ 位置を記憶しました ”と表示されます。

- ディスク1枚につき1カ所で、計5枚分記憶することができます。
  6枚目以降記憶させると、メモリーの古い順から消えていきます。

2

電源を切る
または
ディスクを取り出す

3

電源を入れる、または位置が記憶されたディスクを入れ、
押す

- 前回記憶させた位置から再生が始まります。
  メモリーはこの時点で消去されます。

- 再生を始めると、“ 位置情報をクリアしました ”と表示され、記憶させた位置は解除されます。

場面や曲を頭出しする

準備

- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➔23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[DVD]**にする。

チャプター(トラック)を飛びこす

1

押す

[⏮]…戻る
[⏭]…進む
- 押した回数だけ飛びこします。

2

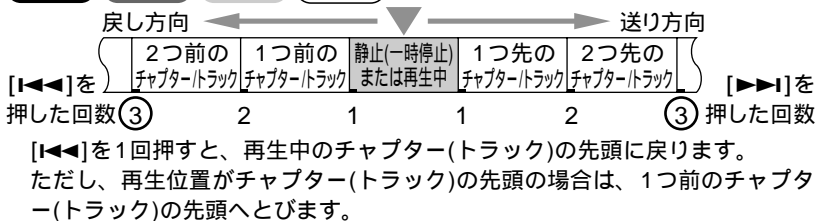
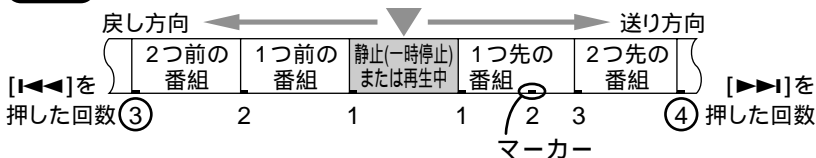
停止中に[⏮][⏭]を押したときは、
押す

- 再生中に操作したときは、飛びこしたあとも再生、静止(一時停止)中に操作したときは、飛びこしたあとも静止(一時停止)になります。
- DVDやビデオCDのメニュー画面で押すと、前のメニューに戻る場合があります。またディスクによっては働かないことがあります。

頭出しする位置の指定のしかた

DVD-V VCD CD MP3

戻し方向					送り方向
	2つ前のチャプター/トラック	1つ前のチャプター/トラック	静止(一時停止)または再生中	1つ先のチャプター/トラック	2つ先のチャプター/トラック
[⏮]を押した回数③	2	1		1	2 ③[⏭]を押した回数

- [⏮]を1回押すと、再生中のチャプター(トラック)の先頭に戻ります。
ただし、再生位置がチャプター(トラック)の先頭の場合は、1つ前のチャプター(トラック)の先頭へとびます。

RAM

- 番組の先頭、またはマーカーが記憶されているときはその位置を頭出しします。[⏮]を1回押すと、再生中の番組の先頭、または直前のマーカー位置に戻ります。そこから自動的に再生を始めます。
ただし、再生位置が番組の先頭(またはマーカー位置の先頭)の場合は、1つ前の番組の先頭(またはマーカー位置の先頭)へとびます。

タイトル(トラック)の番号を直接選ぶ

1

停止中に、
押す

例) 3の場合…[3]
10の場合…[≧10]→[1]→[10/0]
25の場合…[≧10]→[2]→[5]

- 選んだタイトル(トラック)の再生が始まります。
- MP3ディスクは、　MP3
例)16の場合…[1]→[6]→[実行/決定]または[再生▶]と押します。

- カラオケDVD、ビデオCD、音楽CDは再生中に操作しても働きます。
- ディスクや再生状態によっては働かないことがあります。

プレイバックコントロール付ビデオCDのメニュー再生を使わずに、トラック番号を直接選んで再生する

1. 停止(メニュー表示)中に**[停止■]**を押し、本体表示窓の“ PBC ”表示を消す。
2. **[1]**～**[10/0]**や**[≧10]**を押す。
- 再びメニュー再生に戻すには、**[メニュー]**を押して、本体表示窓の“ PBC ”を表示させます。

ディスクの再生(つづき)

いろいろな再生

● DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。**(➜23,24)**
● **ビデオ/テレビ/DVDスイッチを[DVD]**にする。

DVD-V RAM VCD CD MP3

見逃したシーンをもう一度見る(クイックリプレイ)

1

再生中に、
押す

● 押すごとに、約7〜10秒戻って再生します。

● 戻る時間は、ディスクの記録状態によって変わります。
● ディスクまたは再生している場所によって働かないことがあります。

早送り(早戻し)再生する

1

再生中に、
押す

● 押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。(5段階)
● DVDは、最大200倍速で早送り(早戻し)再生できます。

● DVD/ビデオCDは早送り・最低速時のみ音声が聞こえます。音声を消すこともできます。

(初期設定「音声」→「早送り時の音声」**(➜77)**)
● DVD、ビデオCDのメニュー画面で押すと、前のメニューに戻ることがあります。

静止画(一時停止)・スロー・コマ送り(戻し)で見る

1

■静止画(一時停止)

再生中に、
押す

● 静止(一時停止)中でもディスクは回り続けています。

■コマ送り(戻し)再生 DVD-V RAM VCD

静止中に、
押す

[◀]…戻る(DVDのみ)
[▶]…進む

● 押すごとに1コマずつ送り(戻し)ます。
● 押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。

● 送り方向のみ、**[一時停止/スロー❚❚/▶]**を押してもコマ送りできます。

■スロー再生 DVD-V RAM VCD

静止中に、
押す

[◀◀]…戻る(DVDのみ)
[▶▶]…進む
● 押すごとに速度が速くなります。(5段階)

■早送り、静止画、コマ送り、スロー再生などを通常再生に戻す
[再生▶]を押す。

繰り返し再生する(リピート再生)

1 再生中に、
押す

DVDの例

押すごとに、

DVD-V
チャプター→タイトル→切

RAM
PG(プログラム)→オール(ディスク全体)→**切**
- プレイリスト再生中のときは、
  シーン→PL(プレイリスト)→切

VCD **CD**
トラック→オール(ディスク全体)→**切**

MP3
トラック→グループ→切

■プログラムした順番に繰り返すとき(プログラムリピート再生)

プログラム再生(➜60)中に、
押す
押すごとに、

DVD-V
チャプター → **オール** → **切**
(再生中のチャプターのみ) (プログラムしたタイトル全体)

VCD **CD** **MP3**
トラック → **オール** → **切**
(再生中のトラックのみ) (プログラムしたトラック全体)

- 一部のDVDではできないことがあります。
- タイトルが2つ以上あるDVDは、ディスク全体を繰り返すことはできません。
- プレイバックコントロール付ビデオCDのメニュー再生中は働きません。

指定した2点間を繰り返す(A-Bリピート)

同一タイトル(トラック)内で、お好みの2点(A点とB点)を選んで、
その2点間を繰り返し再生することができます。

1

再生中に、開始位置(A点)を選ぶ
押す

2

終了位置(B点)を選ぶ
押す

- A－B間の繰り返し再生が始まります。

■A-Bリピートをやめる
もう一度[**A-Bリピート**]を押す。

- 一部のDVDではできないことがあります。
- 終了位置(B点)を指定する前に、タイトル(トラック)が終了したときは、タイトル(トラック)の終了点がB点となります。
- 字幕が出るDVDの場合、A-B間の前後の字幕は表示されないことがあります。
- A-Bリピート中に[**クイックリプレイ**]を押すと解除されます。(**➜左ページ**)

ディスクの再生(つづき)

いろいろな再生 (つづき)

準備

- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチを[DVD]にする。**

DVD-V VCD CD MP3

好みの順に再生する(プログラム再生) DVD-V

最大32タイトル(チャプター)まで好みの順に並べかえて再生します。

- DVD-RAMでは働きません。また、一部のDVDソフトでは働かないことがあります。

1

停止中に、
押す

2

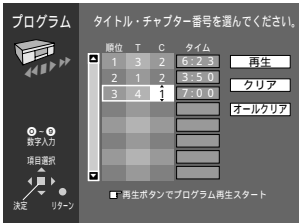
押す

3

[▲][▼]で" T(タイトル番号) "を選び、
[実行/決定]を押す

4

[▲][▼]で" C(チャプター番号) "を選び、
[実行/決定]を押す

■さらにプログラムする…
手順2～4を繰り返す。

- タイトル、チャプターは[1]～[10/0]や[≧10]を押して直接選ぶこともできます。このときは[実行/決定]を押す必要はありません。
- [▲][▼]で「ALL」を選ぶと、すべてのチャプター、タイトルがプログラムされます。

5

押す
- プログラムした順番に再生が始まります。

- [▶]で「再生」を選んで[実行/決定]を押しても再生が始まります。
- プログラム再生が終了すると停止し、プログラム入力画面になります。

プログラム再生を途中でやめる
1. プログラム再生中に、[停止■]を押す
2. [再生モード]を2回押す
- プログラムは保持されています。
  もう一度[再生モード]を押すと、現在のプログラム入力状態が表示されます。

好みの順に再生する(プログラム再生) VCD CD MP3

最大32トラックまで好みの順に並べかえて再生します。

1

停止中に、
押す

2

押す

3

[▲][▼]でトラック番号を選び、
[実行/決定]を押す

(CDの例)
プログラムの合計時間

■さらにプログラムするには…
手順2～3を繰り返す。

- MP3ディスクのみ、グループ番号を選んだあと、トラック番号を選んでください。
- [▲][▼]で「ALL」を選ぶと、全曲(MP3ディスクの場合は、グループ内の全曲)がプログラムされます。
- [1]～[10/0]や[≧10]を押して直接選ぶこともできます。このときは[実行/決定]を押す必要はありません。
- " トータルタイム "と選んだトラックの合計タイムが多少合わないことがありますが、" トータルタイム "の方が、実際の再生時間を示します。

4

押す
- 設定した順番に再生が始まります。

- プログラム再生が終了すると停止し、プログラム入力画面になります。

プログラム再生を途中でやめる
1. プログラム再生中に、[停止■]を2回押す
2. [再生モード]を2回押す
- プログラムは保持されています。
  もう一度[再生モード]を押すと、現在のプログラム入力状態が表示されます。

■**プログラムを変更する**

1. **[▲][▼]**で変更したいプログラム番号を選び、**[実行/決定]**を押す
2. 左記手順3以降を行い、変更するタイトル、チャプター(トラック)番号を選ぶ

● **スロー/サーチ[◀◀][▶▶]**を押すと、画面のページが変わり、変更したいプログラム番号を素早く表示させることができます。

■**プログラムを取り消す**

1. 取り消したいプログラムを**[▲][▼]**で選ぶ
2. **[▶][▼]**で「クリア」を選び、**[実行/決定]**を押す

● **[取消し]**を押しても取り消すことができます。

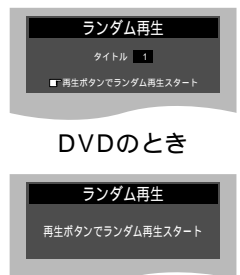
■**プログラムをすべて取り消す**

1. **[▶][▼]**で「オールクリア」を選ぶ
2. **[実行/決定]**を押す

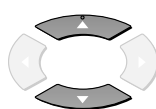
順不同に再生する(ランダム再生)

DVDは1タイトル内の各チャプターを、ビデオCD・音楽CDはディスク内の全トラックを順不同に再生します。

1

停止中に、
2回押す

DVDのとき

ビデオCD、CD、MP3ディスクのとき

2

DVD-V

ランダム再生したいタイトル番号を選ぶ
押す

● 選んだタイトル内のチャプターをランダム再生します。

3

押す

● ランダム再生が始まります。

● ランダム再生が終わると、停止してランダム再生画面に戻ります。

■**ランダム再生を途中でやめる**

1. ランダム再生中に、**[停止■]**を押す。
2. **[再生モード]**を押す。

映画や音楽をもっと楽しむ

ソフトに合わせて設定を変える

準備

- DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチを[DVD]**にする。

2本のスピーカーでサラウンド効果を楽しむ(アドバンスドサラウンド=V.S.S.) DVD-V RAM VCD

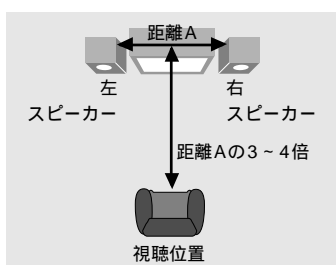
1

押す

- 押すごとに、
  ＳＰ1(標準)→ＳＰ2(強)→ＳＰ切(スピーカー時)
  ＨＰ1(標準)→ＨＰ2(強)→ＨＰ切(ヘッドホン時)

- 音に広がりを与え、フロントスピーカー(L、R)だけでサラウンド効果を楽しめます。
- サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。
- ヘッドホンを使っても同様に楽しめます。
  右図の画面が出ている間に、[◀]で「SP」を選んだあと、[▲][▼]で「HP」を選びます。

- ドルビーデジタル、LPCM、DTS2ch以上のディスクで働きます。
- ドルビープロロジックのサラウンド効果を楽しむときは、「切」にしてください。

■フロントスピーカーで聞くときの効果的な聞きかた

- 左右フロントスピーカー間の約3～4倍離れて視聴すると効果的です。
- 「SP1」、「SP2」にしたときは、フロントスピーカーからしか音声は出ません。
- 働かせるときは、接続した機器側のサラウンド機能を「切」にしてください。
- ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- 音声がひずむときは、「切」にしてください。

映画鑑賞向けの画質にする(シネマ) DVD-V RAM VCD

1

押す

- 押すごとに、
  シネマ1→シネマ2→ノーマル

- ブラウン管テレビ特有のギラギラした感じをおさえ、しっとりとしたやさしい映像にします。
- 暗くて見えにくい場合でも、人物などが見えやすいように画面の暗部のりんかくを忠実に再現します。
- **[シネマ]**を押したあと、**[▲][▼]**を押すごとに、シネマ1→シネマ2→**ユーザー**→ノーマルと変わります。
  「ユーザー」は、GUIの本機情報画面「画質設定」→「画質モード」で、好みの画質に調整することができます。(➜71)

映画のセリフを聞き取りやすくする(ダイアログエンハンサー) DVD-V RAM

1

押す

- 押すごとに、
  入⟷切

- 映画など迫力ある効果音が記録されたソフトでのセリフ部を聞き取りやすくします。
- ドルビーデジタル3ch以上で記録され、センターチャンネルにセリフが入っているディスクで働きます。
- 「入」にしていても、ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。

映像を拡大する(4：3 TVズーム) DVD-V RAM

標準(4：3)サイズのテレビで、ワイドサイズの映像がレターボックスで再生されるとき、映像の中央部を拡大して、テレビ画面サイズに近付けることができます。ただし、左右の端が見えなくなります。

1

押す

- 押すごとに、
  入⟷切

- 「入」にしていても、ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- メニュー画面では働きません。
- ズーム再生中は、ディスク内のメニューの操作が正しく働かなかったり、表示が正しくされないことがあります。
- ディスクを入れ換えたり、電源を切ると、「切」になります。

字幕、音声、アングルを切り換える

準備

● DVDやビデオCDなどの映像を見るときは、テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
● ビデオ/テレビ/DVDスイッチを[DVD]にする。

字幕言語を切り換える・字幕を切/入する DVD-V

1

再生中に、
押す

● 押すごとに切り換わります。

■字幕を切/入する DVD-V RAM

[▶]を押したあと、
「切」または「入」を選ぶ
[▲][▼]を押す

● 変更後は、選んだ言語が表示されるまで少し時間がかかることがあります。

音声言語を切り換える DVD-V RAM VCD

1

再生中に、
押す

● 押すごとに、
DVD-V
聞こえる音声言語が変わります。
RAM VCD
L R(左音声+右音声)→
L(左音声)→R(右音声)

DVDの例

ビデオCDの例

● カラオケディスクではボーカルの切/入ができます。
詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

アングルを切り換える DVD-V

1

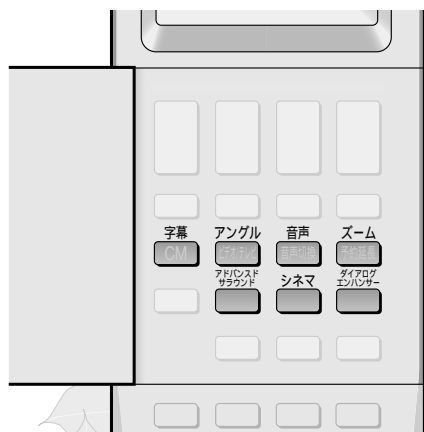
再生中に、
押す

● 押すごとに切り換わります。

■字幕、音声、アングルの画面表示を消す
[リターン]を押す。

字幕、音声、アングル番号について
● [1]~[10/0]、[▲][▼]で選ぶこともできます。
● 1つしか記録されていないときは、"▲ ▼"マークは表示されません。
● "⊘"が表示されたときは、ディスクに記録されていない番号を選んでいます。

● メニュー画面でのみ切り換えできるディスクもあります。
● 最初から好みの言語で再生したいときは、初期設定・ディスクの「字幕言語」、「音声言語」を設定してください。(➜75)
● あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。
ディスクの説明書もお読みください。

■ふたをひらいたところ

録画番組の頭出し

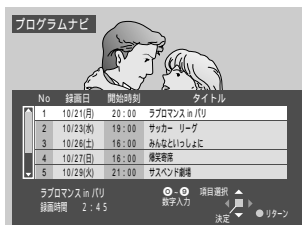
プログラムナビ番組リストから番組を頭出しする

当社製DVDビデオレコーダー(別売)で録画した番組の一覧から見たい番組を探して再生することができます。 RAM

- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を[**DVD**]にする。
- 録画済みのDVD-RAMディスクを入れる。

1

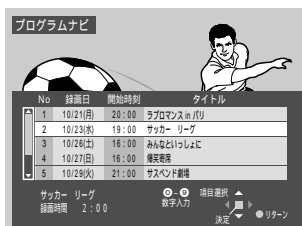
押す

- 録画済みの番組のプログラム番号、録画日、録画開始時刻、番組タイトル(タイトルが入力されている場合のみ)が表示されます。
- 停止中に押したときは、自動的に再生が始まり、この画面を出します。

- プログラムナビ番組リストは、最大99番組まで表示されます。
- タイトル欄で表示できる漢字は、JIS第一水準のみです。
  それ以外の漢字や一部の記号は“ ＿（アンダーバー）”で表示されます。
- 市販のDVDビデオソフトやCDなどでは働きません。

2

見たい番組を選ぶ

押す

- 選んだ番組の再生が始まります。

- 番組のプログラム番号は、[**1**]～[**10/0**]や[**≧10**]を押して直接選ぶこともできます。
  例) 3の場合…[**3**]
  10の場合…[**≧10**]→[**1**]→[**10/0**]
  25の場合…[**≧10**]→[**2**]→[**5**]

3

押す

- リストが消え、選んだ番組をそのまま見ることができます。

■停止する

[**停止■**]を押す。

■プログラムナビ番組リスト画面を消す

[**プログラムナビ**]または[**リターン**]を押す。

プレイリストの再生 ディスク

お好みのシーンだけを再生する

当社製DVDビデオレコーダー(別売)で作成したプレイリストを再生することができます。 RAM

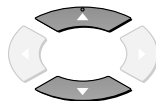
プレイリストとは
当社製DVDレコーダー(別売)を使って、番組のお好みのシーンだけを集めたり、ストーリーの順番を入れ換えたりなどして編集したリストのことです。
- 本機では、当社製DVDビデオレコーダーで作成されたプレイリストを再生することができます。

- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を[**DVD**]にする。
- プレイリスト作成済みのDVD-RAMディスクを入れる。

1

押す

- プレイリスト一覧画面が表示されます。

2

再生したいプレイリストを選ぶ
押す
- プレイリスト番号は、[**1**]〜[**10/0**]や[**≧10**]を押して直接選ぶこともできます。
例) 3の場合…[**3**]
10の場合…[**≧10**]→[**1**]→[**10/0**]
25の場合…[**≧10**]→[**2**]→[**5**]

3

押す
- 選んだプレイリストが再生されます。

■停止する
[**停止■**]を押す。
- プレイリスト一覧画面に戻ります。

■プレイリスト一覧画面を消す
[**プレイリスト**]または[**リターン**]を押す。

- プレイリスト再生中でも、通常再生と同じように早送り(早戻し)、一時停止、スロー再生ができます。
- プレイリストは、最大99まで表示されます。
- タイトル欄は漢字は表示できません。“＿（アンダーバー）”で表示されます。
- 市販のDVDビデオソフトやCDなどでは働きません。

MP3・CDテキストディスクのメニュー再生

MP3・CDテキストディスクをメニューを使って再生する

MP3やCDテキストディスクをメニューを使って再生することができます。
メニュー画面は、パソコン等でフォルダやMP3ファイルに付けた名前をそれぞれグループ名、トラック名として表示することができます。また、CDテキストディスクはテキスト情報を見ることができます。

MP3　CDテキスト

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を[**DVD**]にする。
- MP3またはCDテキストディスクを入れる。

1

テレビ画面

メニュー画面を表示させる
押す

- 表示できる漢字は、JIS第一水準のみです。それ以外の漢字は"＿（アンダーバー）"で表示されます。
- メニュー画面に表示された順番は、パソコンのディスプレイで表示される順番とは異なることがあります。
- ID3タグには対応していません。

2

再生したいトラックを選ぶ
数回押す

- 前後のページを表示するには、[◀][▲][▼][▶]で「前ページ」、「次ページ」を選んで[**実行/決定**]を押します。1グループのすべてのトラックを表示したあとは、前後のグループを表示します。

- トラック番号は、[**1**]～[**10/0**]や[**≧10**]を押して直接選ぶこともできます。
  例）3の場合…[**3**]
  10の場合…[**≧10**]→[**1**]→[**10/0**]
  25の場合…[**≧10**]→[**2**]→[**5**]

CDテキスト

- 番号を選ぶと再生が始まりますので、手順3は必要ありません。

3

再生を始める
押す

- "☞"は、再生中の曲を示します。

■停止する
[**停止■**]を押す。

■MP3リストを閉じる
[**メニュー**]または[**トップメニュー**]を押す。

ツリー画面(ディスクの全体図)のグループからトラックを選んで再生する

MP3

上記手順1のあと、

2

ツリー画面を表示させる
押す

選べない(MP3ファイルを含まない)グループ

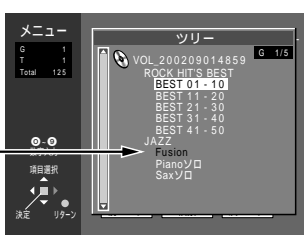
3

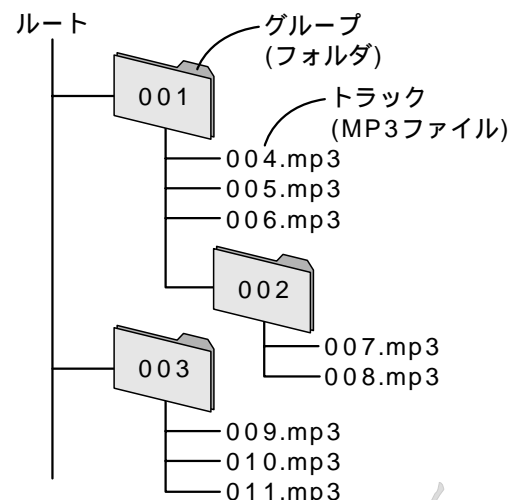
再生したいグループを選ぶ
[▲][▼]で選び、[実行/決定]を押す

- 選んだグループのMP3リストが表示されます。
- 8階層より深い階層にあるグループは、8階層目と同じ列に表示されます。

4

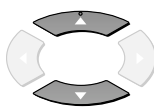
再生したいトラックを選ぶ
[▲][▼]で選び、[実行/決定]を押す

■ひとつ前の画面に戻る
[**リターン**]を押す。

本機で再生可能なMP3ディスクをパソコンで作るには

- 使用できるフォーマットは、ISO9660 level 1およびlevel 2(拡張フォーマットを除く)です。ファイル名には必ず".mp3"または".MP3"の拡張子を付けてください。
- 好みの順に再生したいときは、ファイル名の先頭に再生したい順でけた数をそろえた数字を付けてください(下図)。
  (順番どおりに再生できないこともあります)

- 本機は、マルチセッション(➜91)に対応しています。セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがありますので、セッション数は少なくすることをおすすめします。

トラックのテキスト情報を見る　CDテキスト

左ページ手順1のあと、

2

情報を見たいトラックを選ぶ

数回押す

3

テキストの情報を見る

押す

- 他のトラックの情報を見るには、[◀][▶]を押します。

■再生を始めるには

[実行/決定]を押す。

トラックをタイトルの一部を入力して探す

タイトルの一部を入力して、探したいトラックを探すことができます。
大文字で入力しますが、小文字も検索されます。

左ページ手順1のあと、

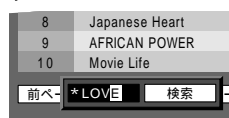
2

「検索」を選ぶ

[▲][▼]で選び、[実行/決定]を押す

3

■例：“ LOVE ”という言葉を含むトラックを探す

[▲][▼]で“ L ”を選び、[実行/決定]を押す

- [▲]を押すごとに、「A～Z」→「0～9」と変わります。
- この手順を繰り返して“ O ”、“ V ”、“ E ”と入力します。
- 文字を間違えたときは、[◀]を押すと1つ前に戻ります。

4

「検索」を選ぶ

[▶]で選び、[実行/決定]を押す

- 検索結果が表示されます。
- 検索しても該当するトラックがなかったときは、「見つかりませんでした」と表示されます。

5

再生したいトラックを選ぶ

[▲][▼]で選び、[実行/決定]を押す

- 入力できるのは、アルファベットと数字だけです。(最大8文字まで入力できます)
- 数字は、[1]～[10/0]を使っても入力することができます。

“ * ”(アスタリスク)について

- 検索する言葉の前に“ * ”を付けて検索すると、その言葉が含まれるすべてのトラックが検索されます。
  例)「Love and peace」、
  「We love Baseball」など。
- “ * ”を消して検索すると、その言葉がタイトルの先頭にくるトラックのみ検索されます。
  例)「Love and peace」、
  「Love is mind」など。
  このときは「We love Baseball」などは検索されません。

応用再生

GUIバーで操作する

操作のしかた

DVD-V RAM VCD CD MP3

準備

- テレビに本機の画面を出す。(➜23,24)
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を[**DVD**]にする。

1

再生中または停止中に、操作したいGUIバーを出す

数回押す

- 押すごとに、

ディスク情報画面(DVDの例)(➜右ページ)

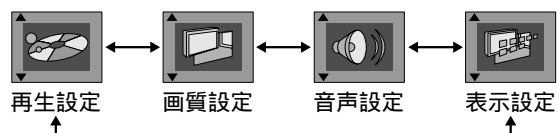
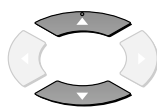
プログレス画面(DVDの例)(➜70)

本機情報画面(DVDの例)(➜70〜72)

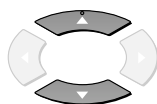
表示なし

■**本機情報画面を選んだときは、設定切換アイコン(左はし)が選ばれている状態で、**

数回押す

- 押すごとに、

2

設定したい項目を選ぶ

[◀][▶]を押す

設定を変える

[▲][▼]を押す

- 各項目の操作について(➜69〜72)
- 各枠に“ ▲ ▼ ”マークが出ているときは、[▲][▼]で変更できることを示します。
- 項目によっては、[1]〜[10/0]や[実行/決定]を押して選びます。

■**GUIバーを消す**

[**画面表示**]を数回押す。または[**リターン**]を押す。

GUIバーの位置を変える

- テレビ側の機能で、「自動画像ズーム」機能を働かせているときにDVDソフトを再生していると、GUIバーの一部が欠けたり、表示されなかったりすることがあります。
  このときは、GUIバーを移動させてください。
  1. [◀][▶]で[バー上下移動](右はし)を選ぶ
  2. [▲][▼]で位置を変える(5段階)

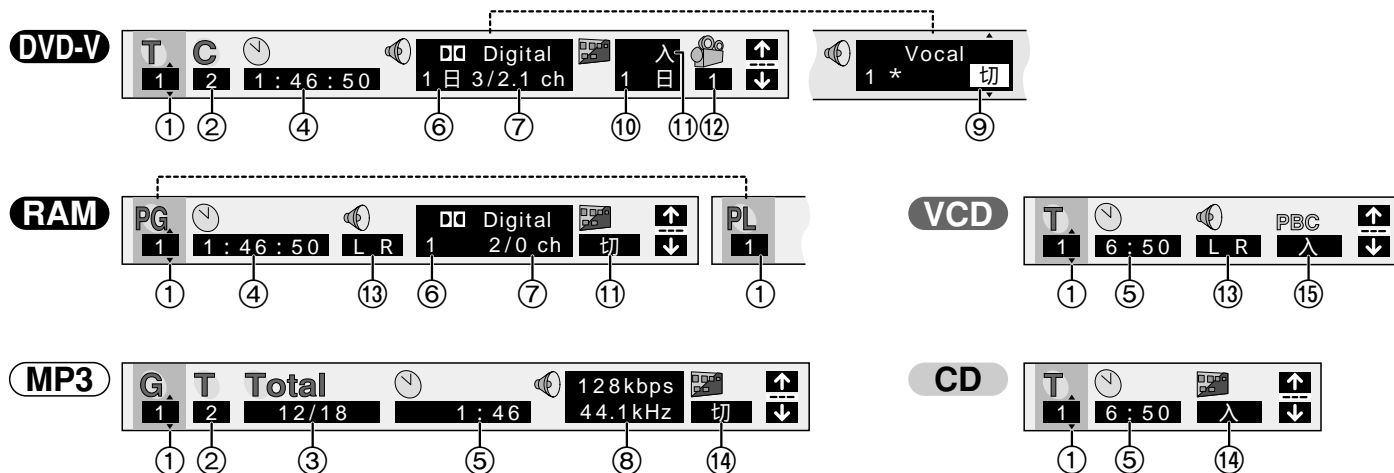
バー上下移動

GUI(Graphical User Interface)バーとは

「画面を見ながら操作できる」ことを意味し、本機の場合は、ディスクや本機の情報などを表示する細長い画面を「GUIバー」と呼びます。
再生中、情報を確認しながら内容を変更することにより、さまざまな操作ができます。

- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態(停止中など)によっては操作できない項目があります。
- GUIバー以外でも行える項目の詳細は、それぞれのページをご覧ください。

GUIバーの内容

ディスク情報画面

① **タイトル番号**(T) DVD-V
プログラム番号(PG) RAM
プレイリスト番号(PL) RAM
グループ番号(G) MP3
トラック番号(T) VCD CD
[▲][▼]で番号を選び、**[実行/決定]**を押す。

② **チャプター番号**(C) DVD-V
トラック番号(T) MP3
[▲][▼]で番号を選び、**[実行/決定]**を押す。

③ **トータルトラック番号** MP3
「トラック番号/トータルトラック(すべてのトラック数)」を表示。
● [▲][▼]を押すごとに、各トラックの情報が表示されます。

④ **時間** DVD-V RAM
指定した時間から再生する。
例)1時間46分50秒から再生するとき
[1]→[4]→[6]→[5]→[10/0]→[実行/決定]
● また、[▲][▼]を押すごとに、
再生経過時間←→ディスクの残り時間が表示されます。

⑤ **時間**
[▲][▼]で選ぶ。
トラックの経過時間←→トラックの残り時間←→ディスクの残り時間 VCD CD
トラックの経過時間(変更はできません) MP3

⑥ **音声言語番号** DVD-V RAM
[▲][▼]で番号を選ぶ。

日：日本語	**伊**：イタリア語	**露**：ロシア語
英：英語	**西**：スペイン語	**韓**：韓国語
仏：フランス語	**蘭**：オランダ語	**＊**：その他
独：ドイツ語	**中**：中国語	

⑦ **音声属性** DVD-V RAM
LPCM / **DDDigital** / **DTS** ：信号タイプ
k：サンプリング周波数(kHz)
b：ビット数(bit)
ch：チャンネル数(➜**91**)
● 操作はできません。

⑧ **ビットレート/サンプリング周波数** MP3
kbps：ビットレート　**kHz**：サンプリング周波数
● 操作はできません。

⑨ **カラオケボーカル切/入** DVD-V
(カラオケDVDのみ)
[▲][▼]で選ぶ。
ソロディスクの場合：切←→入
デュエットディスクの場合：切←→V1＋V2←→V1←→V2

⑩ **字幕言語番号** DVD-V
[▲][▼]で番号を選ぶ。

日：日本語	**伊**：イタリア語	**露**：ロシア語
英：英語	**西**：スペイン語	**韓**：韓国語
仏：フランス語	**蘭**：オランダ語	**＊**：その他
独：ドイツ語	**中**：中国語	

⑪ **字幕** DVD-V RAM
[▲][▼]で選ぶ。
切←→入

⑫ **アングル番号** DVD-V
[▲][▼]で番号を選ぶ。

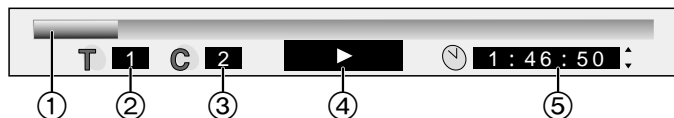
⑬ **音声モード** RAM VCD
[▲][▼]で選ぶ。
L R←→L(左音声)←→R(右音声)

⑭ **トラック情報の表示** MP3 CDテキスト
切←→入

⑮ **メニュー再生の切/入表示** VCD
(プレイバックコントロール付ビデオCDのみ)
● 操作はできません。

GUIバーで操作する(つづき)

GUIバーの内容 (つづき)

プログレス画面

① **現在の再生位置**(目安)

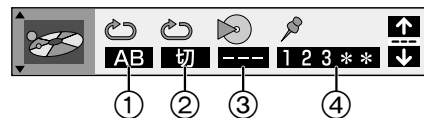
② **再生中のタイトル番号**(T) DVD-V
トラック番号(T) VCD CD
プログラム番号(PG) RAM
プレイリスト番号(PL) RAM
グループ番号(G) MP3

③ **再生中のチャプター番号**(C) DVD-V
トラック番号(T) MP3

④ **再生状態**
▶:再生
早送り/早戻し再生
● 再生中に、[◀][▶]で選ぶ。
▶▶ :**早送り**(最低速)
・▶▶ 〃
・・▶▶ 〃
・・・▶▶ 〃
・・・・▶▶:**早送り**(最高速)
◀◀:**早戻し**(最低速)
◀◀・ 〃
◀◀・・ 〃
◀◀・・・ 〃
◀◀・・・・:**早戻し**(最高速)
❚❚:静止・一時停止
スロー再生 DVD-V RAM VCD
逆スロー再生 DVD-V RAM
● 静止・一時停止中に、[◀][▶]で選ぶ。
❚▶ :**スロー**(最低速)
・❚▶ 〃
・・❚▶ 〃
・・・❚▶ 〃
・・・・❚▶:**スロー**(最高速)
◀❚:**逆スロー**(最低速)
◀❚・ 〃
◀❚・・ 〃
◀❚・・・ 〃
◀❚・・・・:**逆スロー**(最高速)
● 早送り、早戻し、スロー、逆スロー再生の速度は5段階に変えることができます。

⑤ **時間**
[▲][▼]で選ぶ。
タイトルの経過時間⟷タイトルの残り時間 DVD-V
プログラムの経過時間⟷プログラムの残り時間 RAM
● プレイリスト再生中のときは、
プレイリストの経過時間⟷プレイリストの残り時間
トラックの経過時間⟷トラックの残り時間 VCD CD
トラックの経過時間(変更はできません) MP3

本機情報画面

再生設定

① **A-Bリピート(➔59)**
再生中、**[実行/決定]**を押すごとに、
A点を指定→B点を指定(A-Bリピート開始)→
通常再生(A-Bリピート解除)

② **リピートモード(➔59)**
[▲][▼]で選ぶ。
C(チャプター)⟷T(タイトル)⟷切 DVD-V

PG(プログラム)⟷A(ディスク)⟷切 RAM
● プレイリスト再生中のときは、
S(シーン)⟷PL(プレイリスト)⟷切

T(トラック)⟷A(ディスク)⟷切 VCD CD

T(トラック)⟷G(グループ)⟷切 MP3

③ **再生モード**
内容変更はできません。
−−−:通常再生
PGM:プログラム再生
RND:ランダム再生

④ **マーカー**
もう一度再生したいところで位置を記憶させる。
RAM:最大999カ所まで
DVD-V VCD CD MP3:最大5カ所まで
1. **[実行/決定]**を押す
2. 記憶させたいところで、もう一度**[実行/決定]**を押す

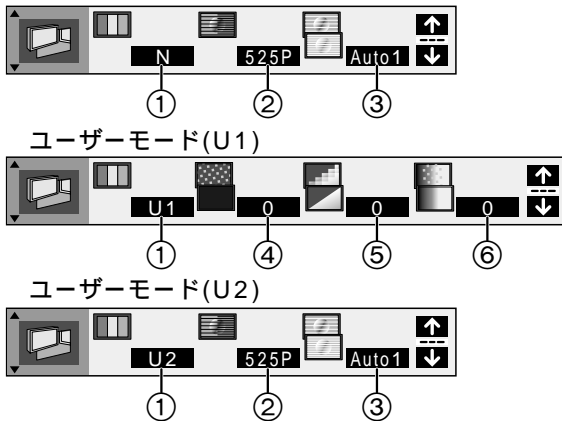
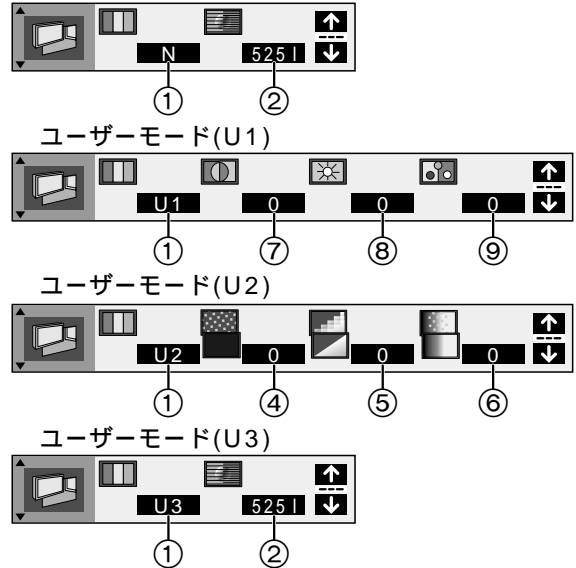
● **他にマーカーを付ける**
1. **[▶]**を押し「＊」を選ぶ
2. 記憶させたいところで**[実行/決定]**を押す

● **11カ所以上マーカーを付けるには** RAM
1. **[◀][▶]**で「1−10」を選び、
[▲][▼]で「11−20」を選ぶ
2. **[▶]**を押す
3. 記憶させたいところで**[実行/決定]**を押す

11−20 ＊＊＊

● **マーカーを呼び出す**
1. **[実行/決定]**を押す
2. **[◀][▶]**で呼び出したい番号を選ぶ
3. **[実行/決定]**を押す

● **マーカーを取り消す**
1. **[実行/決定]**を押す
2. **[◀][▶]**で取り消したい番号を選ぶ
3. **[取消し]**を押す
電源を切ったり、ディスクを取り出すとすべて消えます。

画質設定 DVD-V RAM VCD

④⑤⑥は、MPEG DNR(MPEGデジタルノイズリダクション)

① **画質モード**
[▲][▼]でお好みの画質モードを選ぶ。
N：ノーマル(通常)
C1：シネマ1(**➜62**)
C2：シネマ2(**➜62**)
U1、U2、U3※：ユーザー(自分で好みの画質にする)
※「U3」は、プログレッシブが「切」のときのみ表示されます。

- 「ユーザー」モードに切り換えるには、
  1. [▲][▼]で画質モード「U」を選ぶ。
  2. [▶]で「U」の右横の数字を選ぶ
  3. [▲][▼]で「1」、「2」、「3」のいずれかを選ぶ。

② **ビデオ出力モード**
プログレッシブ出力できるディスクをプログレッシブ出力する、しないを選ぶ。
[▲][▼]で選ぶ。
525I：インターレース出力(プログレッシブ出力しない)
525P：プログレッシブ出力(プログレッシブ出力する)

③ **変換モード**
プログレッシブ出力変換方式を素材(**➜下記**)に合わせて選ぶとき。
[▲][▼]で選ぶ。
Auto1(標準)：フィルム素材に適した変換。
Auto2：Auto1に加え、30コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応。
Video：ビデオ素材に適した変換。

■MPEG DNR(MPEGデジタルノイズリダクション)

④ **3次元NR(0〜+4)**
画面全体のノイズを取り除くとき。
[▲][▼]で調節する。
映像の輪郭がぼやけるときは、レベルを下げてください。

⑤ **ブロックNR(0〜+3)**
動画モザイク状のノイズを取り除くとき。
[▲][▼]で調節する。
映像の輪郭がぼやけるときは、レベルを下げてください。

⑥ **モスキートNR(0〜+3)**
文字の周辺など、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見える、もやのようなにじみを補正するとき。
[▲][▼]で調節する。
映像の輪郭がぼやけるときは、レベルを下げてください。

⑦ **コントラスト(−7〜+7)**
映像の白い部分と黒い部分に強弱をつける。
[▲][▼]で調節する。

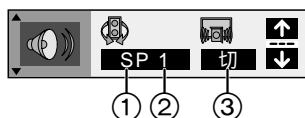
⑧ **明るさ(0〜+15)**
画面全体を明るくする。
[▲][▼]で調節する。

⑨ **カラー(−7〜+7)**
色の濃さを変える。
[▲][▼]で調節する。

DVDソフトの素材(映像情報)について
以下の2通りが一般的です。
本機は、DVDソフトに記録された映像情報がどちらの素材かを判別し、最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。
- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒で記録されているもの。(映画撮影で使われるフィルムには、24コマ/秒で画像が記録されています)
- **ビデオ素材**
  映像情報が30コマ/秒で記録されているもの。

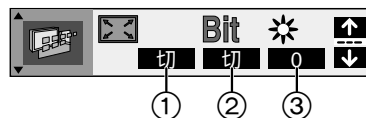
GUIバーの内容 (つづき)

本機情報画面(つづき)

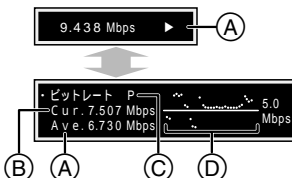
音声設定

① **アドバンスドサラウンド(V.S.S.)モード(➜62)** DVD-V RAM VCD
[▲][▼]で選ぶ。
SP：スピーカーで楽しむとき。
HP：ヘッドホンで楽しむとき。

② **アドバンスドサラウンドレベル(➜62)** DVD-V RAM VCD
[▲][▼]で選ぶ。
1⟷2⟷切

③ **ダイアログエンハンサー(➜62)** DVD-V RAM
(ドルビーデジタルでセンターチャンネルを含むディスクのみ)
[▲][▼]で選ぶ。
切⟷入

表示設定

① **ズーム(➜62)** DVD-V RAM
標準(4：3)サイズのテレビで、ワイドサイズの映像がレターボックスで再生されるとき、映像の中央部を拡大して、テレビ画面サイズに近付けるようにするとき。
[▲][▼]で選ぶ。
切⟷入

② **ビットレート表示** DVD-V RAM VCD
ビットレート表示をする、しないを設定する。
[▲][▼]で選ぶ。
切⟷入

● **表示の切り換えについて(ビットレート表示「入」時)**
1. **[画面表示]**を数回押し、ビットレート表示を出す
2. [◀][▶]で切り換える
押すごとに、

Ⓐ アベレージ・ビットレート
Ⓑ カレント・ビットレート
Ⓒ I/P/Bの種類
Ⓓ ビットレート・レコード
(用語については➜下記)

③ **OSD明るさ(－3〜0〜＋3)**
テレビ画面の明るさを調節する。
[▲][▼]で調節する。

ビットレート
1秒間の音声データを表現するのに、どれだけのデータが必要になるかを表しています。単位はbpsが使われます。
数値が大きいほど音質もよくなりますが、ファイルサイズも大きくなります。
- アベレージ・ビットレート： 現在再生したところまでの平均値を示します。
- カレント・ビットレート： 現在再生中の場所のビットレートの値を示します。
- ビットレート・レコード： 現在再生中の場所のビットレートの値を5.0 Mbpsラインを境に点で示していきます。

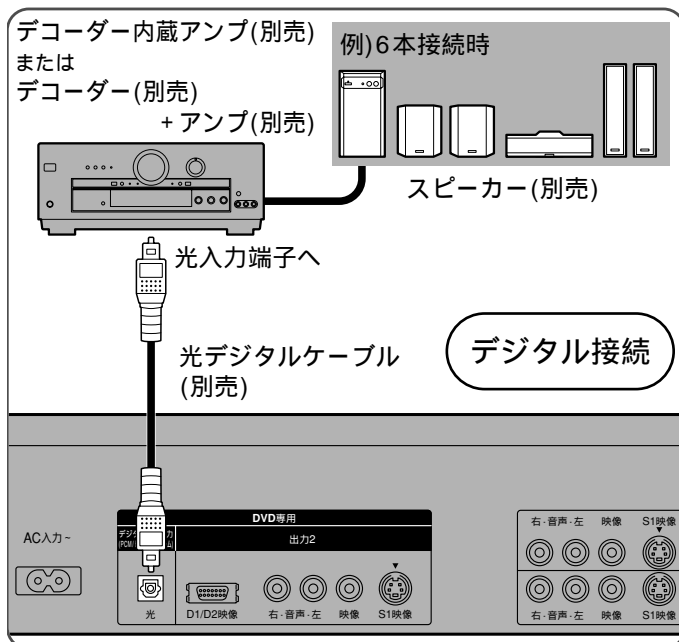
I/P/B
DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録する方式をとっています。
- I-picture(ピクチャー)： 共用データの基準として、単独で記録されるフレーム。
- P-picture(ピクチャー)： 過去のI-pictureまたはP-pictureを元に作られるフレーム。
- B-picture(ピクチャー)： I-picture、P-picture両方を元に作られ、両者の間をうめるフレーム。

I-pictureの画質が最もよいため、画質調整などをするのに向いています。

迫力ある音声で楽しむ ディスク

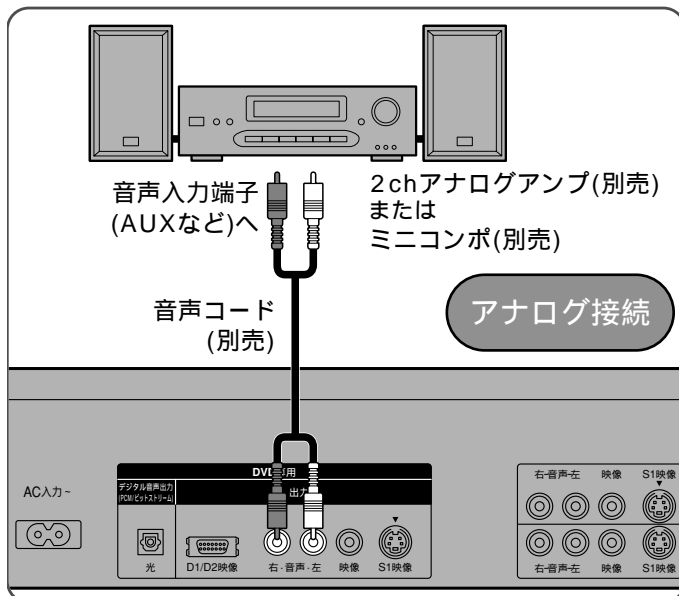
外部音響機器と接続する

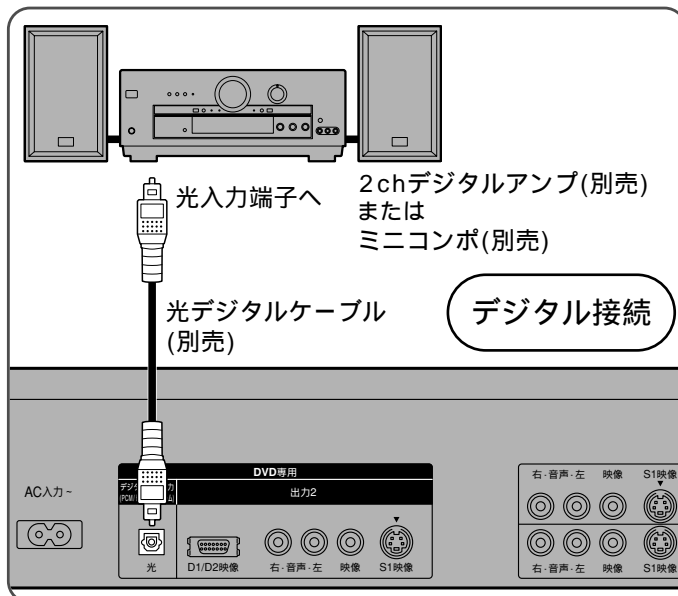
ドルビーデジタルサウンドやDTSサラウンドサウンドを楽しむことができます。

ドルビーデジタル※や5.1chサラウンドサウンド※を楽しむ

※ **ドルビーデジタルや5.1chサラウンドサウンドに対応しているディスクのみ楽しめます。対応していないディスクではこの接続をしても効果がありません。**
詳しくはディスクのジャケットや説明書をお読みください。

- ドルビーデジタルやDTSデコーダー内蔵の機器を接続してください。(本機はDTSデコーダーを内蔵していません)
- DVDに対応していないDTSデコーダーは使用できません。
- 初期設定「音声」→「PCMダウンサンプリング変換」を「する」に、「Dolby Digital」と「DTS Digital Surround」を接続する機器に合わせて設定してください。(➜77)
- スピーカーの設定は、アンプ(デコーダー)側で行ってください。
- 光デジタルケーブル(別売)をお求めになるときは、あらかじめ接続される機器の端子形状をご確認ください。
光ミニプラグと光角形プラグがあります。
- デジタル音声出力(光)端子には、ほこりが入らないようふたが付いています。そのままプラグを差し込むと、ふたが中に収納されるようになっています。

2本のスピーカーでステレオサウンド、ドルビープロロジック※サウンドを楽しむ

※ **ドルビープロロジックに対応しているディスクのみ楽しめます。対応していないディスクではこの接続をしても効果がありません。**
詳しくはディスクのジャケットや説明書をお読みください。

- ビデオ/DVD共用・出力1の音声端子でも接続できます。
- 高音質の96 kHzで楽しみたいときは、アナログで接続してください。デジタル接続すると、著作権保護のため48 kHzに変換しないと音声が出ません。
- 初期設定「音声」→「PCMダウンサンプリング変換」を「しない」に設定してください。(➜77)

ドルビープロロジック(➜90)のサラウンド効果を楽しむには
- センタースピーカー、サラウンドスピーカー(別売)も必要です。
- また、このときはアドバンスドサラウンドを「切」にしてください。「1」または「2」にしていると、サラウンド効果が正しく働きません。

- 初期設定「音声」→「PCMダウンサンプリング変換」を「する」、「Dolby Digital」を「PCM」、「DTS Digital Surround」を「PCM」に設定してください。(➜77)

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。

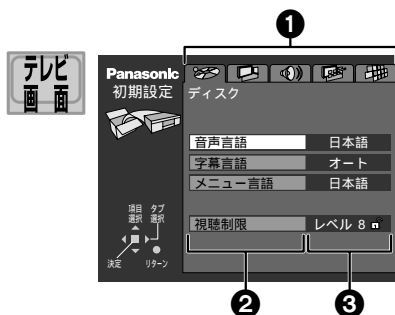
音のエチケット
シンボルマーク

初期設定を変える

設定のしかた

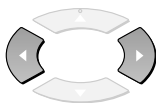
準備

● テレビに本機の画面を出す。(➔23,24)
● **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を[**DVD**]にする。

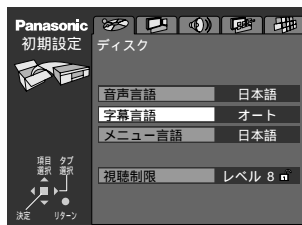
1 初期設定/リモコン (長押し) **押す**

❶メニュー項目(タブ)
● ディスク、映像、音声、画面表示、その他の5項目があります。これを選んで、各項目の詳細画面を呼び出します。

❷設定項目
● 上記で選んだメニュー項目内の詳細項目です。

❸設定内容
● 設定状態を表示します。
項目を選ぶと、設定内容を変更することができます。

2

❶メニュー項目(タブ)を選ぶ
数回押す

3

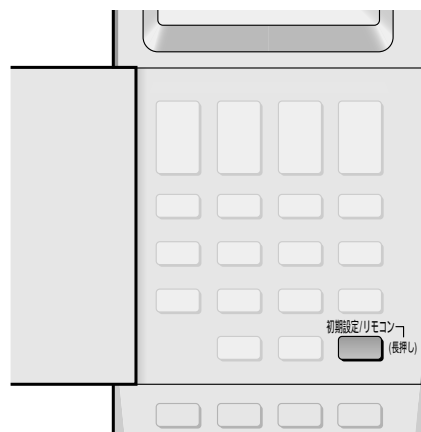
❷設定項目を
[▲][▼]で選び、[実行/決定]を押す

❸設定内容を変える
[▲][▼]で選び、[実行/決定]を押す

4

押す

■ひとつ前の画面に戻る
[リターン]を押す。

● 電源を切っても、変更した内容は記憶されています。
● 操作によって異なる画面が出ることがありますが、そのときは画面の指示に従ってください。

■ふたをひらいたところ

初期設定の項目

ディスク

DVD-V

音声言語

● 言語(音声)を選ぶとき。

▶日本語(工場出荷時)

▶英語

▶オリジナル

ディスクの最優先言語が選ばれます。

▶その他＊＊＊＊

[1]～**[10/0]**で言語番号を入力する。**(➜下記)**

字幕言語

● 言語(字幕)を選ぶとき。

▶オート(工場出荷時)

「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示する。

▶日本語

▶英語

▶その他＊＊＊＊

[1]～**[10/0]**で言語番号を入力する。**(➜下記)**

ディスクの言語について

● 選んだ言語がディスクに記録されていない場合や、言語があらかじめディスク内で決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

メニュー言語

● メニューなど、テレビ画面に表示される言語を選ぶとき。

▶日本語(工場出荷時)

▶英語

▶その他＊＊＊＊

[1]～**[10/0]**で言語番号を入力する。**(➜下記)**

視聴制限

● お子さまなどに見せたくないソフトを再生できないようにしたり、再生を制限するとき。
暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

▶8 すべて視聴可(工場出荷時)

すべてのディスクが再生可。

▶7～1

制限レベルの記録されているディスク(成人向けや暴力シーンを含むもの)が再生不可。

▶0 すべて不可

すべてのディスクが再生不可。

■7以下を選んだとき

1. **[1]**～**[10/0]**で暗証番号(4けた)を入力し、**[実行/決定]**を押す
2. もう一度**[実行/決定]**を押す
   ● ロックがかかります。

■間違った暗証番号を入力してしまったとき

● 上記手順1で**[実行/決定]**を押す前は、**[取消し]**または**[◀]**を押すと取り消せます。
● 制限レベルが記録されていないディスクを制限したいときは「0 すべて不可」を選んでください。
● ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変えることができません。暗証番号は忘れないでください。

■制限内容を変えるとき (レベル7～0のとき)

[1]～**[10/0]**で暗証番号(4けた)を入力し、**[実行/決定]**を押す。

ロック解除　：制限を解除して「8 すべて視聴可」に戻す。
暗証番号変更：暗証番号を変える。
レベル変更　：制限レベルを変える。
一時解除　　：一時的に制限を解除する。電源を切るかディスクトレイを開けるまで、「8 すべて視聴可」の状態が続きます。

言語番号一覧表

言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号	言語	番号
		エスペラント	6979	シンド	8368	トルクメン	8475	ヘブライ	7387
アイスランド	7383	オーリヤ	7982	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベトナム	8673
アイマラ	6588	オランダ	7876	ジャワ	7487	トンガ	8479	ベロルシア(白ロシア)	6669
アイルランド	7165	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ドイツ	6869	ベンガル(バングラ)	6678
アゼルバイジャン	6590	カシミール	7583	スロバキア	8375	ナウル	7865	ペルシャ	7065
アッサム	6583	カタロニア	6765	スロベニア	8376	日本語	7465	ポーランド	8076
アファル	6565	ガリチア	7176	スワヒリ	8387	ネパール	7869	ポルトガル	8084
アフリカーンス	6570	韓国(朝鮮)語	7579	スンダ	8385	ノルウェー	7879	マオリ	7773
アブハジア	6566	カンナダ	7578	スペイン	6983	ハウサ	7265	マケドニア	7775
アムハラ	6577	カンボジア	7577	ズールー	9085	ハンガリー	7285	マライ(マレー)	7783
アラビア	6582	キルギス	7589	セルビア	8382	バシキール	6665	マラッタ	7782
アルバニア	8381	ギリシャ	6976	セルボクロアチア	8372	バスク	6985	マラヤーラム	7776
アルメニア	7289	クルド	7585	ソマリ	8379	パシュト	8083	マルタ	7784
イタリア	7384	クロアチア	7282	タイ	8472	パンジャブ	8065	マダガスカル	7771
イディッシュ	7473	グアラニー	7178	タタール	8484	ヒンディー	7273	モルダビア	7779
インターリングア	7365	グジャラト	7185	タミル	8465	ビハール	6672	モンゴル	7778
インドネシア	7378	グリーンランド	7576	タガログ	8476	ビルマ	7789	ヨルバ	8979
ウェールズ	6789	グルジア	7565	タジク	8471	フィジー	7074	ラオ	7679
ウォロフ	8779	ケチュア	8185	チェコ	6783	フィンランド	7073	ラテン	7665
ヴォラピュック	8679	ゲール(スコットランド)	7168	中国語	9072	フェロー	7079	ラトビア(レット)	7686
ウクライナ	8575	コーサ	8872	チベット	6679	フランス	7082	リトアニア	7684
ウズベク	8590	コルシカ	6779	ティグリニア	8473	フリジア	7089	リンガラ	7678
ウルドゥー	8582	サモア	8377	テルグ	8469	ブータン	6890	ルーマニア	8279
英語	6978	サンスクリット	8365	デンマーク	6865	ブルガリア	6671	レトロマンス	8277
エストニア	6984	ショナ	8378	トウイ	8487	ブルターニュ	6682	ロシア	8285

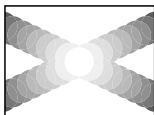
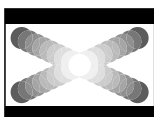
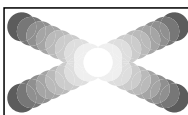
初期設定の項目 (つづき)

映像

DVD-V RAM VCD

TVアスペクト

● テレビ画面サイズに合わせて画面表示方法を選ぶ。

▶4：3パン＆スキャン(工場出荷時)
画面サイズ比が4：3の従来のテレビを使うときで、パン＆スキャン指定されたワイドサイズのソフトをパン＆スキャン(左右の切れた画面)で映したいとき。

▶4：3レターボックス
画面サイズ比が4：3の従来のテレビを使うときで、ワイドサイズのソフトをレターボックス(上下に黒い帯のある画面)で映したいとき。

▶16：9
画面サイズ比が16：9のワイドテレビを使うとき。

● 従来サイズ比のテレビに接続し、ワイドサイズの映像をパン&スキャンで映したいときは、工場出荷時の設定を変える必要はありません。
● DVDの画面横縦比はディスクによってさまざまです。
従来サイズ比(4：3)のテレビへの表示方法は上記の設定で選べますが、ワイドテレビ(16：9)をお持ちのときは、テレビ側の画面モードで表示方法を変えることができます。
● ワイドサイズのソフトによっては、この設定にかかわらずレターボックスでしか映らないものがあります。

プログレッシブ出力

● 映像信号の出力方式を選ぶ。

▶不可(工場出荷時)
プログレッシブに対応していないテレビを使うとき。

▶可能
プログレッシブ対応のテレビを使うとき。
DVD専用・出力2端子のD1/D2映像端子と、テレビのコンポーネントビデオ入力端子またはD映像入力端子を接続すると、プログレッシブ映像が楽しめます。
このときは、映像出力端子、S映像出力端子からは映像が出ません。

スチルモード

● 静止画像の表示方法を選ぶ。

▶オート(工場出荷時)

▶フィールド
粗めの静止画像になります。
「オート」に設定するとぶれが生じるときに選びます。

▶フレーム
画質のよい静止画像が表示されます。
「オート」のままでは小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないときに選びます。

■プログレッシブ(525P)映像を見るときは、コピー禁止処理システムに対応したテレビをお使いください

● 初期設定→「映像」→「プログレッシブ出力」→「可能」に設定して、プログレッシブ映像(525P)をお楽しみになる場合、本機のコピー禁止処理システムに適合した525P映像入力端子付テレビが必要です。
● 市販のDVDソフトの多くは、著作権保護への配慮により、コピー禁止処理が施されています。
本機後面のDVD専用・出力2端子のD1/D2映像端子からの映像にもコピー禁止処理信号が付加されます。
● お使いのテレビが本機のコピー禁止処理システムに適合していない場合、画面の上部がゆがんだり、映像が映らないことがあります。
● 本機のコピー禁止処理システムに対応している当社製のテレビは以下のとおりです。

(当社製テレビのみ・2002年9月現在)

BSデジタルハイビジョンテレビ
- TH-36DH200
- TH-36DH100
- TH-36(32)D100
- TH-36(32/28)D30
- TH-36(32/28)D20
- TH-36(32/28)D10

ハイビジョンテレビ
- TH-36(32)FH10
- TH-36(32)FH1
- TH-36(32)HG1
- TH-28HW3
- TH-28HW2

プログレッシブワイドテレビ
- TH-36(32/28)FP50
- TH-36(32/28)FP30
- TH-36(32/28)FP25
- TH-36(32/28)FP20
- TH-36(32/28)FP15
- TH-36(32)FP10
- TH-32(28)FS10

プログレッシブテレビ
- TH-29FP5
- TH-29FP3
- TH-33(29)FP2

DVDビデオ内蔵ワイド液晶テレビ
- TH-15DTX1
- TH-15DT2

ワイド液晶テレビ
- TH-22(15)LT1
- TH-15LV1

液晶テレビ
- TH-20(17/14)TA3

プラズマディスプレイ
- TH-42(37)PAS10
- TH-37PD10
- TH-42(37)PD2
- TH-50PH50
- TH-50PHD3
- TH-42(37)PM50
- TH-42PM30
- TH-42(37)PM20
- TH-42(37)PM2
- TH-42(37)PWD4
- TH-42PWD3
- TH-50(42)PXS10
- TH-42PX10

リアプロジェクター
- TH-48FH10
- TH-47FP10

液晶プロジェクター
- TH-AE300
- TH-AE200
- TH-AE100

当社製以外のテレビをお使いになる場合は、「DVDプログレッシブ出力のコピー禁止処理システム(マクロビジョン方式)」に対応している525P映像入力端子が付いているか、テレビメーカーにお問い合わせください。

音声 DVD-V RAM VCD

デジタル出力

▶入(工場出荷時)
下記の「PCMダウンサンプリング変換」、「Dolby Digital」、「DTS Digital Surround」の設定でデジタル音声を出力するとき。

▶切
デジタル音声を出力しないとき。

PCMダウンサンプリング変換

▶しない(工場出荷時)
音声コード(別売)でアナログ接続したとき。

▶する
DVD専用・デジタル音声出力(光)端子とAVアンプを光デジタルケーブル(別売)で接続したとき。
著作権保護のため、出力は48 kHz/16 bit以下に制限されます。

■96 kHzで記録されたディスクを再生するとき
● 以下のような音声が出力されます。

	アナログ接続時	デジタル接続時
しない	96 kHzで出力	出力しない※
する	48 kHzに変換され出力	48 kHz/16 bitに変換され出力

※著作権保護の処理がされていないディスクの場合は、96 kHzで出力されます。ただし96 kHzの高音質でディスクを楽しむには、接続する機器がサンプリング周波数96 kHzに対応していることが必要です。

Dolby Digital

● DVD専用・デジタル音声出力(光)端子とAVアンプを光デジタルケーブル(別売)で接続したときに設定します。
● 接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態(Bitstream)で出力するか、デコーダーを通さなくても聞ける状態(PCM 2ch)に処理して出力するかを選びます。

▶Bitstream(工場出荷時)
ドルビーデジタルデコーダー内蔵機器と接続するとき。

▶PCM
ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していない機器と接続するとき。

DTS Digital Surround

● DVD専用・デジタル音声出力(光)端子とAVアンプを光デジタルケーブル(別売)で接続したときに設定します。
● 上記の「Dolby Digital」と同様の選択をDTS信号に対して行います。

▶PCM(工場出荷時)
DTSデコーダーを内蔵していない機器と接続するとき。

▶Bitstream
DTSデコーダー内蔵機器と接続するとき。

音声のダイナミックレンジ圧縮(ドルビーデジタルのみ)

● 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

▶切(工場出荷時)
▶入

早送り時の音声

● 早送り(最低速時のみ)するときに、音声が聞こえるようにするかしないかを選ぶ。(➜58)

▶あり(工場出荷時)
▶なし

画面表示

画面メニュー言語

● 初期設定画面の言語や、操作時にテレビ画面に表示される言語を選ぶ。

▶日本語(工場出荷時)
▶English

画面メッセージ

● 操作時の表示をテレビ画面に表示するかしないかを選ぶ。

▶入(工場出荷時)
▶切

その他

デモモード

▶しない(工場出荷時)
▶する
テレビ画面上でデモンストレーション表示が始まります。
デモンストレーションは、どのボタンを押しても停止します。

クイックセットアップ

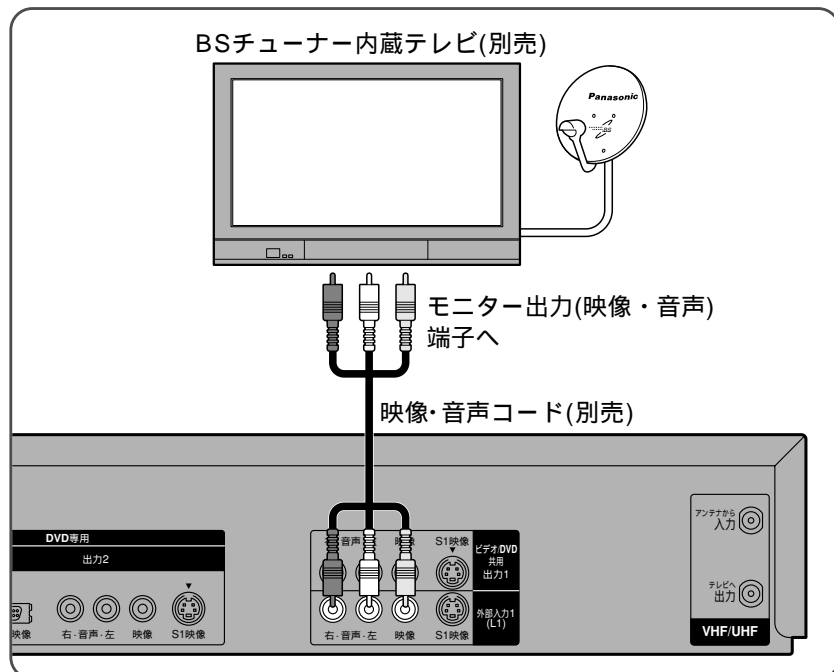
● テレビ画面上で、基本的な初期設定の5つの項目を対話形式で設定できます。
各項目の詳しい内容については、それぞれのページをお読みください。(➜75～77)

▶する
クイックセットアップの項目
・画面メニュー言語
・音声言語
・字幕言語
・TVアスペクト
・プログレッシブ出力

▶しない(工場出荷時)

初期設定

外部入力を録画する

BSチューナー内蔵テレビからBS番組を録画する

準備

- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[テレビ]**にする。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜28)**
- テレビの電源を入れる。

1

約10秒以内に

BSチャンネルを選ぶ
押す

2

[ビデオ]にする

3

テレビのモニター出力を接続した外部入力チャンネルを選ぶ
押す

L1：外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2：外部入力2端子(前面)に接続したとき

4

録画モードを選ぶ
数回押す

5

押す

■録画をやめる
[停止■]を押す。

- テレビにBSチューナーがないときや、モニター出力端子がないときはできません。
- BS録画中は、テレビの電源を切ったり、テレビのチャンネルを切り換えたりしないでください。
- テレビに「BS固定」モードがあるときは、設定されることをおすすめします。

■ふたをひらいたところ

他のビデオなどから録画する

準備

- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[ビデオ]**にする。
- 「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➔28)**

1

外部機器を接続した外部入力チャンネルを選ぶ

押す

L1：外部入力1端子(後面)に接続したとき
L2：外部入力2端子(前面)に接続したとき

2

録画の開始点を探す
押す

録画の開始点で、静止画にする
押す

録画の一時停止にする
押す

3

録画モードを選ぶ
数回押す

- " 標準 "" 3倍 "" 5倍 "から選びます。

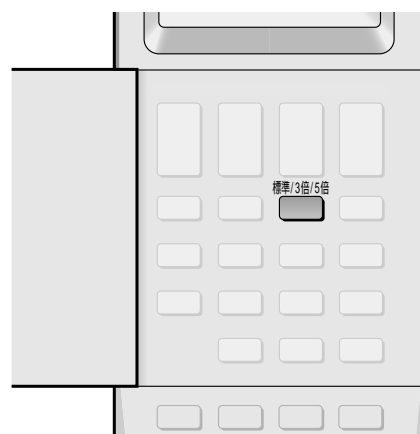
4

再生機で、
再生を始める

5

録画を始めたい場面で、
押す

■録画をやめる

[停止■]を押す。
- 再生機も停止させてください。

BS番組をGコード予約して録画するとき

- 本機にはBS放送を受信するためのチューナーはありませんが、付属のリモコンではBS番組をGコード予約することができます。
- BS番組をGコード予約すると、自動的に外部入力チャンネル" L1 "が選ばれます。
- このため、テレビのモニター出力(映像・音声)からの映像・音声コードは、必ず後面の外部入力1(L1)端子に接続してください。
(フリーセット予約をするときは、前面の外部入力2(L2)端子に接続してもかまいません)

予約録画が始まる前、予約録画中は

- テレビのチューナーを使って録画しますので、必ず予約録画が始まるまでにテレビの電源を入れ、録画したいBSチャンネルに合わせておいてください。(予約録画が終わるまで、テレビの電源を入れたままにしておいてください)
- 予約録画中は、テレビの電源を切ったり、テレビのチャンネルを切り換えたりしないでください。

WOWOWなど、スクランブル放送を録画するとき

- 必ずBSデコーダーの電源を入れ、音声もBSデコーダーで選んでください。
(BSデコーダーの説明書もお読みください)

録画状態を確認しようとすると、ノイズ画面になるとき

- 発振によるノイズが出ることがあります。
(テレビの説明書もお読みください)

- 外部機器の音声出力端子がモノラルのときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。

映像が乱れたり、色合いが悪くなったりするとき

- 市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)やBSデジタル/CSデジタル放送などには、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。
コピー禁止処理されている信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、明るさが急に変わったり、色合いが悪くなったりします。

本機を再生機として使うとき

- VTRモード設定**(➔50)**の「オンスクリーン」を「切」にすると、画面に不要な文字や表示を出さなくなります。

テレビの近くで操作するとき

- 再生機をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが録画されてしまうことがあります。このときはできるだけ離してください。

ディスクから録画・録音する

ビデオカセットに録画する

ディスクの内容をビデオカセットに録画することができます。ただし、コピー禁止処理のされていないものに限ります。
※多くのDVDは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されており、以下の方法でも録画・録音できないようになっています。

準備

- 初期設定「画面表示」→「画面メッセージ」を「切」にしておく。**(➜77)**
  不要な文字や表示を出さなくなります。
- DVD側に再生するディスク、ビデオ側に「つめ」の折れていないカセットを入れる。**(➜28,54)**
- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[ビデオ]**にする。

1

“ dc ”チャンネルを選ぶ
数回押す
- テレビにディスクの映像が表示されます。

本体表示窓

- ビデオの入力チャンネルが“ dc ”のときのみ録画することができます。
  “ dc ”とは、「ダビングチャンネル」の意味です。テレビ画面には、“ DC ”と表示されます。
- “ dc ”チャンネルにしてディスクを再生すると、テレビ画面はディスクの映像が映っていますが、ビデオ/DVD出力切換はビデオ側になっています。

2

[DVD]にする

3

ディスクを再生し、録画の開始点を探す
押す

録画の開始点で、静止画にする
押す

4

[ビデオ]にする

5

録画の開始点を探す
押す

録画の開始点で、静止画にする
押す

録画の一時停止にする
押す

6

録画モードを選ぶ
数回押す
- “ 標準 ”、“ 3倍 ”、“ 5倍 ”から選びます。

7

押す
- ビデオの録画とディスクの再生が同時に始まります。

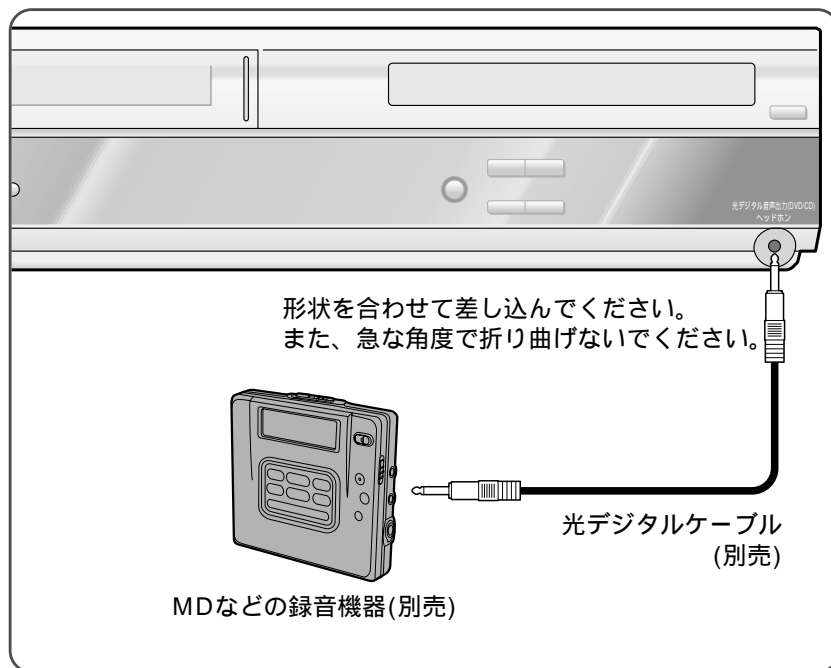
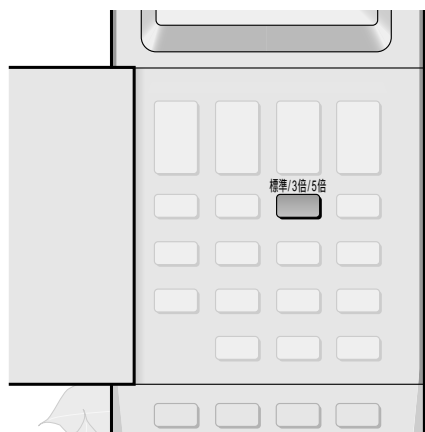
- コピー禁止処理がされているディスクを入れていると、テレビ画面に“ 録画できません ”と表示されます。そのまま録画を続けたときは、映像が乱れて録画されてしまいます。

■録画をやめる
1. **[停止■]**を押す。録画が停止します。
2. **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[DVD]**にする。
3. **[停止■]**を押す。ディスクの再生が停止します。

ビデオ　ディスク

MDなどにデジタル録音する

光デジタル音声出力からデジタルのままMDなどに録音することができます。ただし、コピー禁止処理のされていないものに限ります。

- シンクロ録音機能※の付いている機器はその機能を使って録音されることをおすすめします。
  詳しくは、録音機器の説明書をお読みください。
  ※本機でディスクの再生を始めると、同時に録音機器側でも自動的に録音が始まります。

準備

- **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[DVD]**にする。
- 録音機器側を録音可能な状態にする。

1

一時停止/スロー

録音したい部分(曲)の先頭で
押す

本体表示窓

2 **録音機器側で録音を開始する**

一時停止/スロー

同時に、
再生を始める
押す

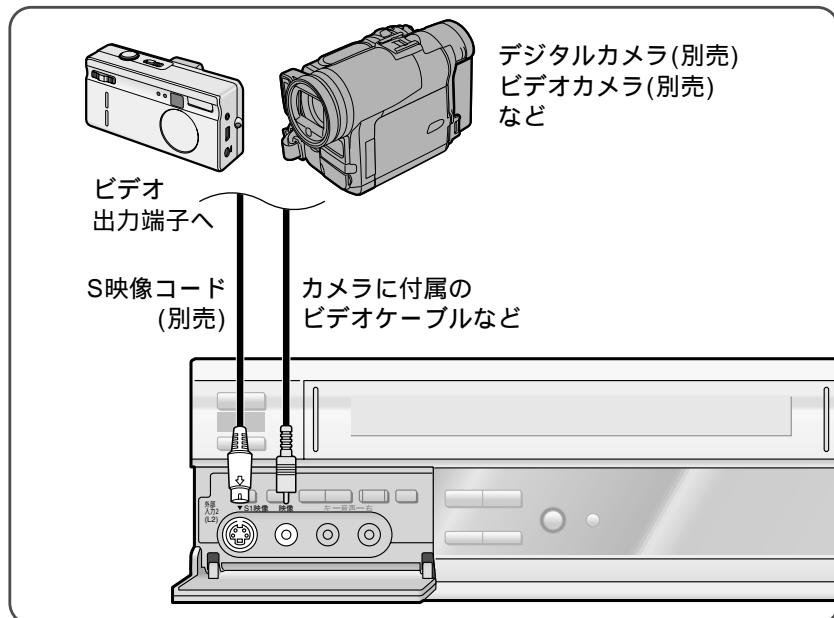
■ふたをひらいたところ

■録音をやめる
録音機器と本機を停止させる。

- DVDのときは以下の条件が必要です。
  ・ディスクに著作権保護の処理がされていない
  ・録音機器がサンプリング周波数48 kHz/16 bitに対応している
  ・アドバンスドサラウンドが「切」になっている(➜62)
  ・初期設定「音声」が以下のように設定されている(➜77)
  「PCMダウンサンプリング変換」：「する」
  「Dolby Digital」：「PCM」
  「DTS Digital Surround」：「PCM」
  すべての信号がリニアPCM48 kHz/16 bit以下に変換されます。
- コピー禁止処理がされているディスクは、正しく録音できません。
- MP3で記録されたディスクは、デジタル録音することはできません。
- DTS信号は録音できません。

映像に音楽を付ける

外部入力映像に音楽を付けて再生・録画する (ピーインPinミュージック

デジタルカメラやビデオカメラで撮影した映像を再生しながら、ディスクの音楽などをBGMのようにして楽しむことができます。また、この状態をビデオカセットに録画することができます。

準備
- テレビに本機の画面を出す。(**➜23,24**)
- DVD側にBGMなどに使いたいディスクを入れる。(**➜54**)
- ビデオに録画するときは、ビデオ側に「つめ」の折れていないカセットを入れる。(**➜28**)

再生するとき

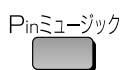
1

[DVD]にする

2

ディスクを再生し、再生の開始点を探す
押す

再生の開始点で、一時停止(静止)する
押す

3

押す

- 自動的に映像は外部入力2(L2)端子から入力されます。音声はDVD側になります。

4

カメラ側で
再生を始める

- 最初は“ L2 ”チャンネルが選ばれていますが、カメラで再生しない(外部入力を使わない)ときは、**ビデオチャンネル[∧][∨]**を押して、テレビ番組などの映像にすることもできます。(音声はDVD側のままです)

5

ディスク側で再生を始める
押す

■ディスクの再生をやめる
[停止■]を押す。

■Pinミュージックを解除する
[Pinミュージック]を押す。

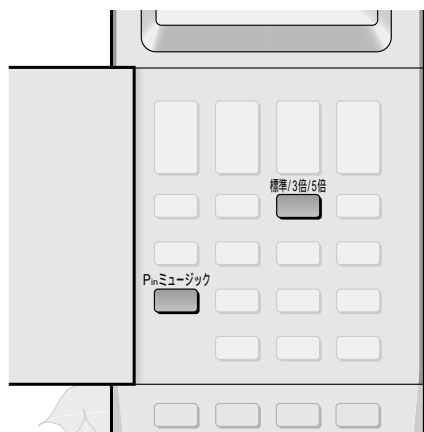
- Pinミュージック中は、**[ビデオ/DVD出力切換]**を押しても出力を切り換えることはできません。

ビデオカセットに録画するとき

ディスクの再生と同時にビデオの録画を開始することができます。
ただし、音声がコピー禁止処理のされていないものに限ります。

1

[DVD]にする

2

ディスクを再生し、再生の開始点を探す
押す

再生の開始点で、一時停止(静止)する
押す

3

押す
4

[ビデオ]にする

5

録画の開始点を探す
押す
録画の開始点で、静止画にする
押す

録画の一時停止にする
押す

6 標準/3倍/5倍
録画モードを選ぶ
数回押す
- “標準”“3倍”“5倍”から選びます。

7
カメラ側で
再生を始める

8

押す
- ビデオの録画とディスクの再生が同時に始まります。

■ふたをひらいたところ

■録画をやめる
1. **[停止■]**を押す。録画が停止します。
2. **ビデオ/テレビ/DVDスイッチ**を**[DVD]**にする。
3. **[停止■]**を押す。ディスクの再生が停止します。
- 録画をやめても、Pinミュージックは解除されません。

■Pinミュージックを解除する
[Pinミュージック]を押す。

- コピー禁止処理がされているディスクのときは、正しく録音されません。

故障かな?

電源

電源プラグをコンセントに差し込んでいるのに、操作できない

- 予約録画の待機中になっている。(本体表示窓に“ ⏲ ”が表示されている)
  →**[タイマー 切/入]**を押し、“ ⏲ ”表示を消す。**(➜43)**
- 各種安全装置が働いていることがあります。
  →1. **[ビデオ/DVD電源]**を押し、電源を切る。
  2. 電源プラグをコンセントから抜き、約5分後再び差し込む。
  3. **[ビデオ/DVD電源]**を押し、電源を入れる。(直ることがあります)

自動的に電源が切れた

- 電力モード設定「自動電源 切」が「2H」または「6H」になっている。(不要な電力の消費をおさえます)
  →**[ビデオ/DVD電源]**を押し、電源を入れる。
  →自動電源 切機能を働かせないようにするには、電力モード設定「自動電源 切」を「切」にする。**(➜53)**
- 各種安全装置が働いていることがあります。
  →**[ビデオ/DVD電源]**を押し、電源を入れる。

カセット

カセットが入らない

- 電源プラグがコンセントから外れている。**(➜18)**
- テープの見える面を上にして入れていない。**(➜28)**

カセットが取り出せない

- 予約録画の待機中、または実行中になっている。
  (本体表示窓に“ ⏲ ”が表示されている)
  →どうしても取り出したいときは、**[タイマー 切/入]**を押し、“ ⏲ ”を消す。**(➜43)**
- 録画中になっている。
  →どうしても取り出したいときは、**[停止■]**を押し、録画をやめる。**(➜34)**
- 各種安全装置が働いていることがあります。
  →1. **[ビデオ/DVD電源]**を押し、電源を切る。
  2. 電源プラグをコンセントから抜き、約5分後再び差し込む。
  3. **[ビデオ/DVD電源]**を押し、電源を入れる。
  4. **[⏏取出し(ビデオテープ)]**を押す。
  上記の操作を2～3回繰り返してみてください。
  それでも取り出せないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

接続・設置

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった

- テレビと本機に電波を分配したためです。
  →ブースター(市販品)などを使うと改善されることがあります。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください)

テレビに本機の画面が出ない

映像・音声コードで接続したとき

- テレビの入力を切り換えていない。
  →「ビデオ1」など、本機を接続した入力に切り換える。**(➜23)**

映像・音声コードで接続していないとき

- ビデオ専用チャンネルを選んでいない。
  →**[メニュー]**を約5秒以上押し続け、**ビデオチャンネル** **[∧][∨]**でビデオ専用チャンネル“ CH 1 ”または“ CH 2 ”を選ぶ。**(➜24)**
- テレビ側で1または2チャンネルを調整してみる。(テレビの説明書もお読みください)

リモコン

リモコンが操作できない

- 電池が消耗している。
  →新しい電池と交換する。(リモコン表示部は点灯していても、操作できないときがあります)**(➜17)**
- 本体のリモコン受信部に向けて操作していない。**(➜17)**
- リモコンと本体の間に障害物などがある。**(➜17)**

本機(ビデオ側)が操作できない

- **[ビデオ/テレビ/DVD]スイッチ**が**[ビデオ]**になっていない。
- 予約録画の待機中になっている。(本体表示窓に“ ⏲ ”が表示されている)
  →**[タイマー 切/入]**を押し、“ ⏲ ”表示を消す。**(➜43)**
- 本体とリモコンモードが合っていない。
  →リモコンモードを合わせ直す。**(➜50)**

テレビが操作できない

- **[ビデオ/テレビ/DVD]スイッチ**が**[テレビ]**になっていない。
- メーカー番号が合っていない。
  →正しい番号に合わせる。(メーカーや機種により、操作できないことがあります)**(➜22)**

本機(DVD側)が操作できない

- **[ビデオ/テレビ/DVD]スイッチ**が**[DVD]**になっていない。

修理を依頼される前に、症状を確かめてください。
これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(➜99)にお問い合わせください。

ビデオ再生

再生できない

- D-VHSカセットでも、S-VHS方式またはVHS方式で録画されたものは再生できますが、デジタル(D-VHS)方式で録画されていると再生できません。(➜29)
- 他のテレビ方式(PAL(パル)、SECAM(セカム)など)で録画されたカセットは再生できません。

静止画、スロー再生すると画面が乱れる

- 5倍モードで録画したカセットを静止画、スロー再生すると乱れますが、故障ではありません。(➜30)

早送り(巻き戻し)、静止画、スロー再生が自動的に解除された

- 早送り(巻き戻し)、スロー再生は、約10分で解除されます。静止画再生は、約5分で解除されます。(テープとビデオヘッドの保護のためです)

再生画面がチラチラする

- ビデオヘッドが汚れている。
  →乾式のビデオヘッドクリーナー(別売)でクリーニングする。(➜33)
- ビデオヘッドが磨耗している。
  →ビデオヘッドの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- テープが古い、またはいたんでいる。(➜9)

再生画面がブルーバックになる

- テープの未録画部分、または記録状態の悪い部分を再生している。
- 汚れたり、いたんだりしたテープを使うと、故障してブルーバック画面になることがあります。
  →このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

再生画面が上下にゆれる

- テレビの垂直同期を調整してみる。(調整方法については、テレビの説明書をお読みください。またはお買い上げの販売店にご相談ください)

ビデオ録画

録画できない

- カセットの誤消去防止用の「つめ」が折れている。
  →「つめ」の折れていないカセットを使う。(➜28)
- カセットの誤消去防止用つまみが「OFF」になっている。
  →「ON」側にスライドさせる。(➜28)

テレビ番組が録画できない

- 録画したい番組のチャンネルを選んでいない。
  →**ビデオチャンネル[∧][∨]**などで選ぶ。(➜34)

D-VHSカセットを使っても、デジタル(D-VHS)方式で録画できない

- 本機では録画できません。(➜34)

ビデオ予約録画

Gコード予約ができない

- ガイドチャンネルが正しく設定されていない。
  →ガイドチャンネルを正しく設定する。(➜26)
- 複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されている。
  →ガイドチャンネルを正しく設定する。また、不要なチャンネルは削除する。(➜26〜27)
- 時刻が合っていない。(➜52)

予約録画が正しくできない

- 予約内容(予約チャンネルや開始・終了時刻など)が間違っている。
  →予約内容を確認し、間違っているときは修正する。(➜42)
- 予約録画の待機状態になっていない。(本体表示窓に“ ⏲ ”が表示されていない)
  →**[タイマー 切/入]**を押し、“ ⏲ ”を表示させる。(➜43)
- 予約録画の時間帯が重なっている。
  →重ならないように予約する。
- 時刻が合っていない。(➜52)

予約録画中に電源が切れた

- テープの終端になると、途中でも録画を終了し、電源を切ります。
  →予約した番組よりも余裕のあるカセットを入れる。

[停止■]を押しても、予約録画が終わらない

- 予約録画実行中は**[停止■]**を押しても停止しません。
  [タイマー 切/入]を押し、本体表示窓の“ ⏲ ”を消す。
  (録画が終わり、電源を入れたときの状態になります)
  (➜43)

予約録画が終わっても、予約内容が消えない

- 毎日・毎週予約のときは消えません。

故障かな？(つづき)

表示

テープカウンター表示の値が動かない

- テープの未録画部分では、値は動かずに秒表示の部分が下記のようになります。

汚れたり、いたんだりしたテープを使って本機が故障したときも、上図のような表示になることがあります。
このときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体表示窓の時刻表示が“ 0：00 ”で点滅している

- 時刻が合っていない。
→時刻を合わせ直す。(➜52)

電源を切ったら、本体表示窓の表示が消えた

- 電力モード設定「時刻表示」が「切」になっている。
(不要な電力の消費をおさえるための機能です)(➜53)

音声

聞きたい音声が聞こえない

- 正しい音声を選んでいない。
→**[音声切換]**を数回押し、聞きたい音声を選ぶ。(➜49)

音声がステレオではない

- 映像・音声コードで接続していない。(このときは常にモノラル音声になります)
- ステレオ音声を選んでいない。
→**[音声切換]**を数回押し、テレビ画面に“ 左 右 ”を表示させる。(➜49)

ステレオ音声がブツブツと聞こえる

- トラッキングがずれている。
→トラッキング調整をする。(➜33)
- 再生中のテープに傷などが付いている。

ヘッドホンを接続したが、聞こえない

- 正しく接続していない。(➜29,55)
- 音量が“ 0 ”になっている。(工場出荷時は“ 0 ”になっています)
→リモコンで音量を上げる。(➜29,55)

ディスク再生

ボタン操作ができない

- ディスクによっては、特定のボタン操作を禁止している場合があります。(➜54)

[再生▶]を押しても、再生が始まらない または、すぐに停止する

- ディスクを正しく入れていない。
→正しく入れる。(➜54)
- 再生できないディスクを入れている。(➜10)
- ディスクが汚れている。
→きれいにふく。(➜11)
- 初期設定「視聴制限」で再生を制限している。
→見るときは、「視聴制限」の設定を変更する。(➜75)
- 本機を寒いところから暖かいところへ急に移動させたときなどは、レンズ部に露が付くことがあります。
→電源を入れたまま、約2時間程度放置する。

本体表示窓に“ No DISC ”と表示された

- ディスクが入っていない。
→ディスクを入れる。(➜54)
- ディスクが正しく入っていない。
→正しく入れる。(➜11,54)

本体表示窓に“ No PLAY ”と表示された

- 再生できないディスクが入っている。(➜10)
- 初期設定「ディスク」→「視聴制限」で再生を制限されているディスクが入っている。
→「視聴制限」の設定を変更する。(➜75)

テレビ画面に“ ディスクを確認してください ”と表示された

- ディスクが汚れている。
→きれいにふく。(➜11)

DVD-Rが再生できない

- 当社製DVDレコーダー(別売)で録画していない。
- 当社製DVDレコーダー側でファイナライズしていない。
→このようなディスクを再生すると、しばらく読み込みしたあと、本体表示窓に“ No PLAY ”と表示され、再生できません。

テレビに映像が映らない または画面サイズがおかしい

- 正しく接続していない。
- テレビの入力切換が正しくない。
- 初期設定「映像」→「TVアスペクト」を正しく設定する。(➜76)
- テレビ側の画面モードを変更する。
- プログレッシブ入力に対応していないテレビでは、本機のプログレッシブ映像は楽しめません。テレビの映像入力方式を「インターレース」にしてください。
- プログレッシブ出力時は、本機の映像出力端子とS映像出力端子からは映像が出ません。

プログレッシブ出力時に、映像の一部が二重にぶれて見える

- 映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する現象ですので、故障ではありません。
  →**[プログレッシブ]**を押して、本体表示窓に“ PR OFF ”を表示させる。(インターレースでは支障なく再生できます)**(➜55)**

早送り(早戻し)をしたら映像が乱れる

- 多少乱れることがありますが、故障ではありません。

音声が出ない

- 正しく接続していない。
- 接続した機器(アンプなど)で音量調節する。
- 接続した機器の入力切換が正しくない。
- 3本以上のスピーカーを接続しているときは、アドバンスドサラウンド(V.S.S.)を「切」にする。**(➜62)**

耳を刺激するような音が出る

- 他の機器とデジタル接続しているときは、接続した機器に応じて、初期設定「音声」→「Dolby Digital」および「DTS Digital Surround」を正しく設定する。**(➜73,77)**

音声言語、字幕言語が切り換えられない

- 複数の言語が入っていないディスクは切り換えできません。
- **[音声]**、**[字幕]**を押しても切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります。

字幕が出ない

- 字幕の入っていないディスクでは出ません。
- 字幕が「切」になっている。
  →「入」にする。**(➜63)**
- A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーを付けたところの前後では、字幕が表示されないことがあります。

アングルを変えて見ることができない

- 複数のアングルが記録されている場面でのみ働きます。

GUIバーが欠ける、または表示されない

- GUIバー表示中、**[◀][▶]**で右はしの[バー上下移動]を選び、**[▲][▼]**で位置を変える。**(➜68)**

画面メッセージが出ない

- 初期設定「画面表示」→「画面メッセージ」を「切」にしている。
  →「入」にする。**(➜77)**

テレビ画面に“ 4：3ソフト ”と表示された

- テレビとディスク(素材)の画面サイズが合っていない。
  →テレビ側の機能で調節するか、**[プログレッシブ]**を押して、本体表示窓に“ PR OFF ”を表示させる。**(➜55)**

テレビ画面に“ プログレッシブ出力が不可になっています ”と表示された

- 初期設定「映像」→「プログレッシブ出力」が「不可」になっている。
  →「可能」にする。**(➜76)**

視聴制限で設定した暗証番号を忘れた DVD側の設定を工場出荷時に戻したい

- 以下の操作をすると、初期設定の内容を工場出荷時に戻すことができます。
  →1. 停止中に、本体の**[再生▶]**(DVD操作部)、**[⏏開/閉(ディスク)]**、**[巻戻し◀◀]**(ビデオ操作部)の3つを本体表示窓に“ INIT(Initialize(イニシャライズ)の略) ”と表示されるまで同時に押し続ける
  2. 本体の電源を切/入する

編集

黒い帯状のノイズが録画された

- 再生側ビデオがテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。
  →再生側のビデオをテレビから離す。

外部機器から録画・録音できない

- 正しく接続していない。
- 再生機を接続した外部入力チャンネル“ L1 ”または“ L2 ”を選んでいない。**(➜79)**

ビデオソフトをダビングしたが、映像が乱れたり、色合いが悪くなったりする

- コピー禁止処理されているビデオをダビングした。
  →市販されているビデオソフト(レンタルビデオも含む)などは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されているものがあります。
  コピー禁止処理された映像は正しく録画できません。

ディスクから録画・録音できない

- ディスクからビデオカセットへ録画するときに、“ dc ”チャンネルを選んでいない。**(➜80)**
- 市販されているDVD(レンタルDVDも含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。
  このようなディスクは録画・録音できません。

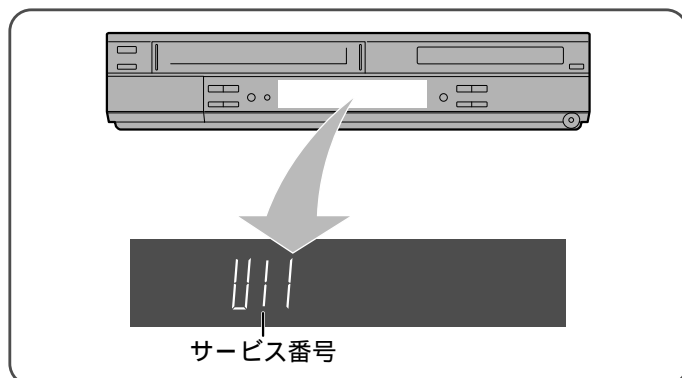
編集後の音声レベルがDVD側とビデオ側で合っていない

- ディスクによっては音声レベルが合わない場合があります。会話など、ある特定部分の音声レベルが小さく、または大きく設定されている場合は、ビデオカセットに録画したときには音が大きく、または小さく記録されるといった現象が起こることがあります。

故障かな?(つづき)/Q&A

自己診断表示機能

本機は異常の状態をお知らせする自己診断表示機能を持っています。

- 本機の設置中や使用中に異常を検出すると、本体表示窓に下記のサービス番号を表示します。
- サービス番号は、例えば“ U11 ”のように、英文字と2けたの数字で表示されます。

サービス番号

U11

ビデオヘッドが汚れている
- ビデオヘッドをクリーニングする。(➜33)

ディスクが汚れている
- 水を含ませたやわらかい布でふく。(➜11)

U30

リモコンモードが合っていない
- リモコンモードを合わせる。(➜50)

H□□またはF□□

異常と思われます
(H、F以降の数字は、本機の状態によって変わります)
- 「故障かな?」の項目に従って点検してください。
  それでもサービス番号が消えないときは、以下の操作をしてください。

  →1. **[ビデオ/DVD電源]**を押し、電源を切る。
  2. 電源プラグをコンセントから抜き、数秒後再び差し込む。
  3. **[ビデオ/DVD電源]**を押し、電源を入れる。
     (直ることがあります)

  上記の操作をしてもサービス番号が消えない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。
  なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、H01」などとお知らせください。

電源

転居先で使えるか?

- 日本国内であれば使えます。
  →転居先で受信チャンネルを正しく設定し直してください。(➜25〜27)

海外でも使えるか?

- 本機は日本国内専用です。
  海外では電源電圧などが異なるため使えません。

接続

モノラルテレビと接続したいが?

- ステレオ↔モノラルの映像・音声コード(別売)をお使いください。(➜94)

映像・音声コードのプラグや接続端子が色分けされているのは?

- プラグと端子の色を合わせて接続するようになっています。
  (**黄**=映像、**白**=左音声、**赤**=右音声、**黒**または**白**=モノラル音声)

ハイビジョンテレビに接続できるか?

- できます。
  特にDVDの場合は、高画質で楽しむために、DVD対応のコンポーネントビデオ入力端子に接続することをおすすめします。ハイビジョン方式(MUSE)専用のコンポーネントビデオ入力端子には接続しないでください。

S映像入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、D端子すべてがあるテレビの場合、どれに接続したらよいか?

- DVD側の映像のみをお楽しみいただく場合は、コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続することをおすすめします。(➜20)
  コンポーネントビデオ入力端子またはD映像端子に接続すると、DVDに記録されたままの状態で信号を出力するため、S映像入力端子に接続したときよりも、さらに忠実に色を再現します。
  ただし、この接続でビデオ側の映像を見ることはできません。ビデオ側の映像をお楽しみいただくときは、ビデオ/DVD共用・出力1端子とテレビのビデオ入力端子を接続してください。

ドルビーデジタルやDTSの5.1chサラウンド音声を楽しみたいが、どのような機器が必要か?

- デコーダー内蔵のAVアンプ(5.1ch音声入力端子付)と6本のスピーカーを用意すれば、5.1chサラウンド音声が楽しめます。

本機の操作で疑問に思われることがあれば、以下の項目を参考にしてください。

カセット

D-VHSカセットを使って、録画・再生できるか?

- できます。ただし、D-VHSカセットを使っても、S-VHS方式でしか録画できません。(➜34)
- デジタル(D-VHS)方式で録画されたD-VHSカセットは再生できません。(➜29)

S-VHS-C または VHS-C カセットを使って、録画・再生できるか?

- カセットアダプター(別売)を使えばできます。
- 8ミリビデオカセット、デジタルビデオカセットは使えません。

ビデオ再生

海外で録画したカセットを再生できるか?

- 同じNTSC方式のSP(標準)、またはEP(3倍)で録画されたものならできます。

本機の5倍モードで録画したカセットを他のビデオで再生できるか？

- できません。
  →5倍モードで録画されたカセットは、本機でお楽しみください。

ビデオ録画

録画中に、ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)に切り換えて聞くことはできるか?

- できます。
  →**[音声切換]**で聞きたい音声を選んでください。(➜49)
  ただし、“ dc ”チャンネルで録画をしているときは、音声を切り換えることはできません。

ステレオ放送の左または右音声のみ(2カ国語放送の主または副音声のみ)を録音できるか?

- できません。
  →再生時に、**[音声切換]**で聞きたい音声を選んでください。

VHF/UHF放送の録画中に、テレビでBS放送を見ることはできるか?

- BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。

ビデオ予約録画

予約録画の待機中に、他のカセットを見ることができるか?またはカセットを入れ替えることができるか?

- 予約録画の待機状態を解除しないとできません。
  →**[タイマー 切/入]**を押し、本体表示窓の“ ⏲ ”を消してから操作してください。(➜43)

テレビの電源は入れていなくてもいいのか？

- 本機だけで予約録画する場合は､入れなくてもかまいません。
- テレビのチューナーを使ってBS番組などを予約録画する場合、予約録画中は電源を入れておく必要があります。(➜78)

ディスク再生

海外で買ったDVDは再生できるか?

- リージョン番号が｢ALL｣または｢2｣を含んでいるもので、映像方式がNTSCであれば再生できます。
  ディスクのジャケットを確かめてください。

海外で買ったビデオCDは再生できるか?

- 映像方式がNTSCであれば再生できます。

リージョン番号がないディスクは再生できるか?

- DVDのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。
  規格を満たしていないDVDは再生できません。

ディスクから録画・録音

本機でディスクをビデオカセットに録画できるか?

- コピー禁止処理されていないディスクなら録画できますが、市販されているDVD(レンタルDVDも含む)の多くは、違法な複製ができないようにコピー禁止処理されています。
  このようなディスクは録画・録音できません。

ビデオ/ディスク出力切換

電源を入れた直後、ディスクの映像に切り換わるときがあるが、なぜか?

- 本体にディスクが入ったまま電源を入れると、ディスクによっては自動的に再生が始まることがあります。
  メニュー｢VTRモード設定｣→｢共用出力選択｣で｢自動｣を選んでいるときは、ディスクの再生が始まると自動的にDVD側の映像に切り換わります。映像を自動的にDVD側に切り換えたくないときは、メニュー｢VTRモード設定｣→｢共用出力選択｣で｢手動｣を選んでください。(➜50)
  ｢自動｣にしていても、電源を入れるときにディスクが入っていないときは、DVD側の映像には切り換わりません。

用語解説

ビデオ

ガイドチャンネル

Gコード予約をするために必要なチャンネルです。
ガイドチャンネルは各放送局ごとに決まっています。
例)NHK総合：80、NHK教育：90
実際の受信チャンネルと違う数字になる地域もあります。

拡張チャンネル

将来のシステムに対応するもので、現在は使えません。
市外局番入力チャンネル設定を行うと、自動的に設定されますが、実際の操作には関係ありません。

受信チャンネル

放送局からの電波を実際に受信するためのチャンネルです。
新聞・雑誌などに載っているチャンネルとは違う数字になる地域もあります。

チャンネルポジション

放送局を登録する位置です。
ビデオチャンネルを押すごとに、チャンネルポジションに登録された順番で選局できます。

表示チャンネル

本体表示窓やテレビ画面に表示させるためのチャンネルです。
新聞・雑誌などに載っているチャンネルに合わせておくと選局しやすくなります。
実際の受信チャンネルと違う数字になる地域もあります。

S-VHS(スーパーVHS)

VHSのFM信号帯域を5.4 MHz～7 MHzに高帯域化した方式です。水平解像度400本以上の高画質記録ができます。
ただし、テレビ放送を録画するときは、そのテレビ放送の水平解像度でしか再生されません。

S-VHS ET

Super VHS Expansion Technology(スーパーブイエッチエスエクスパンションテクノロジー)の略で、VHSカセットにS-VHSの画質(水平解像度400本以上)で録画・再生する機能です。

ディスク

インターレース出力/プログレッシブ出力

従来の映像信号(NTSC)は525I(I：インターレース＝飛び越し走査)といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P(P：プログレッシブ＝順次走査)といいます。本機後面のD1/D2映像出力端子とテレビを接続し、**[プログレッシブ]**を押して“ PR ON ”にすると、プログレッシブ映像が出力できます。従来の映像出力端子、S映像出力端子よりも高画質な映像が楽しめます。

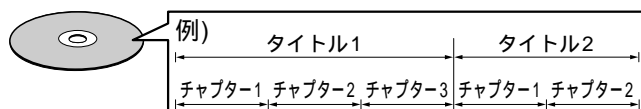
インタラクティブなDVD

複数のアングルやストーリーなどが記録されており、再生中に経過時間が表示されないDVDです。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することをいいます。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、回数が多いほど原音に近い音を再現できます。

タイトル、チャプター(DVD)

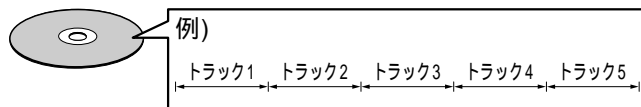
DVDは、いくつかの大きな区切り(タイトル)と小さな区切り(チャプター)に分けられており、それぞれの区切りの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

デコーダー

DVDなどに符号化して記録した音声データを通常の音声信号に戻す装置。この処理をデコードといいます。

トラック(ビデオCD/CD)

ビデオCDやCDは、いくつかの区切り(トラック)に分けられており、これらの区切りの番号をトラック番号と呼びます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。
ステレオ(2ch)はもちろん、最大5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビープロロジック

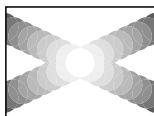
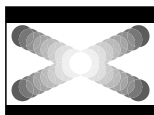
4チャンネル信号を2チャンネルに記録し、演算処理により、再び4チャンネルの独立した信号を再生するサラウンドシステムです。

光デジタル音声出力端子

電気信号を光信号に変えてアンプに伝えるので、外部からの電気的な影響による雑音を防ぐことができます。

パン＆スキャン/レターボックス

DVDソフトの多くは、ワイドテレビ画面(横縦比が16：9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が4：3)のテレビに映し出そうとすると、16：9の映像が4：3に収まらなくなります。4：3のテレビに映し出すには2つの方法があります。

- **パン＆スキャン**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。

- **レターボックス**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4：3の画面で16：9の映像を映し出します。

ファイナライズ

DVDレコーダーなどで録画・録音されたDVD-R、CD-R、CD-RWディスクを本機のような再生機器で再生できるように処理すること。

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

=
+

フレーム　フィールド　フィールド

- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質はよくなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCDの再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。
本書ではメニュー画面を使って再生することをビデオCDの「メニュー再生」と呼びます。

マルチセッション

CD-R/RWディスクに複数回に分けて記録することをいいます。ディスク上のデータは[リードイン/プログラムエリア/リードアウト]で1つのセッションを構成しています。
CD-R/RWディスクに音楽などのデータを追加したときは、新しいセッションが追加されていきます。こうしてできたものがマルチセッションディスクです。
通常の音楽CDプレーヤーでは最初のセッションしか再生できませんが、本機では複数のセッションが再生できます。

リニアPCM(LPCM)

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。
DVDは容量が大きいため、CD以上の精度でデータを収録することができます。
本機では、デジタル音声出力端子からのリニアPCM音声は2chで出力されます。

Bitstream（ビットストリーム）

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
デコーダーによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード(復号)されます。

DTS (Digital Theater Systems)（デジタル シアター システムズ）

多くの映画館で採用されている最大5.1chのサラウンドシステムです。
チャンネル間のセパレーションもよく、情報量も多いので、リアルな音響効果が得られます。

DVDの音声チャンネル(ch)

出力される音域や特性によって区別された音声の種類です。
例)5.1チャンネル

- フロントスピーカー　：L(1ch)/R(1ch)
- センタースピーカー　：1ch
- サラウンドスピーカー：L(1ch)/R(1ch)
- サブウーハー　：1ch×0.1*= 0.1ch

*出力される音声全体に対して低音が占める割合

GUIバーでは以下のように表示されます。

ID3タグ

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる文字情報を保存する領域があります。ここにタイトルやアーティスト名など、曲についての情報を保存しておくことができます。この情報は、ID3タグ対応のプレーヤーで再生時に画面上に表示させることができますが、本機はID3タグに対応していないため、表示させることができません。

MP3 (MPEG1 AUDIO Layer3)（エムペグ オーディオ レイヤー）

MPEG1に採用されているオーディオ圧縮方式のひとつです。元の音質をあまり損なうことなく音声を10分の1程度に圧縮できます。

市外局番入力チャンネル設定一覧表

市外局番入力チャンネル設定(→25)を行うと、この表のように自動的に放送局が登録されます。

市外局番に変更があったときでも、この表の市外局番で設定してください。

都道府県	都市名	市外局番	PO(チャンネルポジション)／CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイドCH(ガイドチャンネル																			
			PO 1				PO 2				PO 3				PO 4				PO 5			
			放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイC
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80	テレビ北海道	17	17	17	札幌テレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育	2	2	90												
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34	35									NHK総合	4	4	80				
	釧路/室蘭	0154/0143					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	29	29	17				
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	17	北海道文化	27	27	27	北海道テレビ	35	35	35	NHK総合	4	4	80				
青森	青森	017	青森放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	9
	八戸	0178													青森朝日	31	31	34				
秋田	秋田	018					NHK教育	2	2	90									秋田朝日	31	31	3
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合	4	4	80	秋田朝日	59	59	3
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこい	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合	4	4	80	岩手朝日	31	31	2
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	9
山形	山形	023													NHK教育	4	4	90	山形さくらんぼ	30	30	3
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合	3	3	80					山形さくらんぼ	24	24	3
福島	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育	2	2	90					テレビュー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	テレビュー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビュー福島	32	32	31					NHK総合	4	4	80				
茨城	水戸	029	NHK総合	44	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	1
栃木	宇都宮	028	NHK総合	29	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	27	3	90	日本テレビ	25	4	4	とちぎテレビ	31	31	2
群馬	前橋	027	NHK総合	52	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	4
埼玉	さいたま	048	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
千葉	千葉	043	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
東京	東京	03	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
神奈川	横浜	045	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	1
山梨	甲府	055	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
長野	長野	026					NHK総合	2	2	80					長野朝日	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日	44	44	20					NHK教育	3	3	90	NHK総合	4	4	80				
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	北陸放送	6	6	6	NHK総合	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	076	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育	3	3	90								
静岡	静岡	054					NHK教育	2	2	90					静岡第一	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一	30	30	31					NHK総合	4	4	80	中部日本放送	5	5	5
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	39	3	80					中部日本放送	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80					中部日本放送	5	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合	31	3	80	毎日テレビ	4	4	4	中部日本放送	5	5	5
滋賀	大津	077					NHK総合	28	28	80					毎日テレビ	36	4	4				
京都	京都	075					NHK総合	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日テレビ	18	4	4	テレビ大阪	19	19	1
奈良	奈良	0742					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日テレビ	4	4	4	NHK奈良	51	51	-
和歌山	和歌山	073					NHK総合	32	2	80					毎日テレビ	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	3
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80	NHK教育	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	1
岡山	岡山	086	岡山放送	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	8
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	0849	テレビ新広島	54	54	31					NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	8
山口	山口	083	NHK教育	1	1	90	九州朝日	2	2	1	テレビQ	23	23	19	山口朝日	28	28	28	大分放送	5	5	5
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育	39	39	90	毎日テレビ	4	4	4	NHK総合	37	37	8
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合	3	3	80	毎日テレビ	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	3
愛媛	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	3
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育	4	4	90	テレビ新広島	31	31	3
高知	高知	0888													NHK総合	4	4	80				
福岡	福岡	092	九州朝日	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	テレビQ	19	19	1
	北九州	093					九州朝日	2	2	1	福岡放送	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	23	23	1
佐賀	佐賀	0952	九州朝日	57	57	1	NHK教育	40	40	90	福岡放送	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	14	14	1
長崎	長崎	095	NHK教育	1	1	90	九州朝日	57	57	1	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	九州朝日	1	1	1	NHK教育	2	2	90	熊本朝日	16	16	16	熊本県民	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	097	九州朝日	1	1	1					NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育	2	2	90					NHK総合	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育	5	5	9
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日	28	28	28	NHK総合	2	2	80												

(VHF/UHF)

- 一覧表の ①～⑫ の放送局は、リモコンの**[1]～[12]**を押すだけで選ぶことができます。
- マニュアルチャンネル設定を行う方は、各放送局のガイドチャンネルを「ガイドCH」の項目のとおり合わせてください。
  (例：NHK総合テレビ→80、NHK教育テレビ→90)

PO(チャンネルポジション)／CH(受信チャンネル)・表示(表示チャンネル)・ガイドCH(ガイドチャンネル)

PO ⑥				PO ⑦				PO ⑧				PO ⑨				PO ⑩				PO ⑪				PO ⑫				PO ⑬			
放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH	放送局名	CH	表示	ガイドCH
								北海道文化	27	27	**27**					北海道テレビ	35	35	**35**					NHK教育	12	12	**90**				
				札幌テレビ	7	7	**5**	北海道文化	37	37	**27**	NHK総合	9	9	**80**	北海道テレビ	39	39	**35**	北海道放送	11	11	**1**								
				札幌テレビ	7	7	**5**	北海道文化	59	59	**27**	NHK総合	9	9	**80**	北海道テレビ	61	61	**35**	北海道放送	53	53	**1**								
海道放送	6	6	**1**					北海道文化	32	32	**27**					札幌テレビ	10	10	**5**					NHK教育	12	12	**90**				
				札幌テレビ	7	7	**5**	北海道文化	41	41	**27**	NHK総合	9	9	**80**	北海道テレビ	39	39	**35**	北海道放送	11	11	**1**								
海道放送	6	6	**1**													NHK教育	10	10	**90**					札幌テレビ	12	12	**5**				
								北海道文化	27	27	**27**					青森朝日	34	34	**34**	北海道テレビ	35	35	**35**	青森テレビ	38	38	**38**				
				NHK教育	7	7	**90**					NHK総合	9	9	**80**					青森放送	11	11	**1**	青森テレビ	33	33	**38**				
												NHK総合	9	9	**80**					秋田放送	11	11	**11**	秋田テレビ	37	37	**37**				
田放送	6	6	**11**					NHK教育	8	8	**90**													秋田テレビ	57	57	**37**				
手放送	6	6	**6**	宮城テレビ	34	34	**34**	NHK教育	8	8	**90**					東日本放送	32	32	**32**					仙台放送	12	12	**12**				
				東日本放送	32	32	**32**					宮城テレビ	34	34	**34**									仙台放送	12	12	**12**				
レビュー山形	36	36	**36**					NHK総合	8	8	**80**					山形放送	10	10	**10**					山形テレビ	38	38	**38**				
HK教育	6	6	**90**					テレビュー山形	22	22	**36**													山形テレビ	39	39	**38**				
島中央	33	33	**33**	東日本放送	32	32	**32**	宮城テレビ	34	34	**34**	NHK総合	9	9	**80**	福島放送	35	35	**35**	福島テレビ	11	11	**11**	仙台放送	12	12	**12**				
島テレビ	6	6	**11**	東日本放送	32	32	**32**	福島中央	37	37	**33**	宮城テレビ	34	34	**34**	福島放送	41	41	**35**					仙台放送	12	12	**12**				
島中央	34	34	**33**					福島テレビ	8	8	**11**					NHK教育	10	10	**90**					福島放送	36	36	**35**				
BSテレビ	40	6	**6**					フジテレビ	38	8	**8**	千葉テレビ	39	46	**46**	テレビ朝日	36	10	**10**					テレビ東京	32	12	**12**				
BSテレビ	23	6	**6**					フジテレビ	21	8	**8**					テレビ朝日	19	10	**10**					テレビ東京	17	12	**12**				
BSテレビ	56	6	**6**	放送大学	40	16	**16**	フジテレビ	58	8	**8**	テレビ埼玉	38	38	**38**	テレビ朝日	60	10	**10**					テレビ東京	62	12	**12**				
BSテレビ	6	6	**6**	テレビ埼玉	38	38	**38**	フジテレビ	8	8	**8**	千葉テレビ	46	46	**46**	テレビ朝日	10	10	**10**	群馬テレビ	48	48	**48**	テレビ東京	12	12	**12**				
BSテレビ	6	6	**6**	TVKテレビ	42	42	**42**	フジテレビ	8	8	**8**	千葉テレビ	46	46	**46**	テレビ朝日	10	10	**10**	テレビ埼玉	38	38	**38**	テレビ東京	12	12	**12**				
BSテレビ	6	6	**6**	TVKテレビ	42	42	**42**	フジテレビ	8	8	**8**	千葉テレビ	46	46	**46**	テレビ朝日	10	10	**10**	テレビ埼玉	38	38	**38**	テレビ東京	12	12	**12**				
BSテレビ	6	6	**6**	TVKテレビ	42	42	**42**	フジテレビ	8	8	**8**					テレビ朝日	10	10	**10**					テレビ東京	12	12	**12**				
レビ山梨	37	37	**37**	TBSテレビ	6	6	**6**	フジテレビ	8	8	**8**					テレビ朝日	10	10	**10**					テレビ東京	12	12	**12**				
								NHK総合	8	8	**80**					新潟総合	35	35	**35**					NHK教育	12	12	**90**				
レビ信州	30	30	**30**									NHK教育	9	9	**90**	長野放送	38	38	**38**	信越放送	11	11	**11**								
越放送	6	6	**11**					テレビ信州	42	42	**30**					長野放送	40	40	**38**												
ューリップ	32	32	**32**													NHK教育	10	10	**90**					富山テレビ	34	34	**34**				
陸放送	6	6	**6**	北陸朝日	25	25	**25**	NHK教育	8	8	**90**					テレビ金沢	33	33	**33**					石川テレビ	37	37	**37**				
陸放送	6	6	**6**									NHK総合	9	9	**80**					福井放送	11	11	**11**	福井テレビ	39	39	**39**				
岡朝日	33	33	**33**									NHK総合	9	9	**80**					静岡放送	11	11	**11**	テレビ静岡	35	35	**35**				
岡放送	6	6	**11**	テレビ愛知	25	25	**25**	NHK教育	8	8	**90**					静岡朝日	28	28	**33**					テレビ静岡	34	34	**35**				
レビ愛知	25	25	**25**	岐阜放送	37	37	**37**	三重テレビ	33	33	**33**	NHK教育	9	9	**90**					名古屋テレビ	11	11	**11**	中京テレビ	35	35	**35**				
阜放送	37	37	**37**	中京テレビ	35	35	**35**	三重テレビ	33	33	**33**	NHK教育	9	9	**90**					名古屋テレビ	11	11	**11**	テレビ愛知	25	25	**25**				
BCテレビ	6	6	**6**	三重テレビ	33	33	**33**	関西テレビ	8	8	**8**	NHK教育	9	9	**90**	読売テレビ	10	10	**10**	名古屋テレビ	11	11	**11**	中京テレビ	35	35	**35**				
BCテレビ	38	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	40	8	**8**	びわ湖放送	30	30	**30**	読売テレビ	42	10	**10**					NHK教育	46	46	**90**				
BCテレビ	6	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	8	8	**8**	サンテレビ	36	36	**36**	読売テレビ	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
BCテレビ	6	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	8	8	**8**	サンテレビ	36	36	**36**	読売テレビ	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
BCテレビ	20	6	**6**					関西テレビ	22	8	**8**					読売テレビ	24	10	**10**					NHK教育	26	12	**90**				
BCテレビ	6	6	**6**	京都テレビ	34	34	**34**	関西テレビ	8	8	**8**	サンテレビ	36	36	**36**	読売テレビ	10	10	**10**	奈良テレビ	55	55	**55**	NHK教育	12	12	**90**				
BCテレビ	44	6	**6**					関西テレビ	46	8	**8**					読売テレビ	48	10	**10**					NHK教育	26	12	**90**				
																山陰放送	22	22	**10**					山陰中央	24	24	**34**				
HK総合	6	6	**80**					山陰中央	34	34	**34**					山陰放送	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
								山陰中央	58	58	**34**	NHK教育	9	9	**90**																
				瀬戸内海放送	25	25	**33**					西日本放送	9	9	**9**					山陽放送	11	11	**11**								
				NHK教育	7	7	**90**					広島ホーム	35	35	**35**									広島テレビ	12	12	**12**				
				中国放送	7	7	**4**					広島ホーム	57	57	**35**					広島テレビ	11	11	**12**								
				テレビ山口	38	38	**38**	RKB毎日	8	8	**4**	NHK総合	9	9	**80**	テレビ西日本	10	10	**9**	山口放送	11	11	**11**	福岡放送	35	35	**37**				
BCテレビ	6	6	**6**	瀬戸内海放送	33	33	**33**	関西テレビ	8	8	**8**	西日本放送	9	9	**9**	読売テレビ	10	10	**10**	山陽放送	29	29	**11**	岡山放送	31	31	**35**				
BCテレビ	6	6	**6**	サンテレビ	36	36	**36**	関西テレビ	8	8	**8**					読売テレビ	10	10	**10**					NHK教育	38	12	**90**				
HK総合	6	6	**80**	瀬戸内海放送	33	33	**33**	あいテレビ	29	29	**29**	西日本放送	9	9	**9**	南海放送	10	10	**10**	山陽放送	11	11	**11**	愛媛放送	37	37	**37**	愛媛朝日	25	25	**25**
海放送	6	6	**10**	瀬戸内海放送	33	33	**33**	あいテレビ	27	27	**29**	西日本放送	9	9	**9**	広島ホーム	35	35	**35**	山陽放送	11	11	**11**	愛媛放送	36	36	**37**	愛媛朝日	14	14	**25**
HK教育	6	6	**90**					高知放送	8	8	**8**					テレビ高知	38	38	**38**	高知さんさん	40	40	**40**								
HK教育	6	6	**90**									テレビ西日本	9	9	**9**					熊本放送	11	11	**11**	福岡放送	37	37	**37**				
HK総合	6	6	**80**					RKB毎日	8	8	**4**					テレビ西日本	10	10	**9**	熊本放送	11	11	**11**	NHK教育	12	12	**90**				
レビ熊本	34	34	**34**	長崎放送	5	5	**5**	RKB毎日	48	48	**4**	NHK総合	38	38	**80**	テレビ西日本	60	60	**9**	熊本放送	11	11	**11**	テレビ長崎	37	37	**37**				
レビ熊本	34	34	**34**	長崎国際	25	25	**25**	テレビ西日本	9	9	**9**	長崎文化	27	27	**27**	熊本放送	11	11	**11**	テレビ長崎	37	37	**37**	熊本県民	22	22	**22**				
レビ熊本	34	34	**34**	テレビ長崎	37	37	**37**	サガテレビ	36	36	**36**	NHK総合	9	9	**80**	テレビQ	19	19	**19**	熊本放送	11	11	**11**	RKB毎日	4	4	**4**				
海放送	10	10	**10**	テレビ大分	36	36	**36**	福岡放送	37	37	**37**	大分朝日	24	24	**24**	テレビQ	19	19	**19**	テレビ西日本	9	9	**9**	NHK教育	12	12	**90**				
				鹿児島放送	32	32	**32**	NHK総合	8	8	**80**	鹿児島テレビ	38	38	**38**	宮崎放送	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				
崎放送	6	6	**10**					テレビ宮崎	39	39	**35**																				
崎放送	10	10	**10**	鹿児島放送	32	32	**32**	熊本県民	22	22	**22**	鹿児島テレビ	38	38	**38**	熊本朝日	16	16	**16**	鹿児島読売	30	30	**30**								
児島テレビ	35	35	**38**	熊本県民	22	22	**22**	NHK総合	8	8	**80**	熊本朝日	16	16	**16**	南日本放送	10	10	**1**	熊本放送	11	11	**11**	NHK教育	12	12	**90**				
								沖縄テレビ	8	8	**8**					琉球放送	10	10	**10**					NHK教育	12	12	**90**				

別売品のご紹介

本書で紹介させていただいている別売品の一例です。

- ★印の付いているものは、サービスルート扱いなどでご用意しております。
- 品番、メーカー希望小売価格は、2002年9月現在のものです。
また、消費税や工事代などは含まれておりません。

映像・音声コード(ステレオ⟷ステレオ)

品　番	メーカー希望小売価格
RP-CVP3G05(0.5 m)	1,150円
RP-CVP3G10(1.0 m)	1,300円
RP-CVP3G15(1.5 m)	1,400円
RP-CVP3G20(2.0 m)	1,500円
RP-CVP3G30(3.0 m)	1,700円

映像・音声コード(ステレオ⟷モノラル)

品　番	メーカー希望小売価格
RP-CVP2G10(1.0 m)	1,200円
RP-CVP2G20(2.0 m)	1,400円
RP-CVP2G30(3.0 m)	1,600円

音声コード(ステレオ⟷ステレオ)

品　番	メーカー希望小売価格
RP-CAP3G05(0.5 m)	550円
RP-CAP3G10(1.0 m)	600円
RP-CAP3G15(1.5 m)	650円
RP-CAP3G20(2.0 m)	750円
RP-CAP3G30(3.0 m)	900円

S映像コード

品　番	メーカー希望小売価格
RP-CVS0G10(1.0 m)	900円
RP-CVS0G20(2.0 m)	1,200円
RP-CVS0G30(3.0 m)	1,300円

D端子ピンケーブル

品　番	メーカー希望小売価格
RP-CVCDG15(1.5 m)	2,500円
RP-CVCDG30(3.0 m)	4,000円

D端子ケーブル

品　番	メーカー希望小売価格
RP-CVDG15(1.5 m)	3,500円
RP-CVDG30(3.0 m)	5,000円

光デジタルケーブル(光ミニプラグ⟷光ミニプラグ)

品　番	メーカー希望小売価格
RP-CA2205A(0.5 m)	2,000円
RP-CA2210A(1.0 m)	2,200円
RP-CA2220A(2.0 m)	2,600円

光デジタルケーブル(光ミニプラグ⟷光角形プラグ)

品　番	メーカー希望小売価格
RP-CA2105A(0.5 m)	2,000円
RP-CA2110A(1.0 m)	2,200円
RP-CA2120A(2.0 m)	2,600円

光デジタルケーブル(光角形プラグ⟷光角形プラグ)

品　番	メーカー希望小売価格
RP-CA2005A(0.5 m)	1,800円
RP-CA2010A(1.0 m)	2,000円
RP-CA2020A(2.0 m)	2,200円
RP-CA2030A(3.0 m)	2,800円

カセットアダプター

品　番	メーカー希望小売価格
VW-TCA7	3,000円

75Ω同軸ケーブル ★

品　番	メーカー希望小売価格
VUA7051(1.4 m)	400円

V・U分波器 ★

品　番	メーカー希望小売価格
VUA7052F(F型接栓付き)	800円

75Ωアンテナプラグ(VHF/UHF入力端子専用) ★

品　番	メーカー希望小売価格
VSQ1035	300円

アンテナプラグ ★

品　番	メーカー希望小売価格
VUA7050	300円

ビデオヘッドクリーナー ★

品　番	メーカー希望小売価格
VFK0923FM(乾式、使用回数180回)	3,000円
VFK0923FS(乾式、使用回数30回)	1,800円

クリーニングクロス ★

品　番	メーカー希望小売価格
VUA7091(5枚入り)	1,000円

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電　　源　AC 100 V ±10 %、50/60 Hz ±0.5 %
消費電力　動作時　：約23 W
　待機時　：時刻表示点灯時・約2.2 W、時刻表示消灯時・約1.2 W

本体外形寸法

約幅 430×高さ89×奥行266 mm

本体質量

約4.0 kg

許容動作温度

5 ～ 35 ℃

許容動作湿度

35 ～ 80 %(結露なきこと)

時計部

クォーツ制御、24時間、デジタル表示

ビデオ部

録画方式
S-VHS規格

テープ速度
標準：33.35 mm/秒、3倍：11.12 mm/秒

使用カセット
S-VHS/VHSビデオカセット

録画時間
最大9時間(T-180使用、3倍の場合)

早送り・巻き戻し時間
約54秒(T-120使用の場合)、
高速リターン時：約36秒(T-120使用の場合)

映像方式
- **テレビジョン方式**
  NTSC方式、525本、60フィールド
- **入力**
  1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
- **S映像入力**
  Y入力：1.0 Vp-p、75 Ω、C入力：0.286 Vp-p、75 Ω
- **出力**
  1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
- **S映像出力**
  Y出力：1.0 Vp-p、75 Ω、C出力：0.286 Vp-p、75 Ω
- **受信チャンネル**
  VHF　：1～12チャンネル
  UHF　：13～62チャンネル
  CATV：C13～C63チャンネル
- **VHF/UHFアンテナ入力**
  75 Ω
- **RFコンバーター出力**
  VHF1または2チャンネル

音声方式
- **入力**
  309 mV、入力インピーダンス47 kΩ(ピンジャック)
- **出力**
  309 mV、出力インピーダンス1 kΩ(ピンジャック)、
  負荷インピーダンス10 kΩ
- **ヘッドホン出力**
  ヘッドホン8 Ω(ミニジャック)
- **トラック数**
  3トラック(ハイファイ：2トラック、ノーマル：1トラック)

ハイファイ音声特性
ダイナミックレンジ：90 dB以上
ワウフラッター　　：0.005 %以下
周波数特性　　　　：20 Hz～20 kHz

DVD部

再生可能ディスク
DVD-Video
DVD-R(DVD-Video規格準拠)
DVD-RAM(DVD-VR規格準拠)
ビデオCD
音楽用CD(CD-DA)
CD-R/RW(CD-DA、ビデオCDフォーマットのディスク)
MP3(CD-ROM、CD-R/RWのみ対応)
(再生可能トラック数：最大999、再生可能グループ数：最大99、ビットレート：32～320 kbps)

信号方式
NTSC

映像出力
- **ライン**
  1.0 Vp-p、75 Ω(ピンジャック)
- **S映像**
  Y出力：1.0 Vp-p、75 Ω
  C出力：0.286 Vp-p、75 Ω
- **D1/D2映像**
  Y出力　　：1.0 Vp-p、75 Ω
  P_B/C_B出力：0.7 Vp-p、75 Ω
  P_R/C_R出力：0.7 Vp-p、75 Ω

音声出力
2 Vrms(1 kHz、0 dB)(ピンジャック)

音声出力特性
- **周波数特性**
  DVD(リニア音声)：4 Hz～22 kHz(48 kHzサンプリング)、
  　4 Hz～44 kHz(96 kHzサンプリング)
  CD　：4 Hz～20 kHz(JEITA)
- **S／N比**
  CD：115 dB(JEITA)(DVD専用出力端子)
- **ダイナミックレンジ**
  DVD(リニア音声)：99 dB、
  CD　：97 dB(JEITA)(DVD専用出力端子)
- **全高調波歪率**
  CD：0.0035 %(JEITA)(DVD専用出力端子)

デジタル音声出力
- **光デジタル出力**
  光コネクター

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

「故障かな?」(➜84～87)に従ってご確認のあと、直らないときは、本体表示窓に「サービス番号」(➜88)が表示されているときはその番号を控えておき、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
  ただし、DVDプレーヤー一体型ビデオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
  注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0602

さくいん

ビデオの操作

ディスクの操作

各種設定・編集・その他

Panasonic DVDプレーヤー一体型ビデオ NV-VP50S 取扱説明書

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 **長年ご使用のDVDプレーヤー一体型ビデオの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- 時刻表示などに異常がある
- テープやディスクをいためた
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	NV-VP50S
	販売店名	☎(　　)　―	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　―	

松下電器産業株式会社

AVCネットワーク事業グループ
〒571−8505　大阪府門真市松生町1番4号

システム事業グループ
〒571−8503　大阪府門真市松葉町2番15号

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

VQT0A26
F0902Yt0 (　9000 Ⓐ)